

結婚・子育てに対する
県民の希望と幸福度調査
報告書

令和6年9月

福島県 保健福祉部こども未来局
こども・青少年政策課

目次

I	調查概要	1
II	調查結果	3
III	調查票	115

I 調査概要

1. 調査目的

「ふくしま新生子ども夢プラン」の次期計画として、子ども基本法第10条に規定する都道府県子ども計画と一体化させた新計画を策定するにあたり、結婚・子育てに関する県民のニーズを把握するとともに、結婚生活や子育てにおける県民の幸福度・生活満足度を調査して、当該計画の施策に反映させる。

2. 調査方法

年齢階層別無作為抽出法により抽出した県内7方部における20～49歳の男女20,000人に対し、郵送によりQRコード及びURL付き調査依頼文を配付し、インターネットにより回答を回収した。

3. 調査期間

2024年7月5日（金）～7月26日（金）

4. 回答結果

調査対象者数	有効回答数	有効回答率
20,000人	5,298件	26.5%

5. 調査実施機関

株式会社東京商工リサーチ

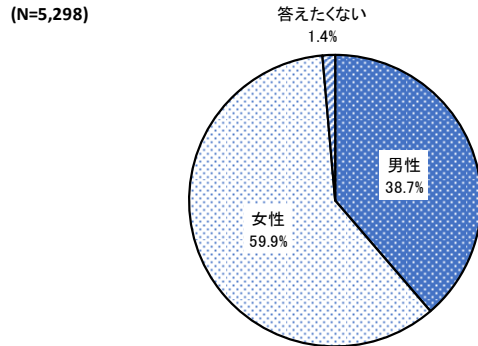
6. 注意事項

- 報告書本文中の比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入している。そのため単一回答であっても構成比の合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答の設問は、回答が2つ以上あり得るため、構成比の合計が100%を上回る場合がある。
- 図表中の「n」（Number of casesの略）とは設問に対する回答件数の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数である。
- 性別のクロス集計結果において、全体の数値は「答えたくない」を含むため、男女の合計値とは一致しない。

Ⅱ 調査結果

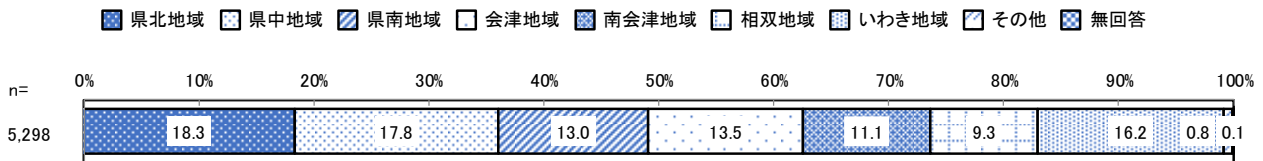
問1 あなたの性別について、次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

性別について、「男性」が38.7%、「女性」が59.9%、「答えたくない」が1.4%となった。



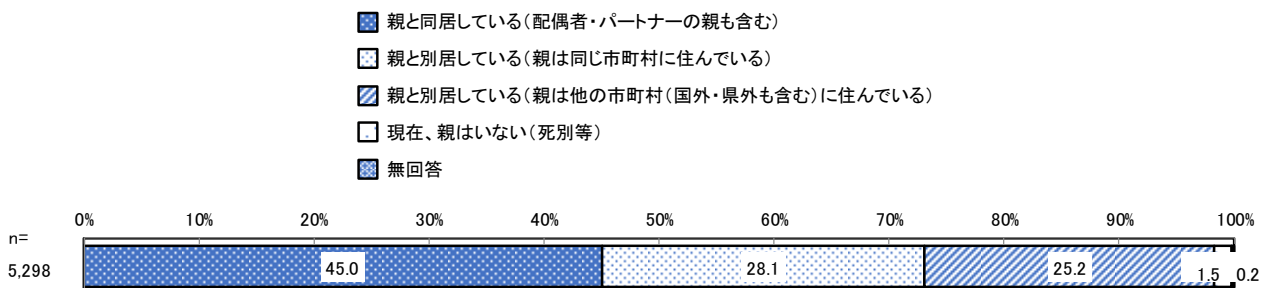
問2 あなたがお住まいの市町村について、下の表からあてはまる市町村の番号1つに○をつけてください。

地域について、「県北地域」が18.3%で最も高く、次いで「県中地域」が17.8%、「いわき地域」が16.2%となった。



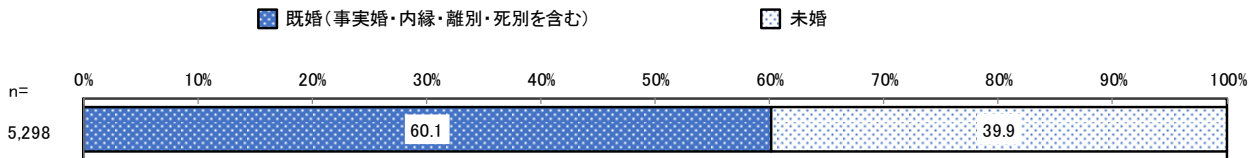
問3 あなたは、親（配偶者・パートナーの親も含む）と同居していますか。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

親（配偶者・パートナーの親も含む）と同居しているかについて、「親と同居している（配偶者・パートナーの親も含む）」が45.0%で最も高く、次いで「親と別居している（親は同じ市町村に住んでいる）」が28.1%、「親と別居している（親は他の市町村（国外・県外も含む）に住んでいる）」が25.2%となった。

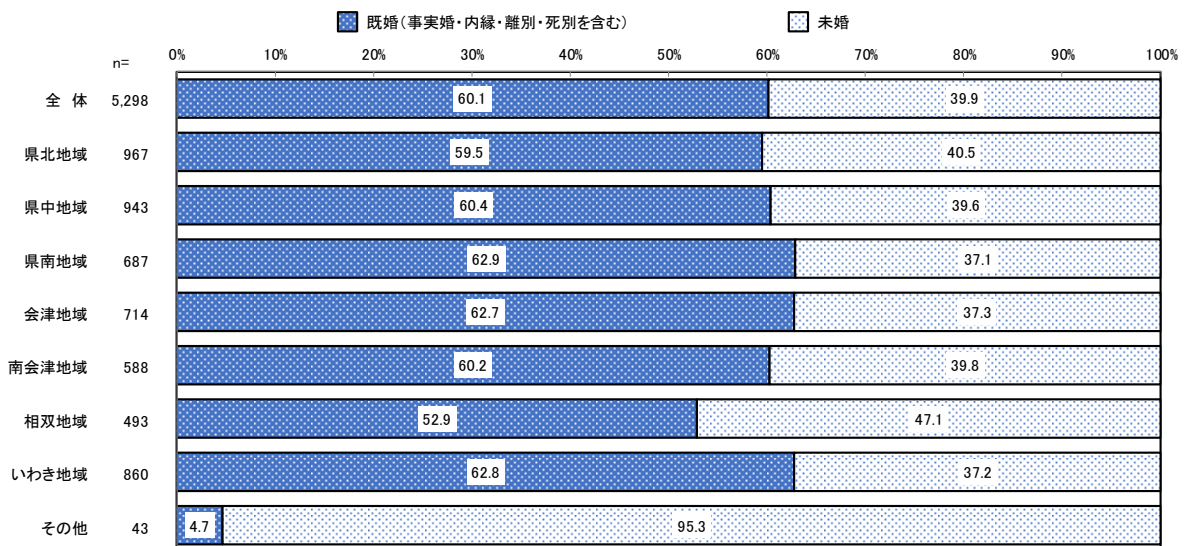


問4 あなたは、現在、結婚（事実婚・内縁含む）していますか。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

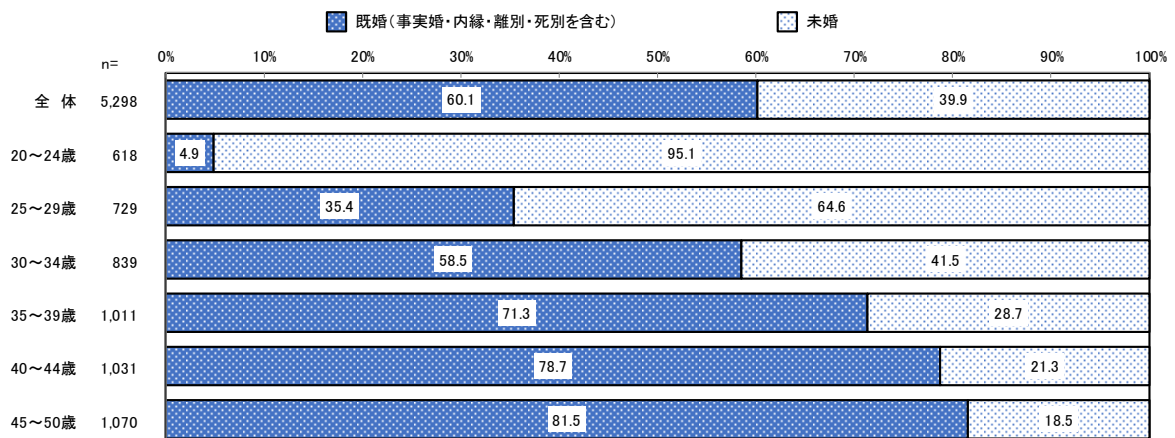
現在、結婚（事実婚・内縁含む）しているかについて、「既婚（事実婚・内縁・離別・死別を含む）」が60.1%、「未婚」が39.9%となった。



地域別でみると、《その他》を除き「既婚（事実婚・内縁・離別・死別を含む）」が5割を超えている。

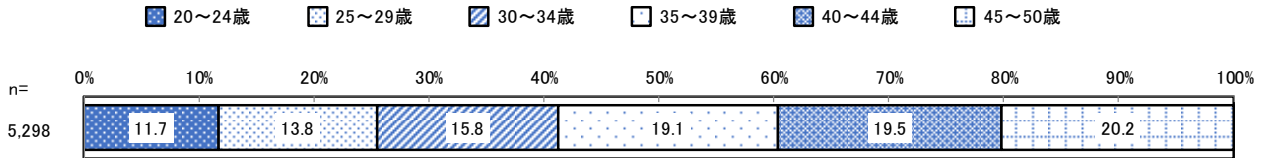


年齢別でみると、30歳以上では「既婚（事実婚・内縁・離別・死別を含む）」が5割を超えている。一方、《25～29歳》では3割半ば、《20～24歳》では1割を下回っている。



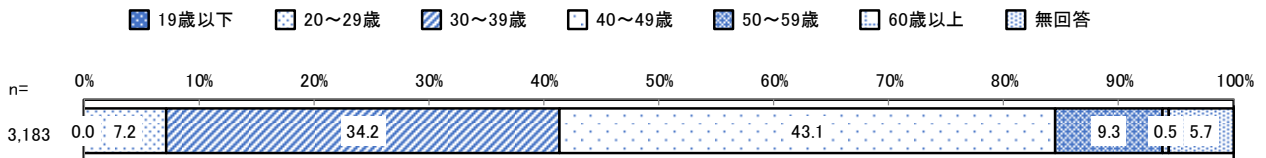
問5（1）あなたの年齢（2024年4月1日現在）について、下線の欄に数字を記入してください。

年齢について、「45～50歳」が20.2%で最も高く、次いで「40～44歳」が19.5%、「35～39歳」が19.1%となった。



問5（2）既婚の方は、配偶者、パートナーの年齢（2024年4月1日現在）をお答えください。
※なお、離別・死別されている方は配偶者・パートナーの現況については回答不要です。

配偶者・パートナーの年齢について、「40～49歳」が43.1%で最も高く、次いで「30～39歳」が34.2%、「50～59歳」が9.3%となった。

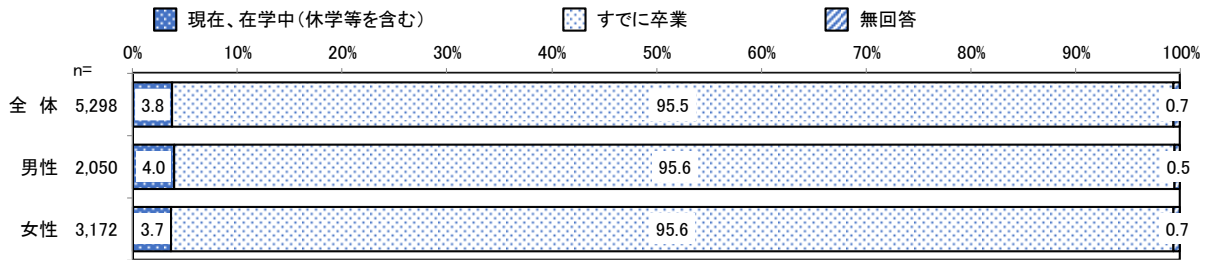


問6 (1) あなたの①在学・卒業の別と、②その学校について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

①在学・卒業の別

在学・卒業の別について、「すでに卒業」が95.5%、「現在、在学中（休学等を含む）」が3.8%となった。

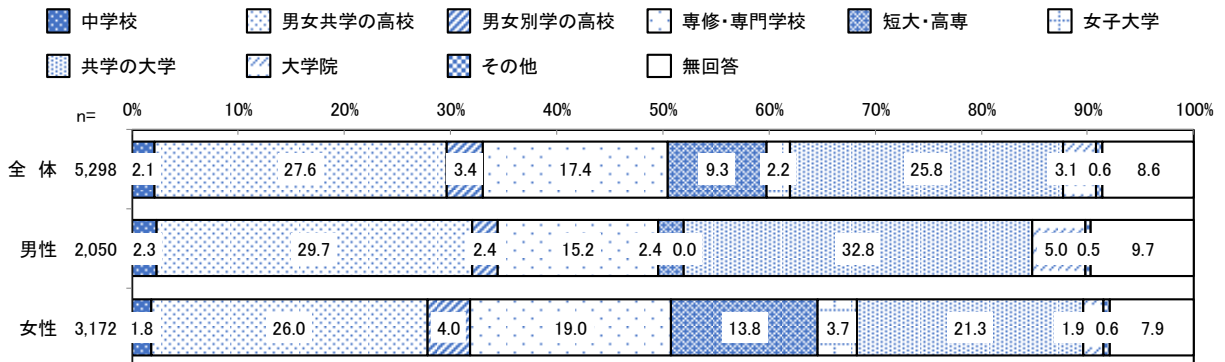
性別で見ると、いずれも「すでに卒業」が9割を超え、大きな違いはみられない。



②在学中または最後に卒業した学校

在学中または最後に卒業した学校について、「男女共学の高校」が27.6%で最も高く、次いで「共学の大学」が25.8%、「専修・専門学校」が17.4%となった。

性別で見ると、《男性》では「共学の大学」が3割強、《女性》では「男女共学の高校」が2割半ばでそれぞれ最も高い。《女性》では「短大・高専」が1割強を占めている。



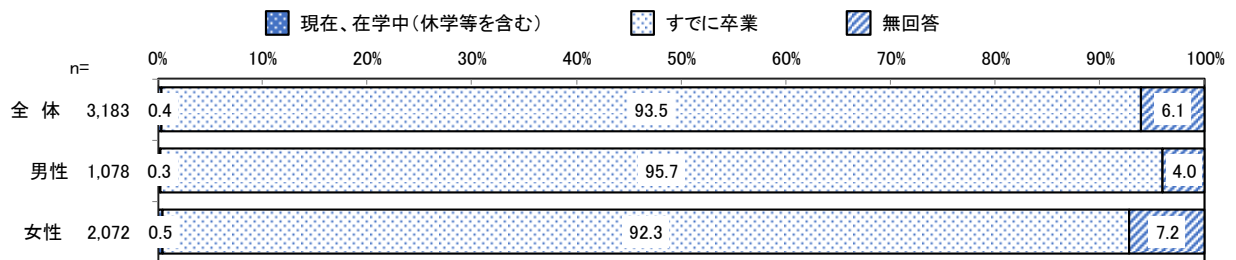
問6 (2) 既婚の方は、配偶者・パートナーの①在学・卒業の別と、②その学校について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

なお、離別・死別されている方は配偶者・パートナーの現況については回答不要です。

①在学・卒業の別

在学・卒業の別について、「すでに卒業」が93.5%、「現在、在学中（休学等を含む）」が0.4%となった。

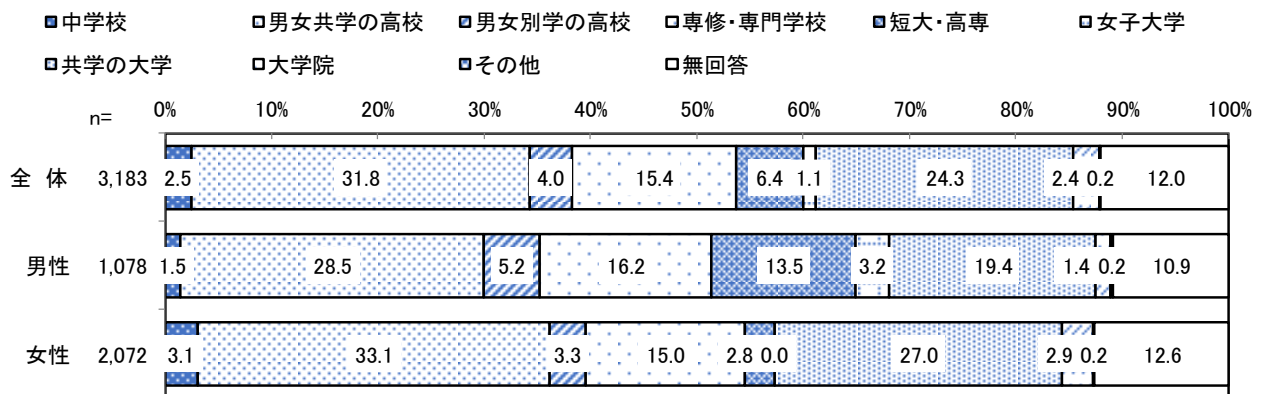
性別で見ると、いずれも「すでに卒業」が9割を超え、大きな違いはみられない。



②在学中または最後に卒業した学校

在学中または最後に卒業した学校について、「男女共学の高校」が31.8%で最も高く、次いで「共学の大学」が24.3%、「専修・専門学校」が15.4%となった。

性別で見ると、《男性》《女性》ともに「男女共学の高校」が3割前後で、最も高い。《女性》では「共学の大学」が3割近くで比較的高くなっている。

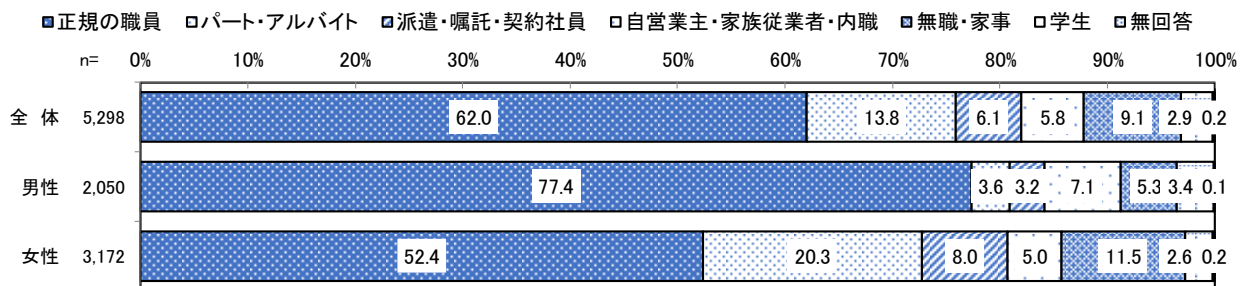


問7 (1) あなたのおつとめの状況についておたずねします。あなたの現在の①おつとめの状況、おつとめの場合 (1から4に○をつけた方) は②職種、③おつとめ先の従業員数について、回答欄のあてはまる番号1つに○をつけてください (お仕事が複数の場合、主たる仕事を対象)。

①おつとめの状況

現在のおつとめの状況について、「正規の職員」が62.0%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が13.8%、「無職・家事」が9.1%となった。

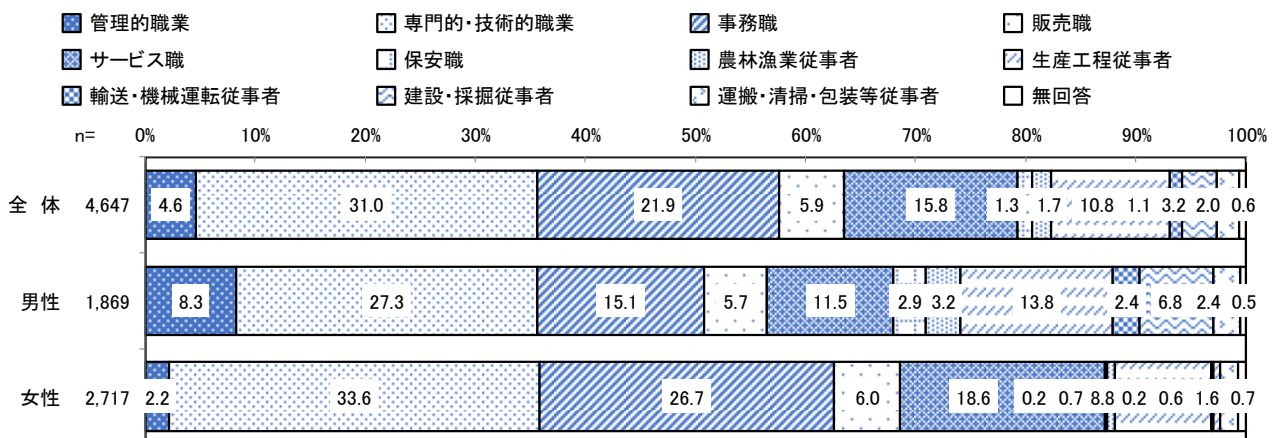
性別で見ると、いずれも「正規の職員」が最も高いが、《男性》では8割近くであるのに対し、《女性》では5割強にとどまっている。《女性》では「パート・アルバイト」が約2割と、《男性》に比べ高くなっている。



②職種

現在の職種について、「専門的・技術的職業」が31.0%で最も高く、次いで「事務職」が21.9%、「サービス職」が15.8%となった。

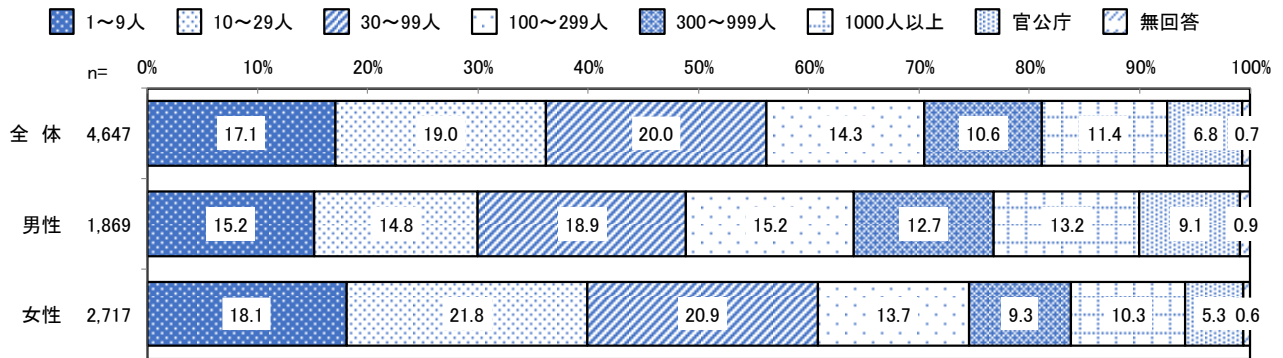
性別で見ると、いずれも「専門的・技術的職業」が最も高い。これに次いで、《女性》では「事務職」が2割半ば、「サービス職」が2割弱となり、《男性》に比べ高い割合となっている。《男性》では「生産工程従事者」が1割強で、《女性》に比べ高い割合となっている。



③おつとめ先の従業員数

現在のおつとめ先の従業員数について、「30～99人」が20.0%で最も高く、次いで「10～29人」が19.0%、「1～9人」が17.1%となった。

性別で見ると、「1～9人」「10～29人」「30～99人」では《女性》が《男性》に比べやや高く、「100～299人」「300～999人」「1000人以上」では《男性》が《女性》よりもやや高くなっている。



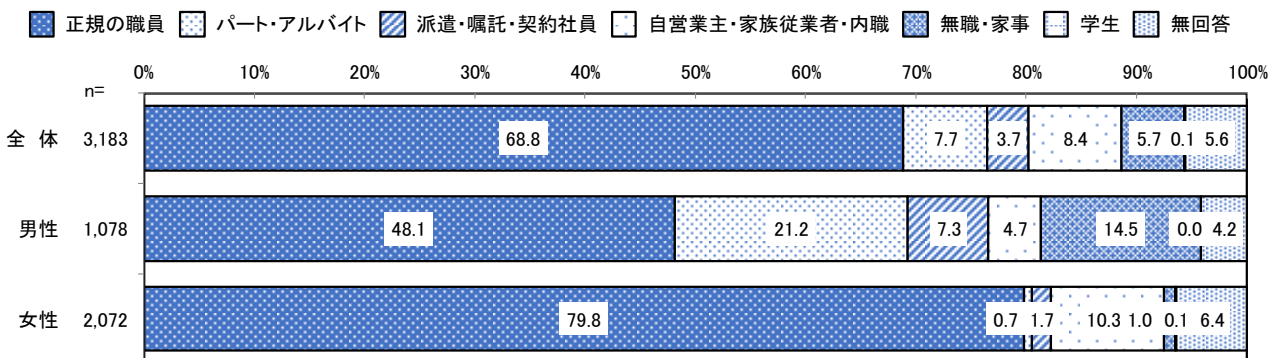
問7（2）配偶者・パートナーのおつとめの状況についておたずねします。配偶者・パートナーの現在の①おつとめの状況、おつとめの場合（1から4に○をつけた方）は②職種、③おつとめ先の従業員数について、回答欄のあてはまる番号1つに○をつけてください（お仕事が複数の場合、主たる仕事を対象）。

※なお、離別・死別されている方は配偶者・パートナーの現況については回答不要です。

①おつとめの状況

現在のおつとめの状況について、「正規の職員」が68.8%で最も高く、次いで「自営業主・家族従業者・内職」が8.4%、「パート・アルバイト」が7.7%となった。

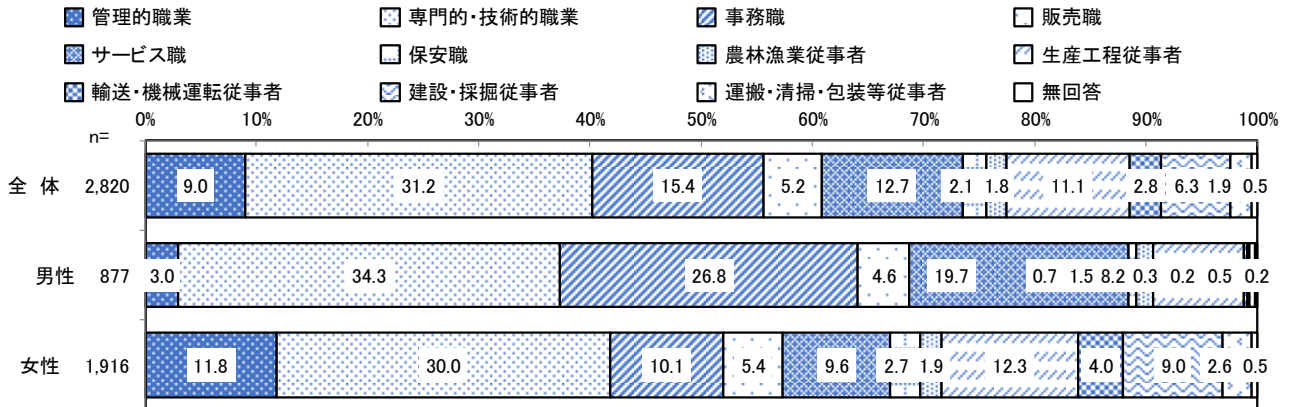
性別で見ると、《女性》では「正規の職員」がほぼ8割となっている。《男性》では「正規の職員」が5割弱で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が2割強となっている。また「無職・家事」が1割半ばで、《女性》に比べ高くなっている。



②職種

現在の職種について、「専門的・技術的職業」が31.2%で最も高く、次いで「事務職」が15.4%、「サービス職」が12.7%となった。

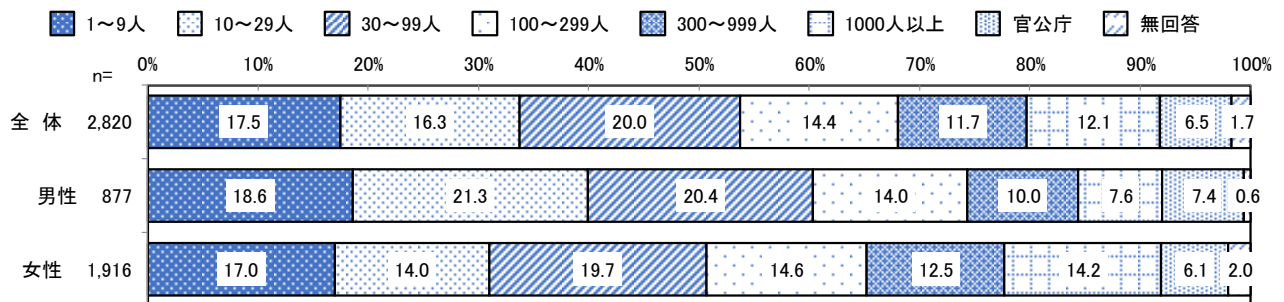
性別で見ると、《男性》《女性》ともに「専門的・技術的職業」が3割以上で最も高い。これに次いで、《男性》では「事務職」が2割半ば、「サービス職」が2割弱となっている。《女性》では「生産工程従事者」、「管理的職業」がともに1割強で続いている。



③おつとめ先の従業員数

現在のおつとめ先の従業員数について、「30～99人」が20.0%で最も高く、次いで「1～9人」が17.5%、「10～29人」が16.3%となった。

性別で見ると、「1～9人」「10～29人」「30～99人」ではいずれも《男性》が《女性》に比べやや高く、「100～299人」「300～999人」「1000人以上」では《女性》が《男性》よりもやや高くなっている。

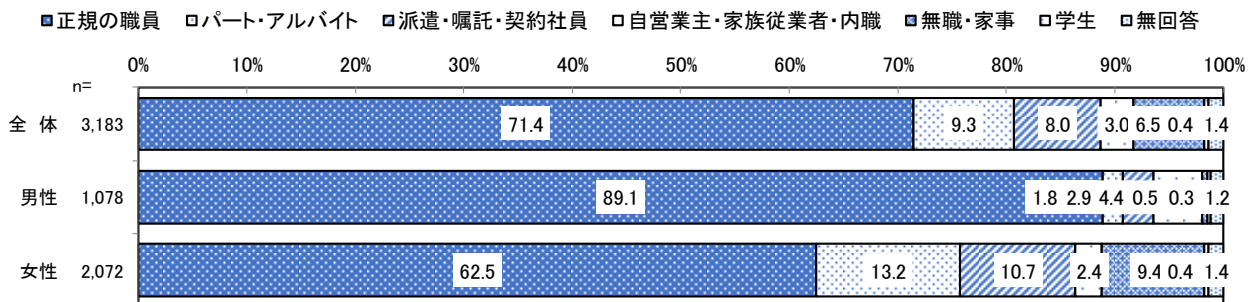


問8 あなた方ご夫婦・カップルの結婚当時のおつとめの状況についておたずねします。あなたと配偶者・パートナーの結婚当時の①おつとめの状況、おつとめの場合（1から4に○をつけた方）は②職種、③おつとめ先の従業員数について、回答欄のあてはまる番号1つに○をつけてください（お仕事が複数の場合、主たる仕事を対象）。

①おつとめの状況（結婚当時）【あなた】

あなたの結婚当時のおつとめの状況について、「正規の職員」が71.4%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が9.3%、「派遣・嘱託・契約社員」が8.0%となった。

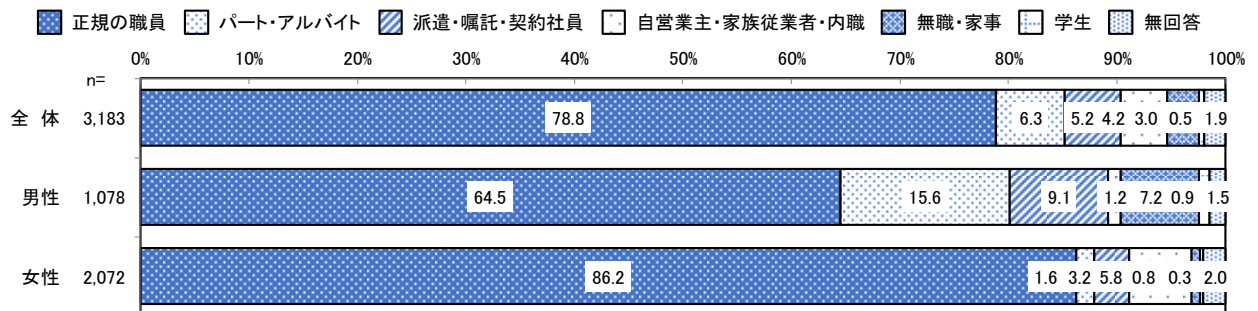
性別で見ると、いずれも「正規の職員」が最も高く、《男性》では9割弱となっている。《女性》では「パート・アルバイト」「派遣・嘱託・契約社員」がともに1割強となっている。



①おつとめの状況（結婚当時）【配偶者・パートナー】

配偶者・パートナーの結婚当時のおつとめの状況について、「正規の職員」が78.8%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が6.3%、「派遣・嘱託・契約社員」が5.2%となった。

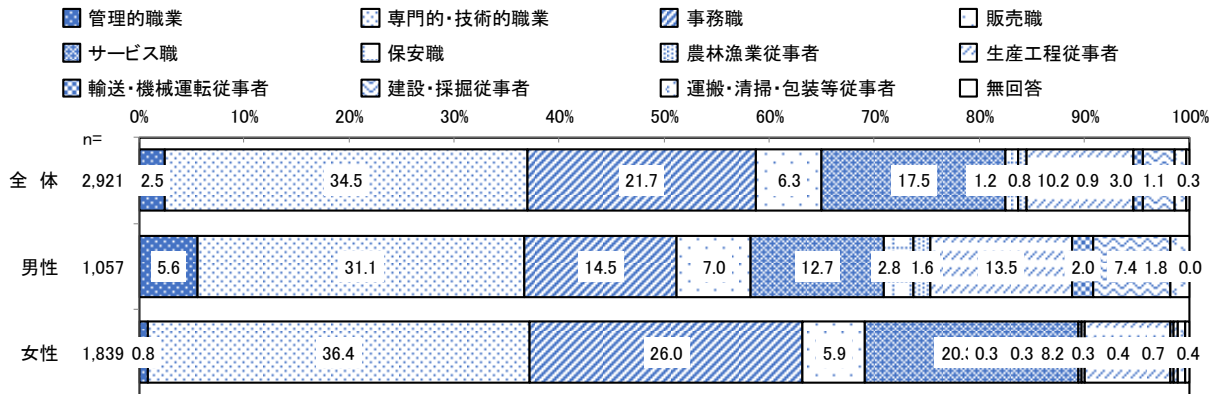
性別で見ると、いずれも「正規の職員」が6割を超え最も高く、《女性》では8割半ばとなっている。《男性》では「パート・アルバイト」が1割半ばとなっている。



②職種（結婚当時）【あなた】

あなたの結婚当時の職種について、「専門的・技術的職業」が34.5%で最も高く、次いで「事務職」が21.7%、「サービス職」が17.5%となった。

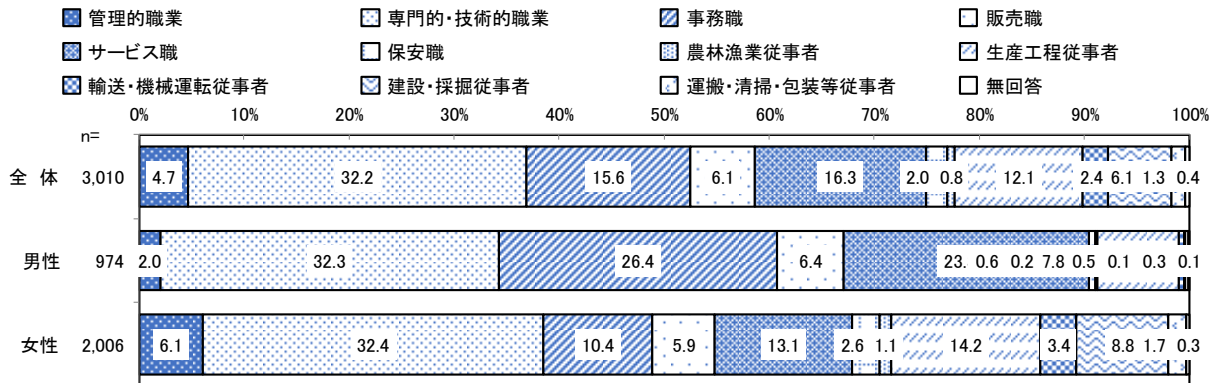
性別で見ると、いずれも「専門的・技術的職業」が3割台で最も高い。これに次いで、《男性》では「事務職」「生産工程従事者」が1割台、《女性》では「事務職」「サービス職」が2割台となっている。



②職種（結婚当時）【配偶者・パートナー】

配偶者・パートナーの結婚当時の職種について、「専門的・技術的職業」が32.2%で最も高く、次いで「サービス職」が16.3%、「事務職」が15.6%となった。

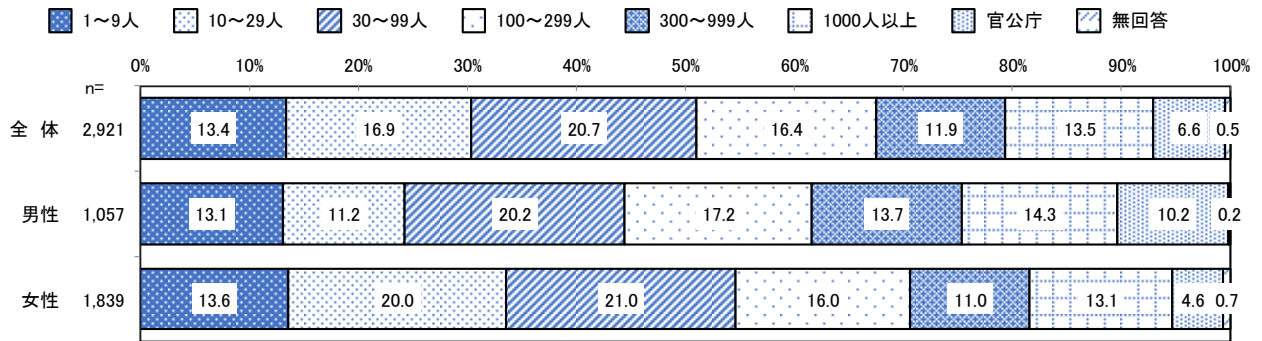
性別で見ると、《男性》《女性》ともに「専門的・技術的職業」が3割強で最も高い。これに次いで、《男性》では「事務職」「サービス職」が2割台、《女性》では「生産工程従事者」「サービス職」が1割台となっている。



③おつとめ先の従業員数（結婚当時）【あなた】

あなたの結婚当時のおつとめ先の従業員数について、「30～99人」が20.7%で最も高く、次いで「10～29人」が16.9%、「100～299人」が16.4%となった。

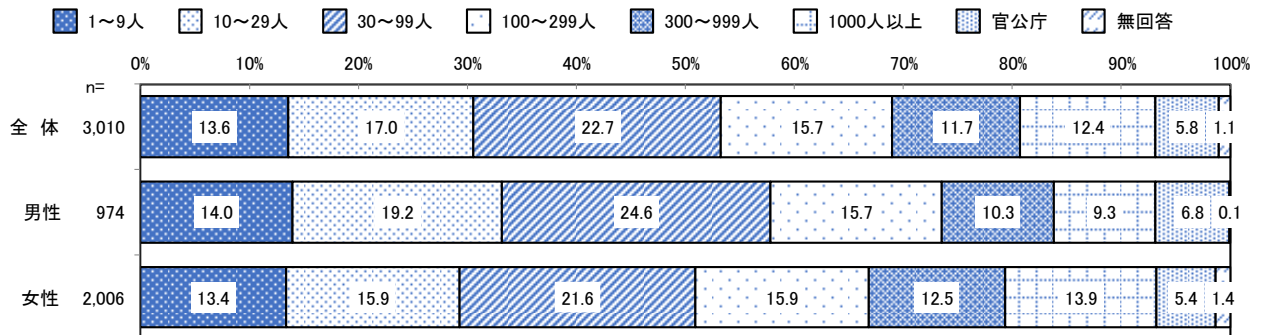
性別で見ると、《男性》《女性》ともに「30～99人」が2割台で最も高い。《女性》では「10～29人」が2割で、《男性》に比べ高くなっている。



③おつとめ先の従業員数（結婚当時）【配偶者・パートナー】

配偶者・パートナーの結婚当時のおつとめ先の従業員数について、「30～99人」が22.7%で最も高く、次いで「10～29人」が17.0%、「100～299人」が15.7%となった。

性別で見ると、《男性》《女性》ともに「30～99人」が2割台で最も高い。「1～9人」「10～29人」「30～99人」では、いずれも《男性》が《女性》をやや上回っている。



問9(1) あなたのお仕事（収入を伴うもの。複数ある場合、主たる仕事対象）についておたずねします。次の①から④には該当する数字を記入し、⑤については、あてはまる番号1つに○をつけてください。

①勤務する日1日の平均的な労働時間（残業時間を含む）

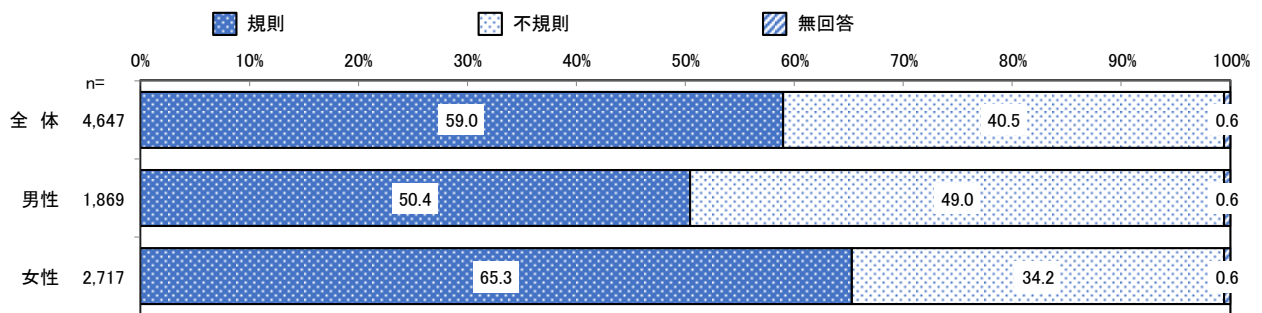
勤務する日1日の平均的な労働時間について、平均値は1日あたり平均8時間10.7分、中央値は1日あたり平均8時間0分となった。

平均値	1日あたり平均8時間10.7分
中央値	1日あたり平均8時間0分

②-1 帰宅時間（自営業は終業時間）

帰宅時間（自営業は終業時間）について、「規則」が59.0%、「不規則」が40.5%となった。

性別でみると、「規則」は《女性》で6割半ばとなっているのに対し、《男性》では約5割と比較的低くなっている。



②-2 帰宅時間（自営業は終業時間）【「規則」を選んだ方の平均的な帰宅時間（0～24時）】

「規則」を選んだ方の平均的な帰宅時間（0～24時）について、平均値は16.0時頃、中央値は18時頃となった。

平均値	16.0時頃
中央値	18時頃

③1 週間の平均的な労働日数

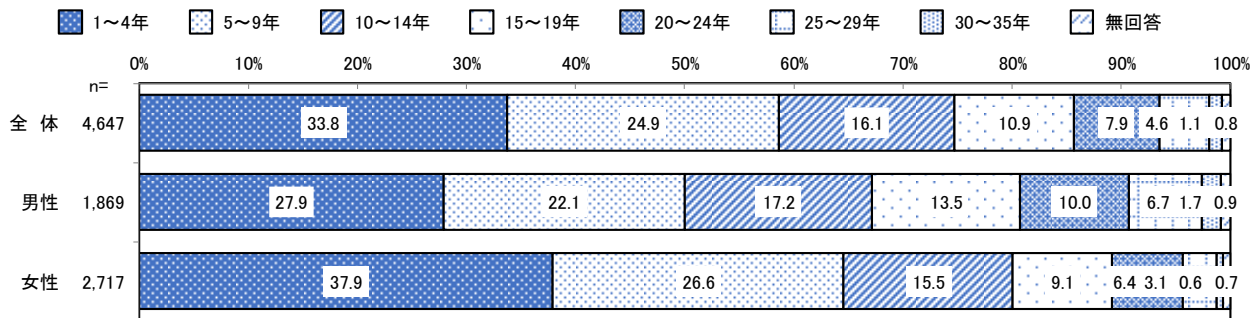
1週間の平均的な労働日数について、平均値は週あたり平均5.0日、中央値は週あたり平均5日となった。

平均値	週あたり平均5.0日
中央値	週あたり平均5日

④現在の仕事の勤続または継続年数（1年未満の場合は1年とする）

仕事の勤続または継続年数について、「1～4年」が33.8%で最も高く、次いで「5～9年」が24.9%、「10～14年」が16.1%となった。

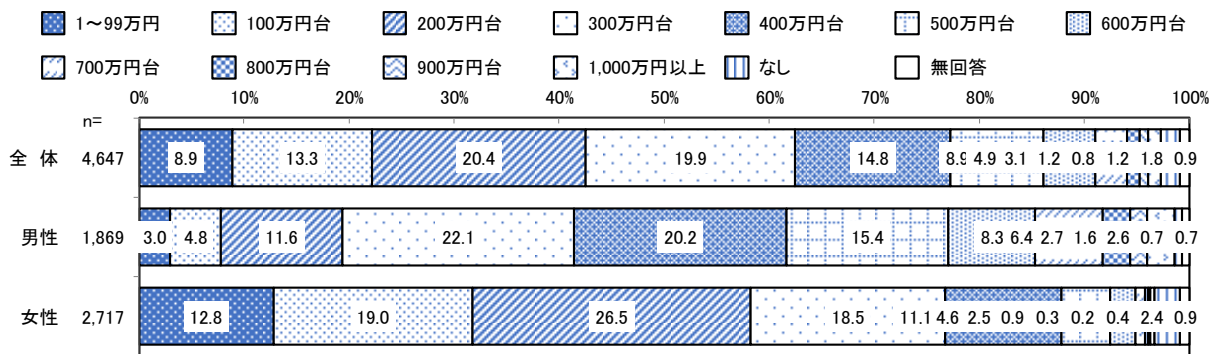
性別で見ると、「女性」では「1～4年」が4割近く、「5～9年」で2割半ばと、「男性」よりも割合が高くなっている。勤続または継続年数が10年以上は、「男性」で5割弱に対し、「女性」では3割半ばと低くなっている。



⑤昨年（2023年）の年収

昨年（2023年）の年収について、「200万円台」が20.4%で最も高く、次いで「300万円台」が19.9%、「400万円台」が14.8%となった。

性別で見ると、「男性」では「300万円台」が2割強で最も高く、次いで「400万円台」が約2割、「500万円台」が1割半ばとなっている。「女性」では「200万円台」が2割半ばで最も高く、次いで「100万円台」「300万円台」が2割弱となっている。



問9(2) 配偶者・パートナーのお仕事（収入を伴うもの。複数ある場合、主たる仕事の対象）についておたずねします。次の①から④には該当する数字を記入し、⑤については、あてはまる番号1つに○をつけてください。

※なお、離別・死別されている方は配偶者・パートナーの現況については回答不要です。

①勤務する日1日の平均的な労働時間（残業時間を含む）

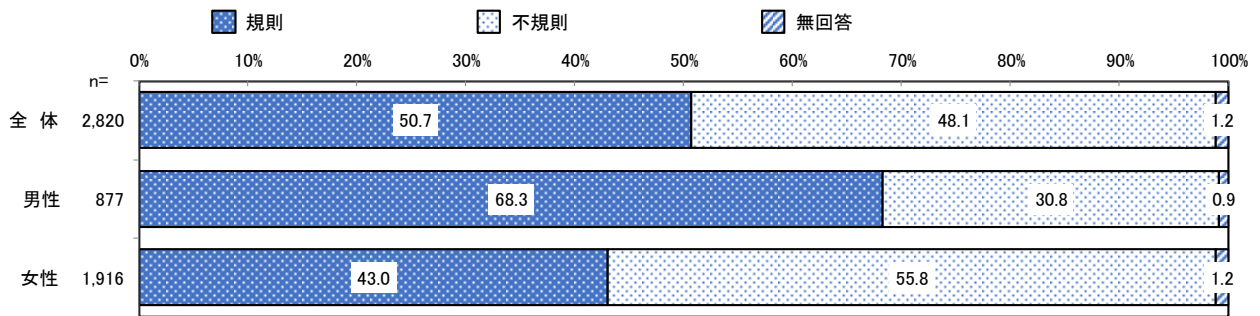
勤務する日1日の平均的な労働時間について、平均値は1日あたり平均8時間31.2分、中央値は1日あたり平均8時間0分となった。

平均値	1日あたり平均8時間31.2分
中央値	1日あたり平均8時間0分

②-1 帰宅時間（自営業は終業時間）

帰宅時間（自営業は終業時間）について、「規則」が50.7%、「不規則」が48.1%となった。

性別でみると、《男性》では「規則」が7割弱、《女性》では「不規則」が5割半ばとなっている。



②-2 帰宅時間（自営業は終業時間）【「規則」を選んだ方の平均的な帰宅時間（0～24時）】

「規則」を選んだ方の平均的な帰宅時間（0～24時）について、平均値は16.0時頃、中央値は18時頃となった。

平均値	16.0時頃
中央値	18時頃

③1 週間の平均的な労働日数

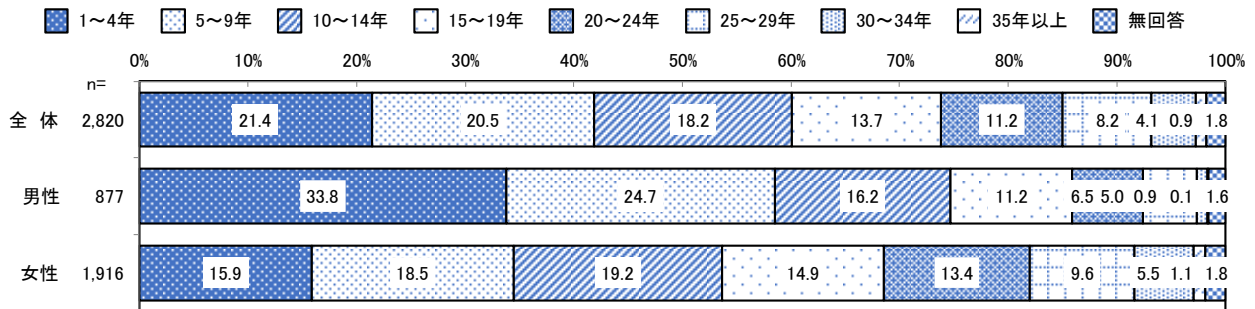
1週間の平均的な労働日数について、平均値は週あたり平均5.1日、中央値は週あたり平均5日となった。

平均値	週あたり平均5.1日
中央値	週あたり平均5日

④現在の仕事の勤続または継続年数（1年未満の場合は1年とする）

仕事の勤続・継続年数について、「1～4年」が21.4%で最も高く、次いで「5～9年」が20.5%、「10～14年」が18.2%となった。

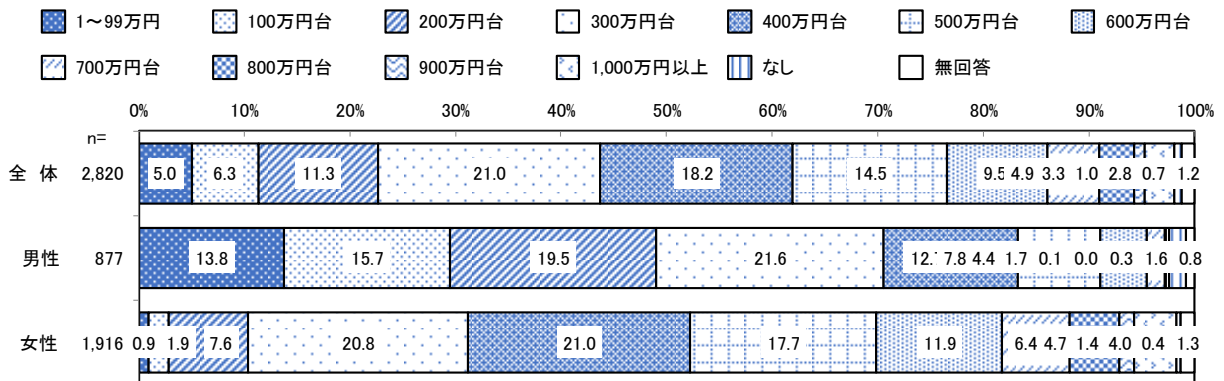
性別で見ると、《男性》では「1～4年」が3割強で最も高く、次いで「5～9年」が2割半ばとなっている。《女性》では「10～14年」が2割弱で最も高く、勤続または継続年数10年以上は6割強を占めている。



⑤昨年（2023年）の年収

昨年（2023年）の年収について、「300万円台」が21.0%で最も高く、次いで「400万円台」が18.2%、「500万円台」が14.5%となった。

性別で見ると、《男性》では「300万円台」「200万円台」が2割前後で高く、《女性》では「400万円台」「300万円台」がともに2割強で高くなっている。《男性》では200万円未満が3割弱で、《女性》に比べ高くなっている。



問10 あなた方ご夫婦・カップルの①結婚を届け出た年月（届出をしていない事実婚・内縁の方は結婚生活を始めた年月）、②初婚・再婚の別について、下線の欄に数字を記入してください。また、②についてはあてはまる番号1つに○をつけてください。

①結婚年数（2024年-結婚を届け出た年）

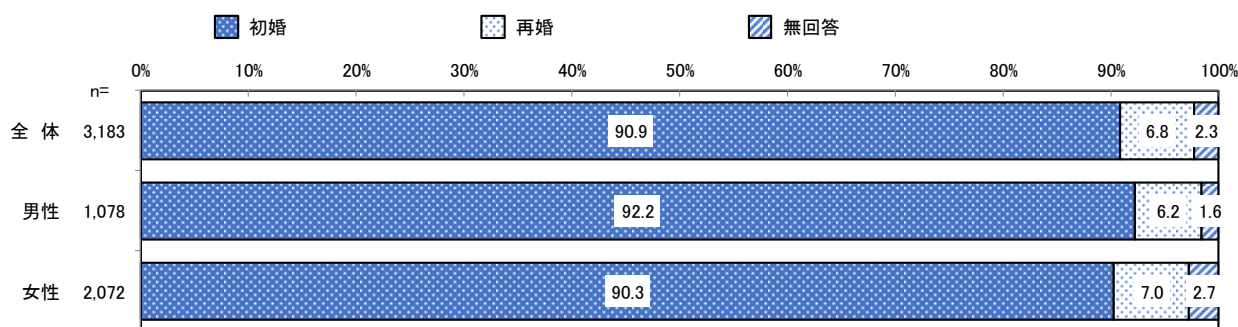
結婚年数について、平均値は11.9年、中央値は11年となった。

平均値	11.9年
中央値	11年

②初婚・再婚の別【あなた】

あなたの初婚・再婚の別について、「初婚」が90.9%、「再婚」が6.8%となった。

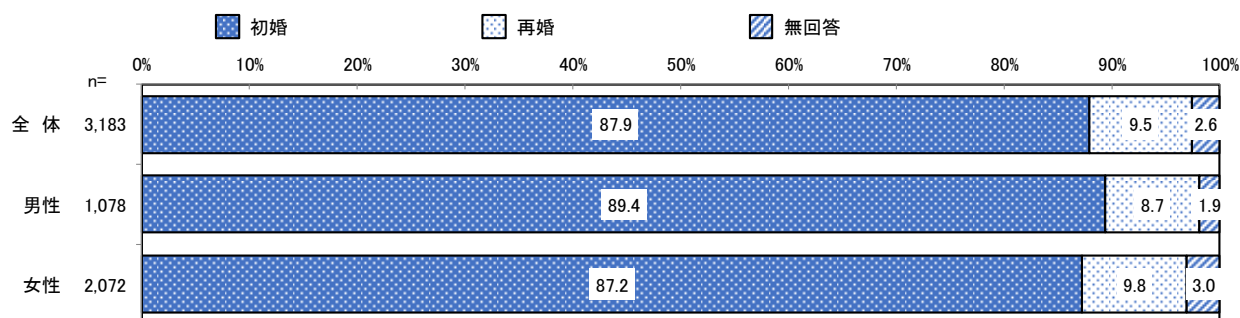
性別で見ると、いずれも「初婚」が8割を超え、多数を占めた。



②初婚・再婚の別【配偶者・パートナー】

配偶者・パートナーの初婚・再婚の別について、「初婚」が87.9%、「再婚」が9.5%となった。

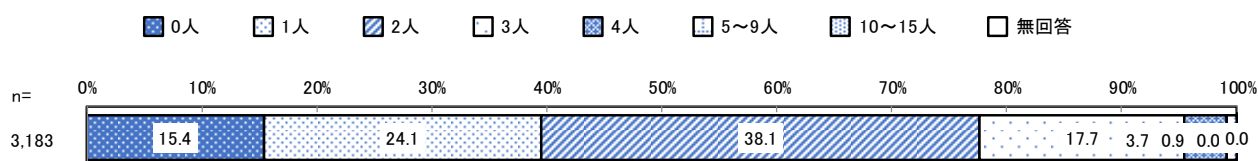
性別で見ると、いずれも「初婚」が7割を超え、多数を占めた。



問 11 あなた方ご夫婦・カップルのお子さんについておたずねします。お子さんの人数について記入（お子さんがおられない方は0としてください）のうえ、長子と末子の年代のあてはまる番号1つに○をつけてください（お子さんが1人の方は長子の欄にのみ記入してください）。 ※2024年4月1日現在（令和6年度入・進学時点）

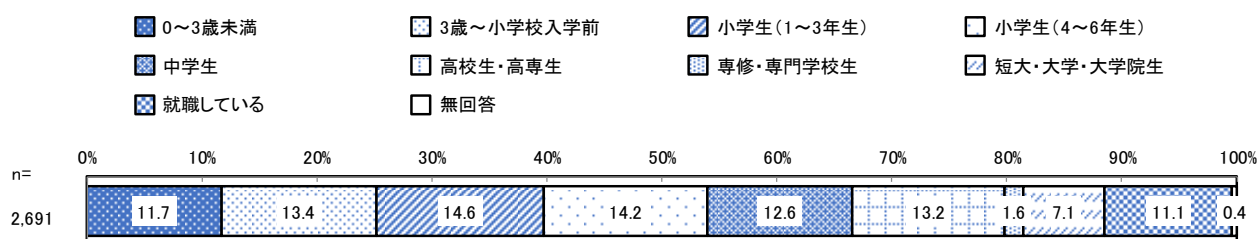
お子さんの人数

お子さんの人数について、「2人」が38.1%で最も高く、次いで「1人」が24.1%、「3人」が17.7%となった。



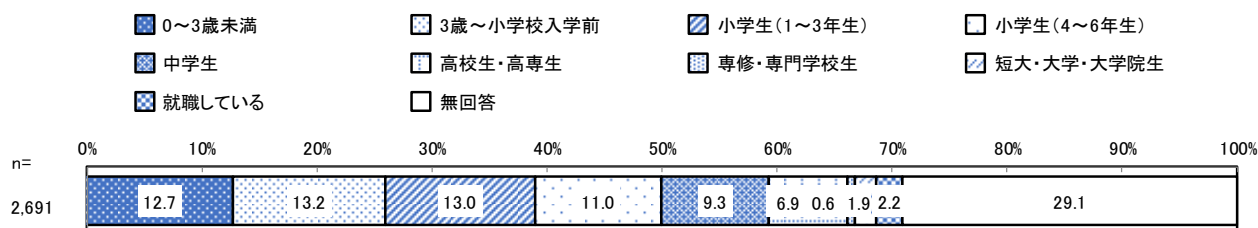
お子さんの年代【長子】

長子の年代について、「小学生（1~3年生）」が14.6%で最も高く、次いで「小学生（4~6年生）」が14.2%、「3歳~小学校入学前」が13.4%となった。



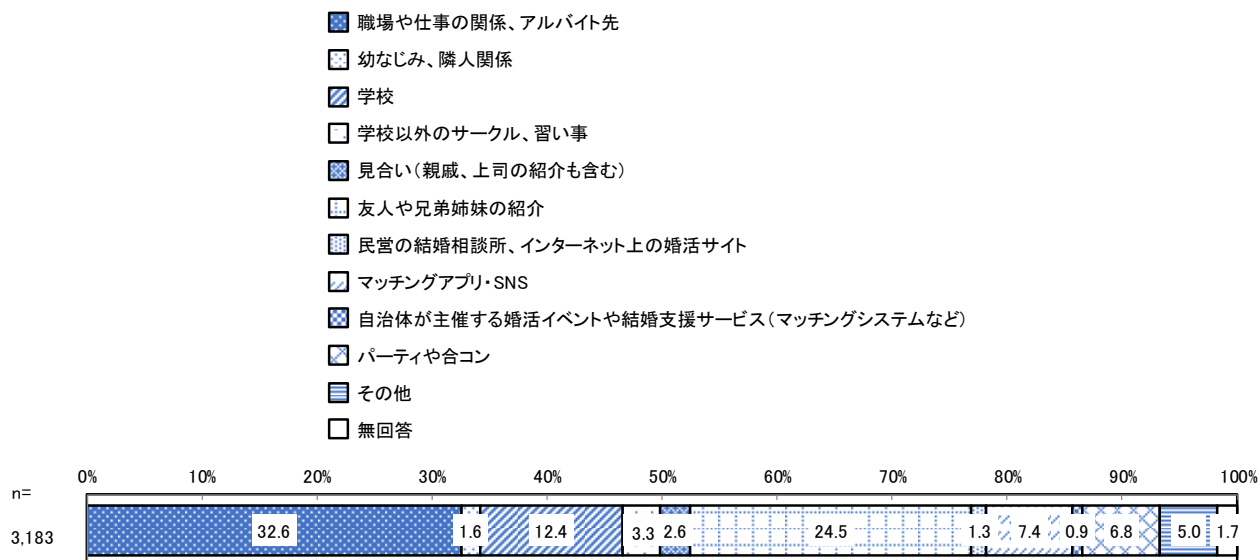
お子さんの年代【末子】

末子の年代について、「3歳~小学校入学前」が13.2%で最も高く、次いで「小学生（1~3年生）」が13.0%、「0~3歳未満」が12.7%となった。



問12 あなた方ご夫婦・カップルはどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

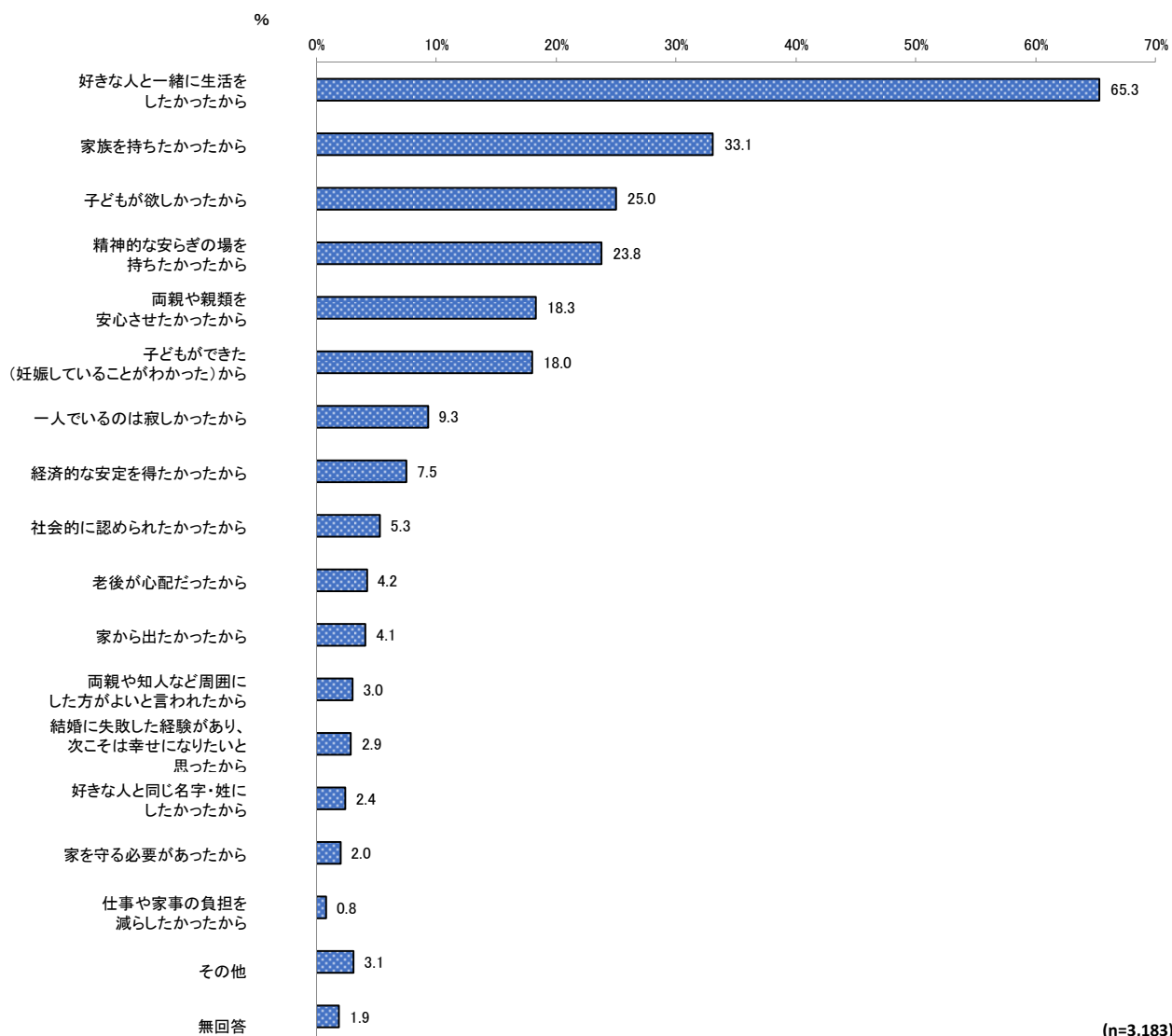
ご夫婦・カップルが知り合ったきっかけについて、「職場や仕事の関係、アルバイト先」が32.6%で最も高く、次いで「友人や兄弟姉妹の紹介」が24.5%、「学校」が12.4%となった。



問 13 あなたが結婚を決めた理由は何ですか。次の中から、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

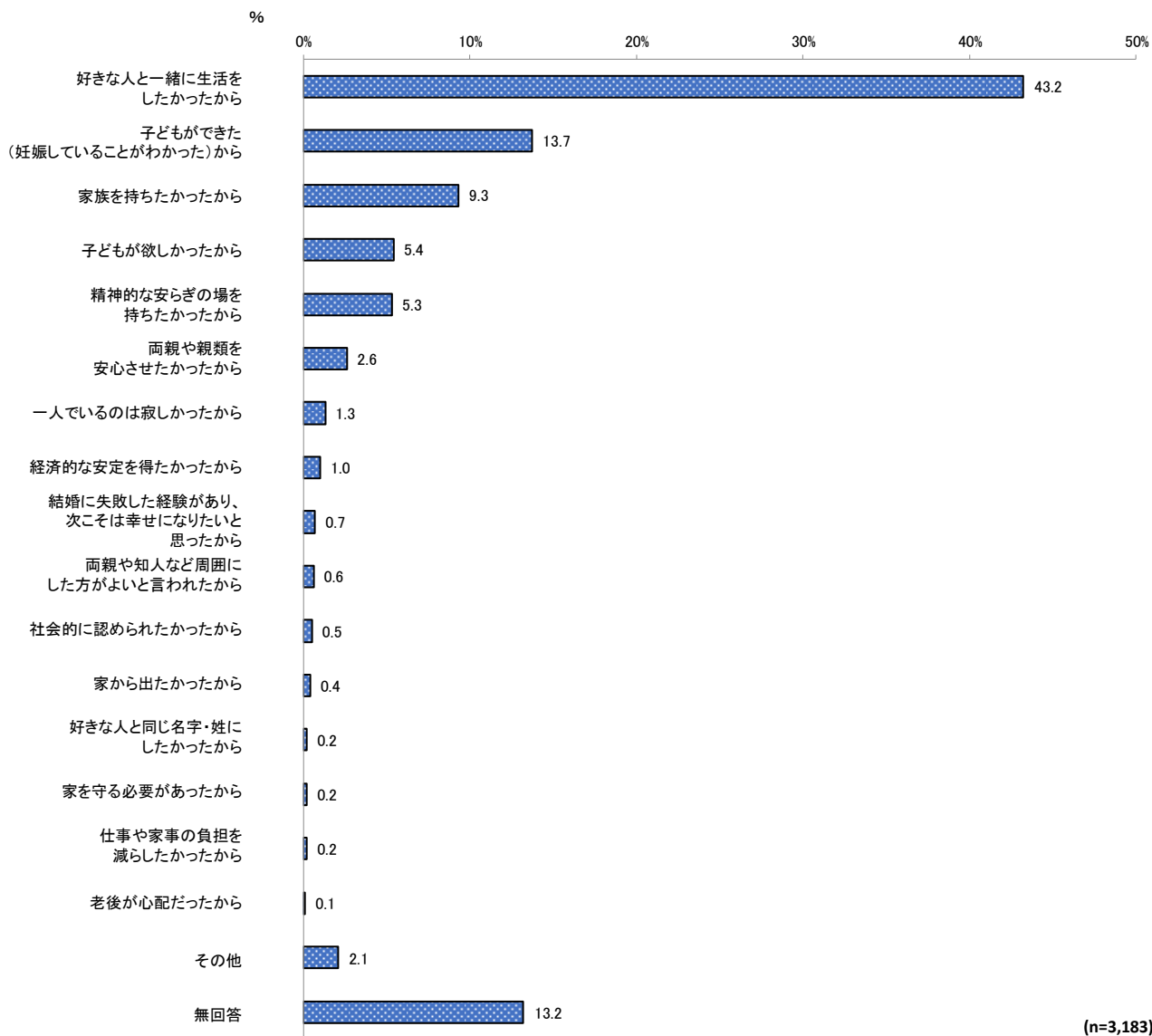
結婚を決めた理由

結婚を決めた理由について、「好きな人と一緒に生活をしたかったから」が65.3%で最も高く、次いで「家族を持ちたかったから」が33.1%、「子どもが欲しかったから」が25.0%となった。



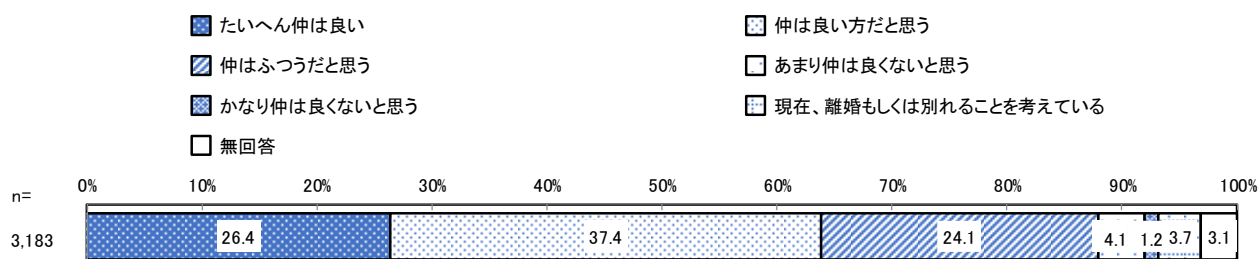
結婚を決めた最も重要な理由

結婚を決めた最も重要な理由について、「好きな人と一緒に生活をしたかったから」が43.2%で最も高く、次いで「子どもができた（妊娠していることがわかった）から」が13.7%、「家族を持ちたかったから」が9.3%となった。

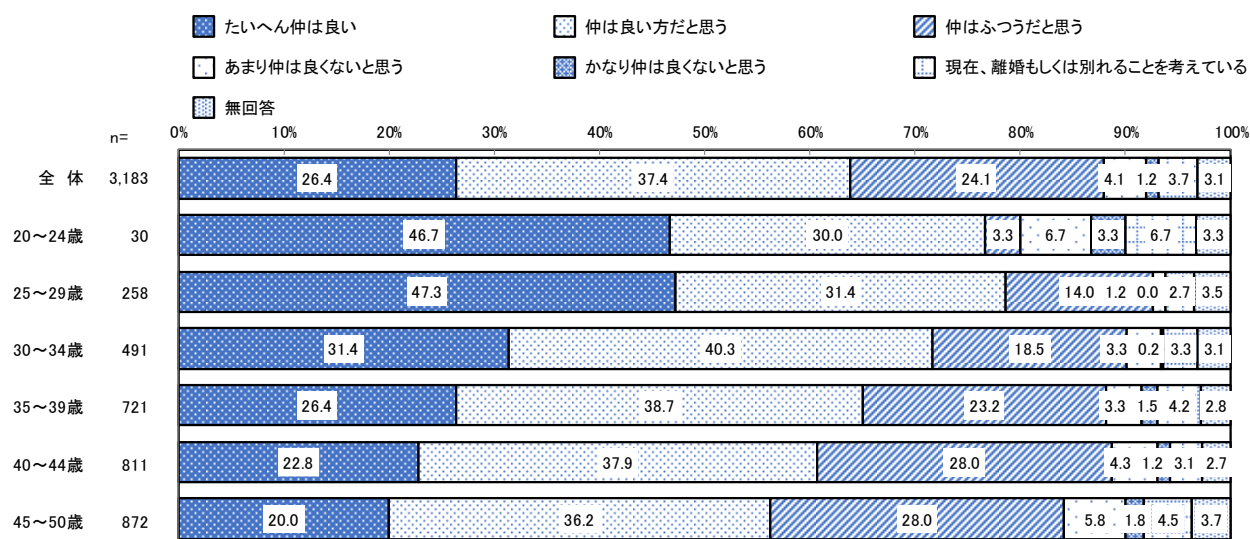


問 14 あなた方ご夫婦・カップルの仲について、次の中から最もあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

ご夫婦・カップルの仲について、「仲は良い方だと思う」が 37.4%で最も高く、次いで「たいへん仲は良い」が 26.4%、「仲はふつうだと思う」が 24.1%となった。

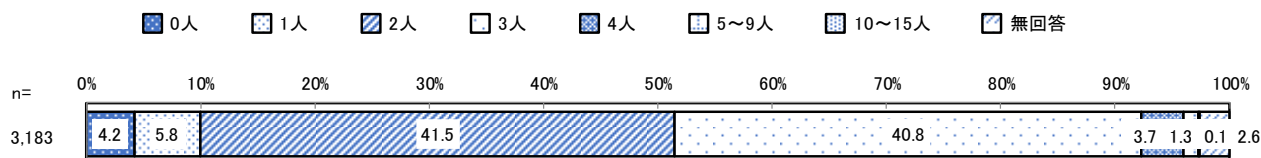


年齢別にみると、20歳代では「たいへん仲は良い」が4割台、30歳以上では「仲は良い方だと思う」が3割半ばから約4割で、それぞれ最も高くなっている。



問 15 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。その具体的な人数を記入してください（お子さんはいない方は0としてください）。

理想的な子どもの人数について、「2人」が41.5%で最も高く、次いで「3人」が40.8%、「1人」が5.8%となった。



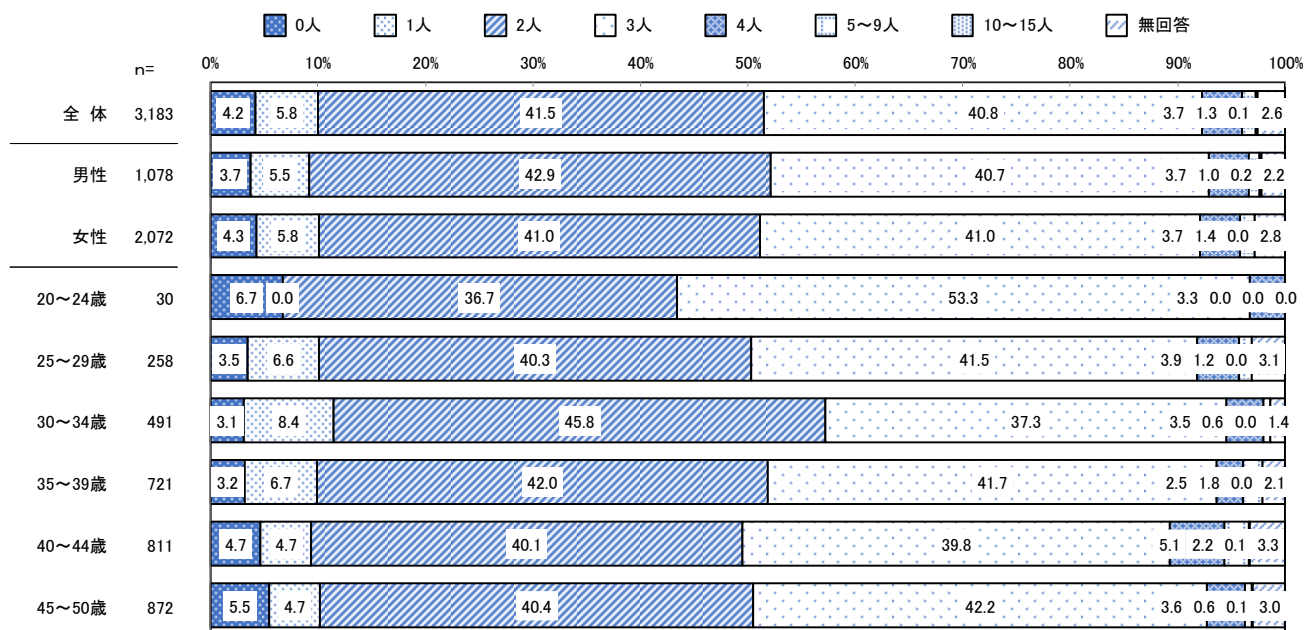
平均値・中央値

理想的な子どもの人数について、平均値は2.4人、中央値は2人となった。

平均値	2.40人
中央値	2人

既婚

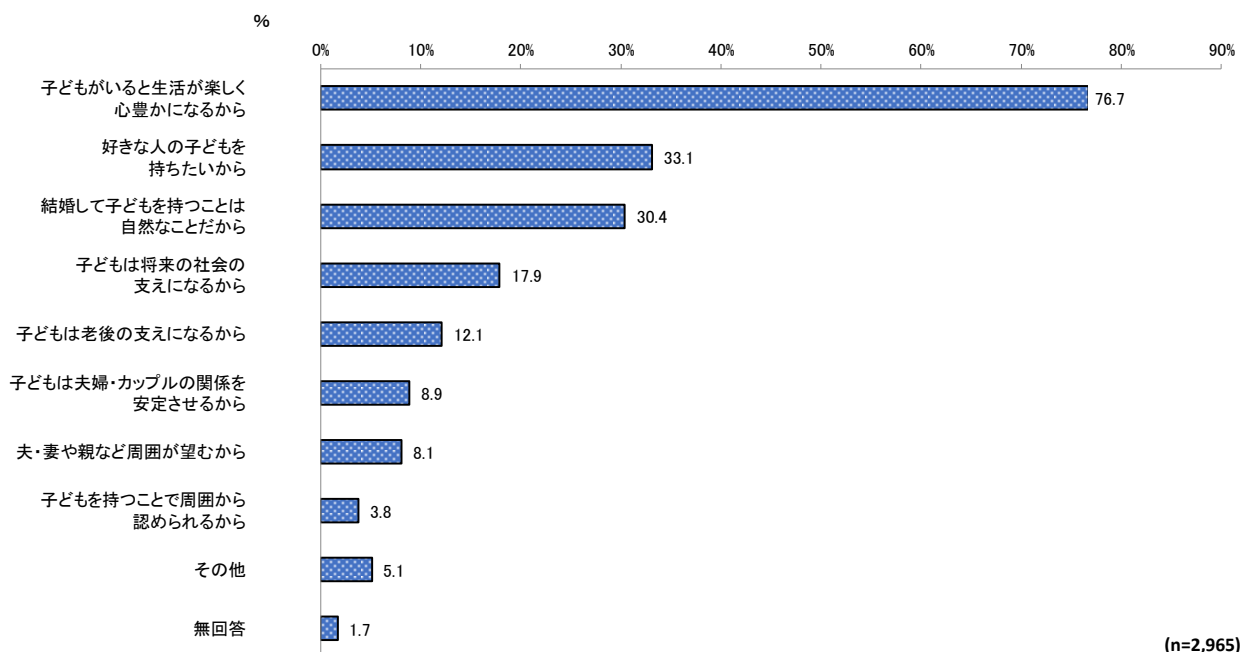
性別・年齢別にみると、《男性》と《女性》との間に大きな差はない。年齢別では、2人以下の割合が《30～34歳》で最も高くなっている。



問16 問15で1人以上とお答えの方におたずねします。理想的な子どもの数を1人以上とお考えになる理由は何ですか。次の中から、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

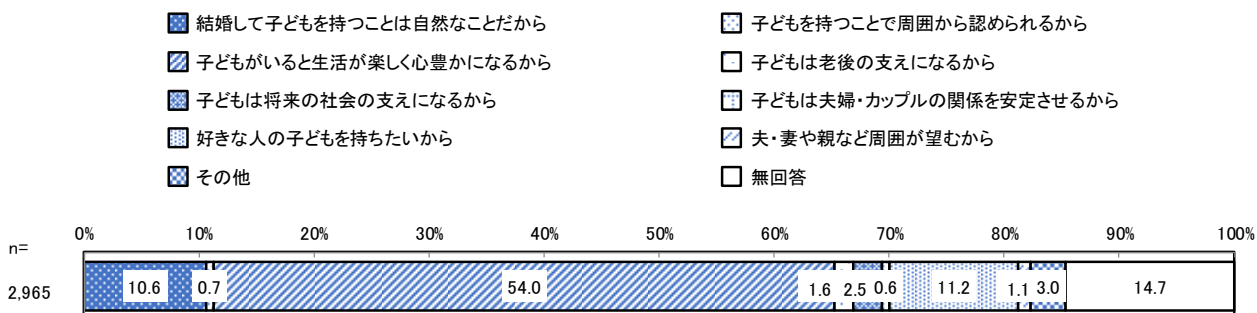
子どもを持ちたい理由

理想的な子どもの数を1人以上と考える理由について、「子どもがいると生活が楽しく心豊かになるから」が76.7%で最も高く、次いで「好きな人の子どもを持ちたいから」が33.1%、「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」が30.4%となった。



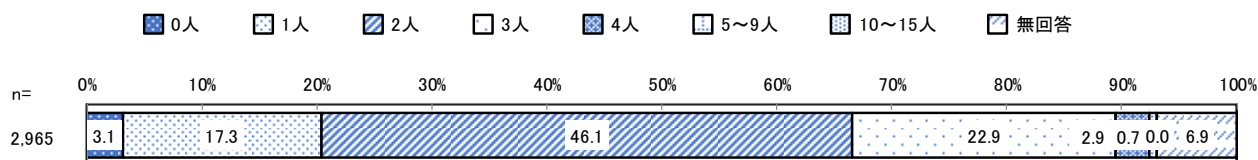
子どもを持ちたい最も重要な理由

理想的な子どもの数を1人以上と考える最も重要な理由について、「子どもがいると生活が楽しく心豊かになるから」が54.0%で最も高く、次いで「好きな人の子どもを持ちたいから」が11.2%、「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」が10.6%となった。



問 17 問 15 で 1 人以上とお答えの方におたずねします。実際には何人の子ども（現在の子どもを含めて）を持つ予定ですか。その具体的な人数を記入してください（お子さんを持たない方は 0 としてください）。

実際に持つ予定の子どもの人数について、「2 人」が 46.1%で最も高く、次いで「3 人」が 22.9%、「1 人」が 17.3%となった。



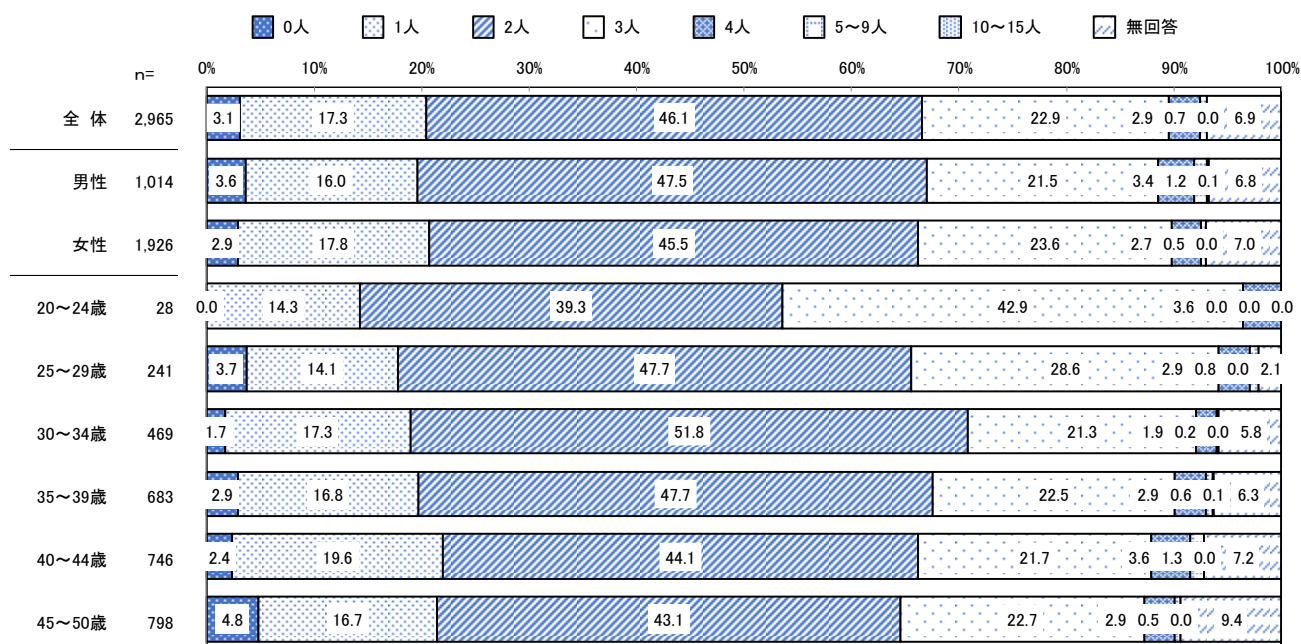
平均値・中央値

実際に持つ予定の子どもの人数について、平均値は 2.09 中央値は 2 人となった。

平均値	2.09 人
中央値	2 人

既婚

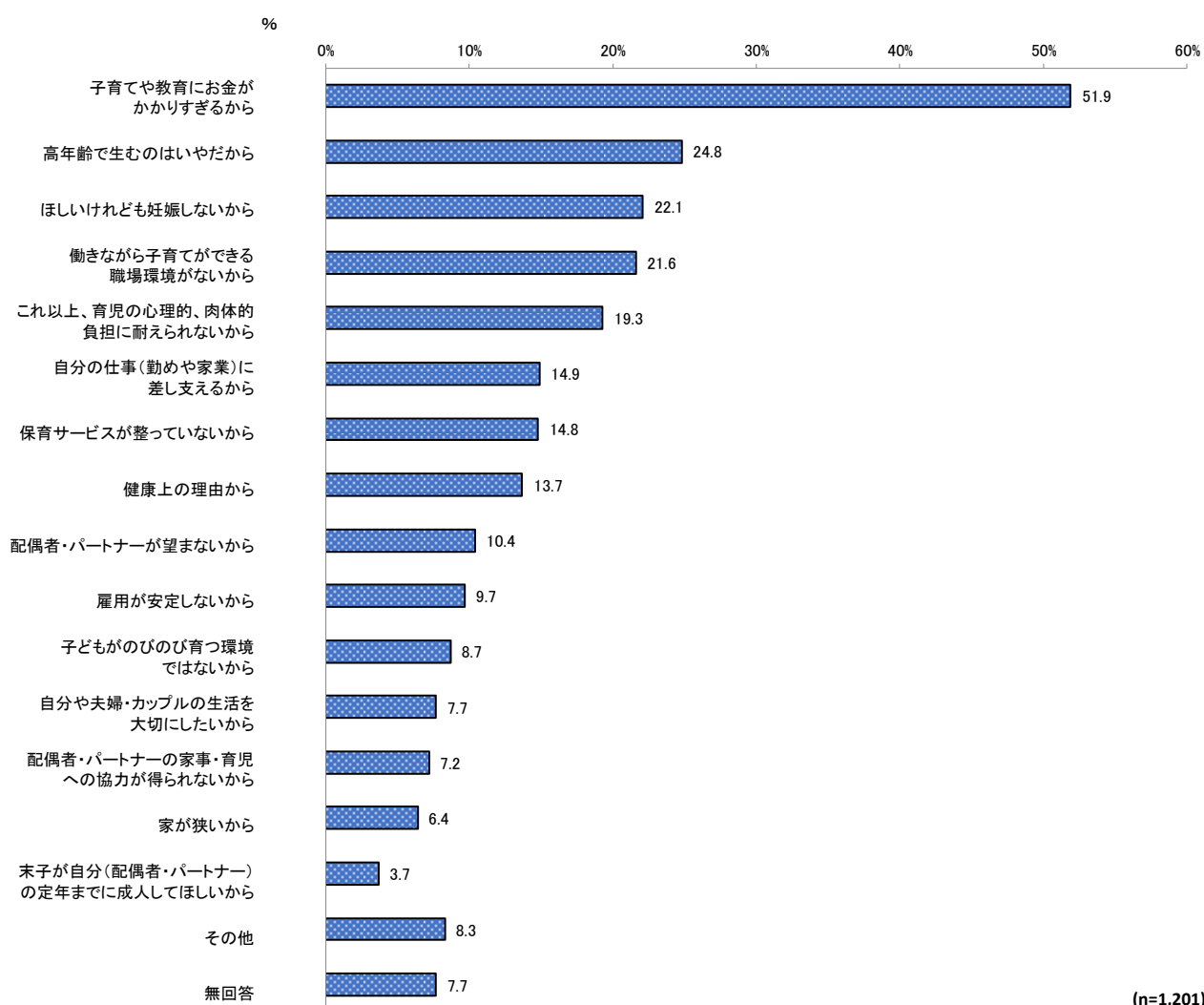
性別・年齢別にみると、《男性》と《女性》との間に大きな差はない。年齢別では、2人以下の割合が《30～34歳》で最も高くなっている。



問18 問15で0人とお答えの方と、予定している子どもの数（問17）が理想的な子どもの数（問15）より少ない方におたずねします。子どもを持ちたくない理由は何ですか。または、持つ予定の子どもの数が理想的な子どもの数よりも少ないのはどうしてですか。次の中から、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

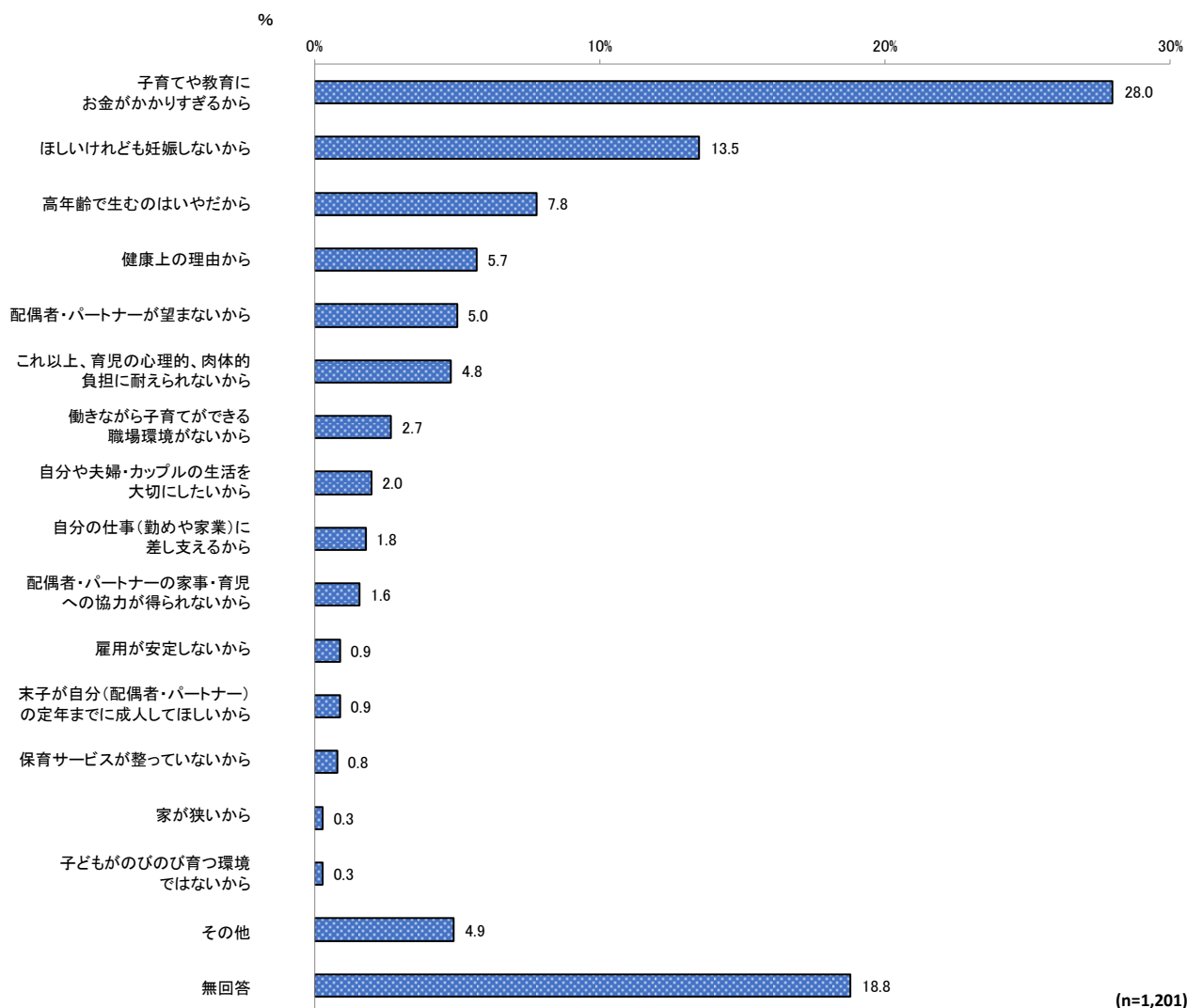
子どもを持ちたくない、または理想的な子どもの数を持たない・持てない理由

子どもを持ちたくない、または持つ予定の子どもの数が理想的な子どもの数よりも少ない理由について、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が51.9%で最も高く、次いで「高年齢で生むのはいやだから」が24.8%、「ほしいけれども妊娠しないから」が22.1%となった。



子どもを持ちたくない、または理想的な子どもの数を持たない・持てない最も重要な理由

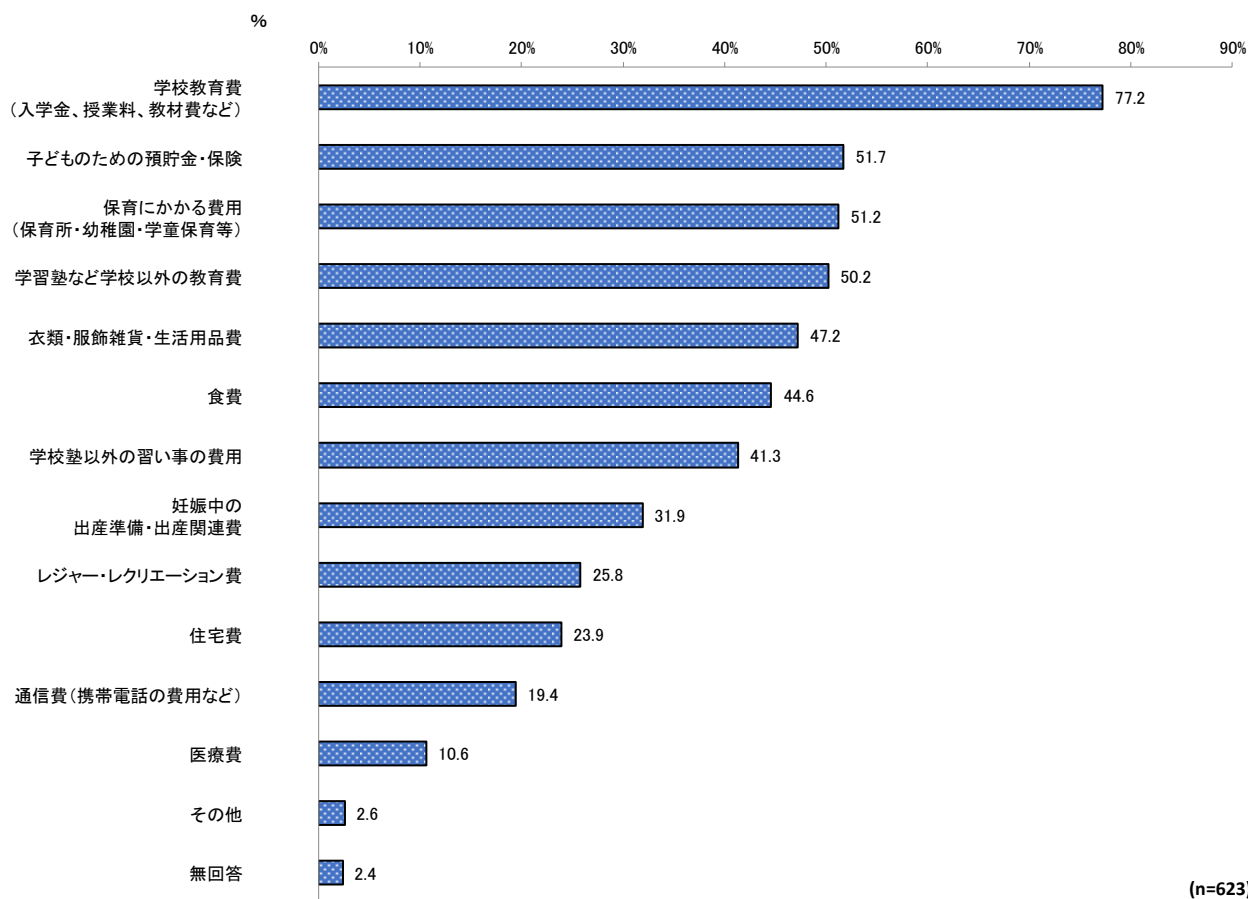
子どもを持ちたくない、または持つ予定の子ども数が理想的な子どもの数よりも少ない最も重要な理由について、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が28.0%で最も高く、次いで「ほしいけれども妊娠しないから」が13.5%、「高年齢で生むのはいやだから」が7.8%となった。



問19 問18で「1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから」に○をつけた方におたずねします。あなたにとって、子育てや教育にかかる経済的な負担として大きなものは何ですか。次の中から、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も負担に感じるものには◎をつけてください。

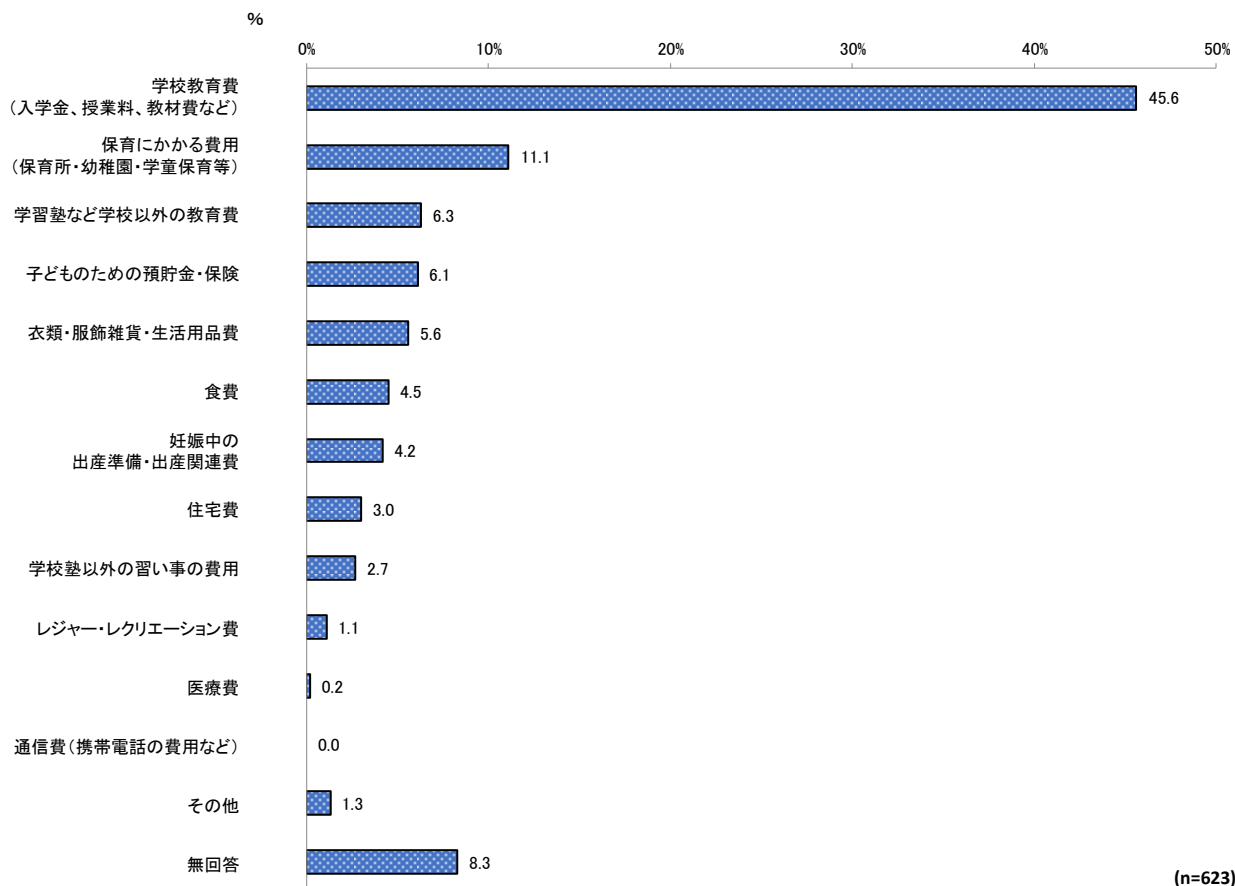
子育てや教育の経済的な負担

子育てや教育にかかる経済的な負担として大きなものについて、「学校教育費（入学金、授業料、教材費など）」が77.2%で最も高く、次いで「子どものための預貯金・保険」が51.7%、「保育にかかる費用（保育所・幼稚園・学童保育等）」が51.2%となった。



子育てや教育の最も大きな経済的負担

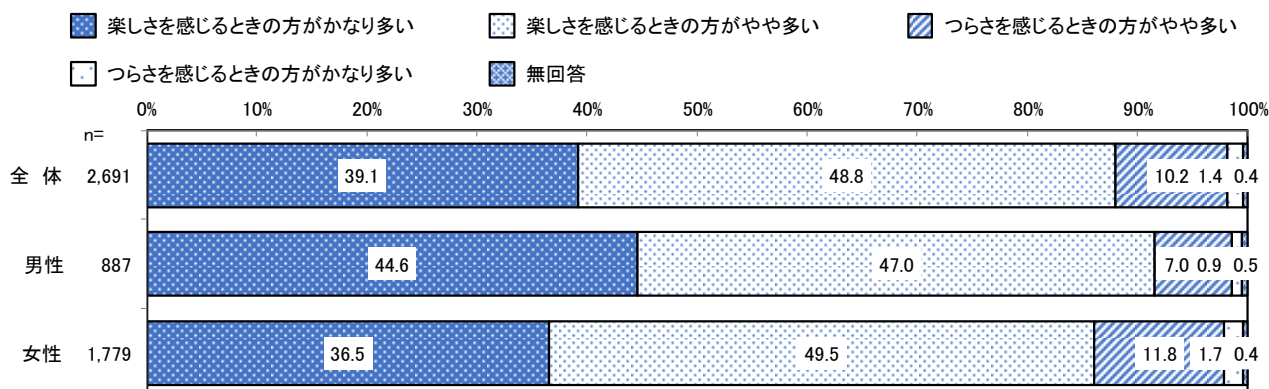
子育てや教育にかかる経済的な負担が最も大きく感じるものについて、「学校教育費（入学金、授業料、教材費など）」が45.6%で最も高く、次いで「保育にかかる費用（保育所・幼稚園・学童保育等）」が11.1%、「学習塾など学校以外の教育費」が6.3%となった。



問 20 あなたは、子育てに楽しさを感じるときが多いですか、それともつらさを感じるときが多いですか。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

子育てに楽しさ・つらさのどちらを感じる時の方が多くかについて、「楽しさを感じる時の方がやや多い」が48.8%で最も高く、次いで「楽しさを感じる時の方がかなり多い」が39.1%、「つらさを感じる時の方がやや多い」が10.2%となった。

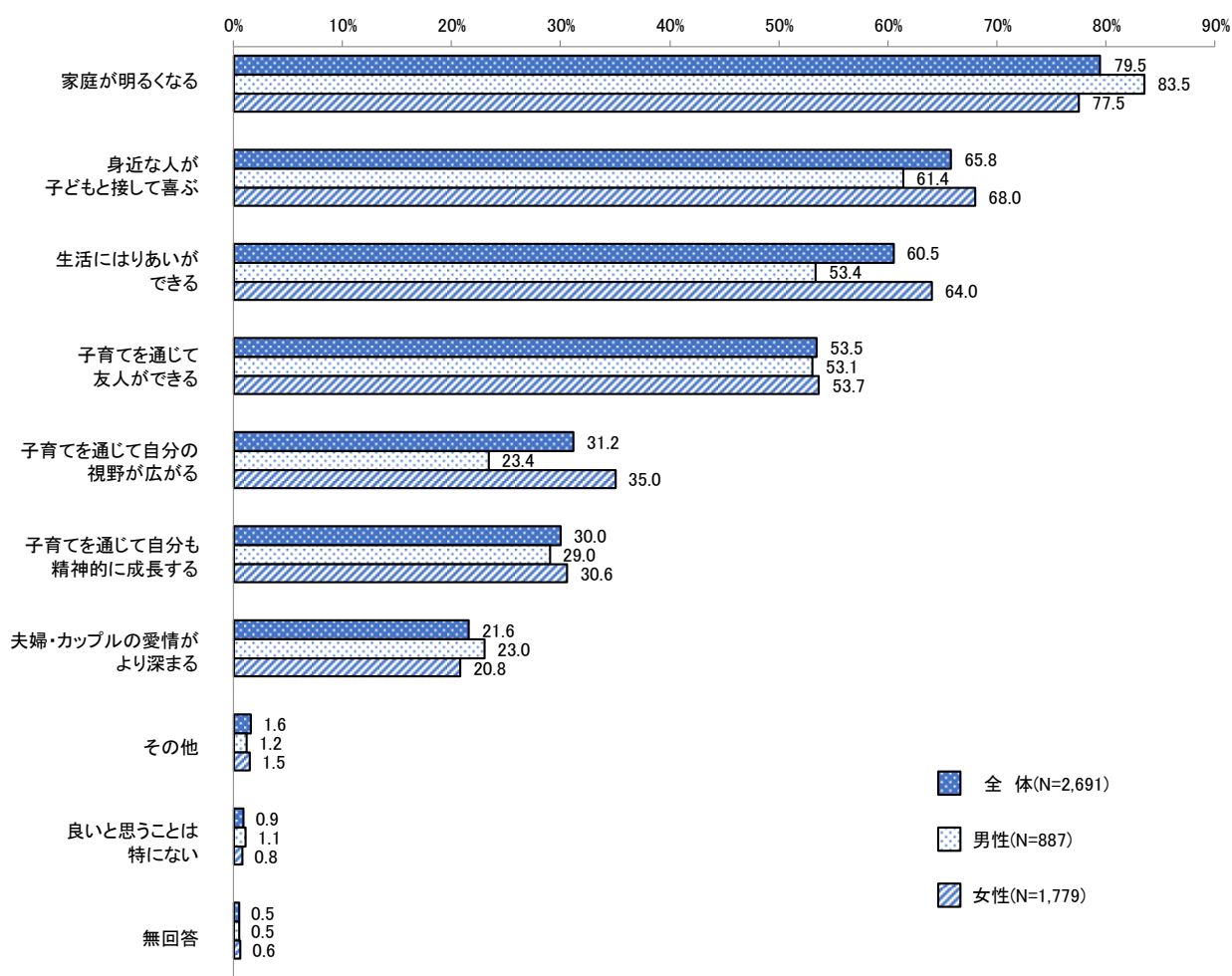
性別で見ると、いずれにおいても「楽しさを感じる時の方がやや多い」が4割を超え最も高くなっている。



問 21 あなたが、子育てをされていて良かったと思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てをされていて良かったと思うことについて、「家庭が明るくなる」が79.5%で最も高く、次いで「子育てを通じて自分も精神的に成長する」が65.8%、「子育てを通じて自分の視野が広がる」が60.5%となった。

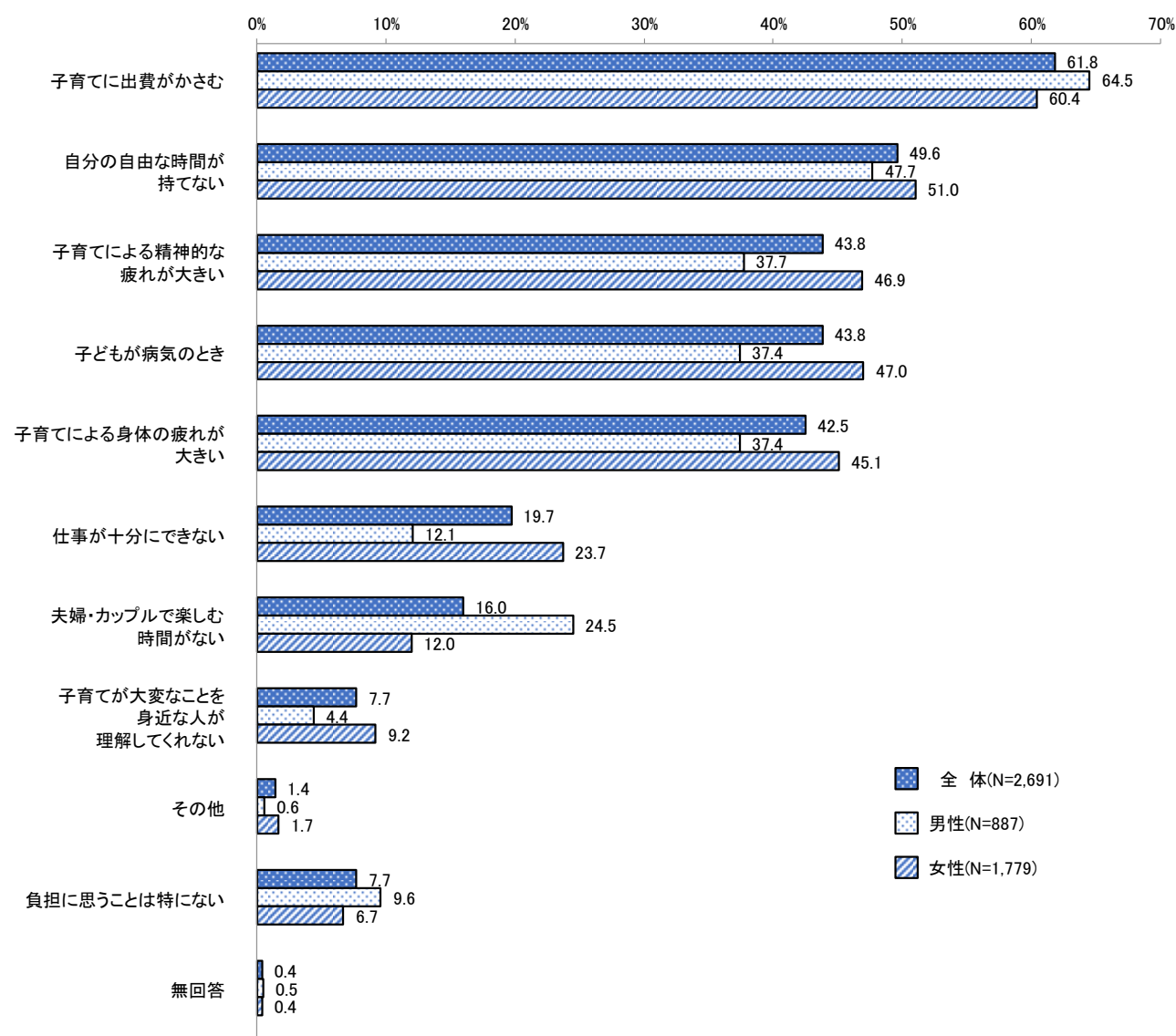
性別で見ると、いずれも「家庭が明るくなる」が7割を超え最も高い。《女性》では「子育てを通じて友人ができる」「子育てを通じて自分の視野が広がる」が、《男性》よりも10ポイント以上高い。



問 22 あなたが、子育てをされていて負担に思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てをされていて負担に思うことについて、「子育てに出費がかさむ」が61.8%で最も高く、次いで「自分の自由な時間が持てない」が49.6%、「子育てによる精神的な疲れが大きい」及び「子どもが病気のと看」が43.8%となった。

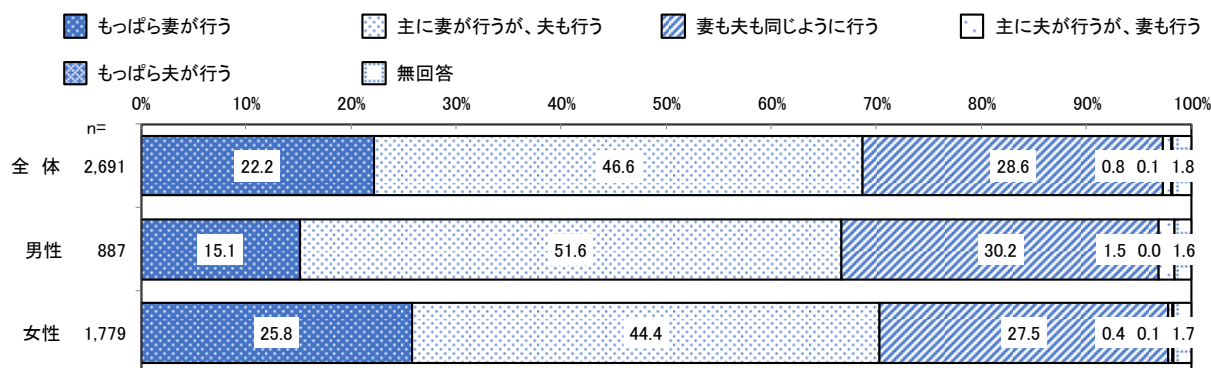
性別で見ると、男女ともに「子育てに出費がかさむ」が6割を超え最も高く、次いで「自分の自由な時間が持てない」となっている。《女性》では、「仕事が十分にできない」「子どもが病気のと看」「子育てによる精神的な疲れが大きい」が比較的高くなっている。



問 23 小学校入学前の子どもの育児における夫・妻の役割について、あなたの考えに近い番号に1つだけ○をつけてください。

小学校入学前の子どもの育児における夫・妻の役割についての考えについて、「主に妻が行うが、夫も行う」が46.6%で最も高く、次いで「妻も夫も同じように行う」が28.6%、「もっぱら妻が行う」が22.2%となった。

性別で見ると、男女ともに「主に妻が行うが、夫も行う」が4割を超え最も高い。《女性》では「もっぱら妻が行う」が2割半ばで、《男性》に比べ高くなっている。



問 24 あなたとあなたの配偶者・パートナーは、平日・休日それぞれ何時間何分くらい家事・育児をしています・していましたか。次の（ ）内に数字を記入してください（家事は炊事、洗濯、掃除など日常的なもののみお答えください）。

【あなた】（平日）どれくらい家事・育児をする・していたか

あなたは平日どれくらい家事・育児をする・していたかについて、平均値は4時間51.1分、中央値は4時間0分となった。

平均値	4時間51.1分
中央値	4時間0分

【あなた】（休日）どれくらい家事・育児をする・していたか

あなたは休日どれくらい家事・育児をする・していたかについて、平均値は7時間26.5分、中央値は6時間0分となった。

平均値	7時間26.5分
中央値	6時間0分

【配偶者・パートナー】（平日）どれくらい家事・育児をする・していたか

配偶者・パートナーは平日どれくらい家事・育児をする・していたかについて、平均値は3時間7.8分、中央値は2時間0分となった。

平均値	3時間7.8分
中央値	2時間0分

【配偶者・パートナー】（休日）どれくらい家事・育児をする・していたか

配偶者・パートナーは休日どれくらい家事・育児をする・していたかについて、平均値は5時間13.3分、中央値は4時間0分となった。

平均値	5時間13.3分
中央値	4時間0分

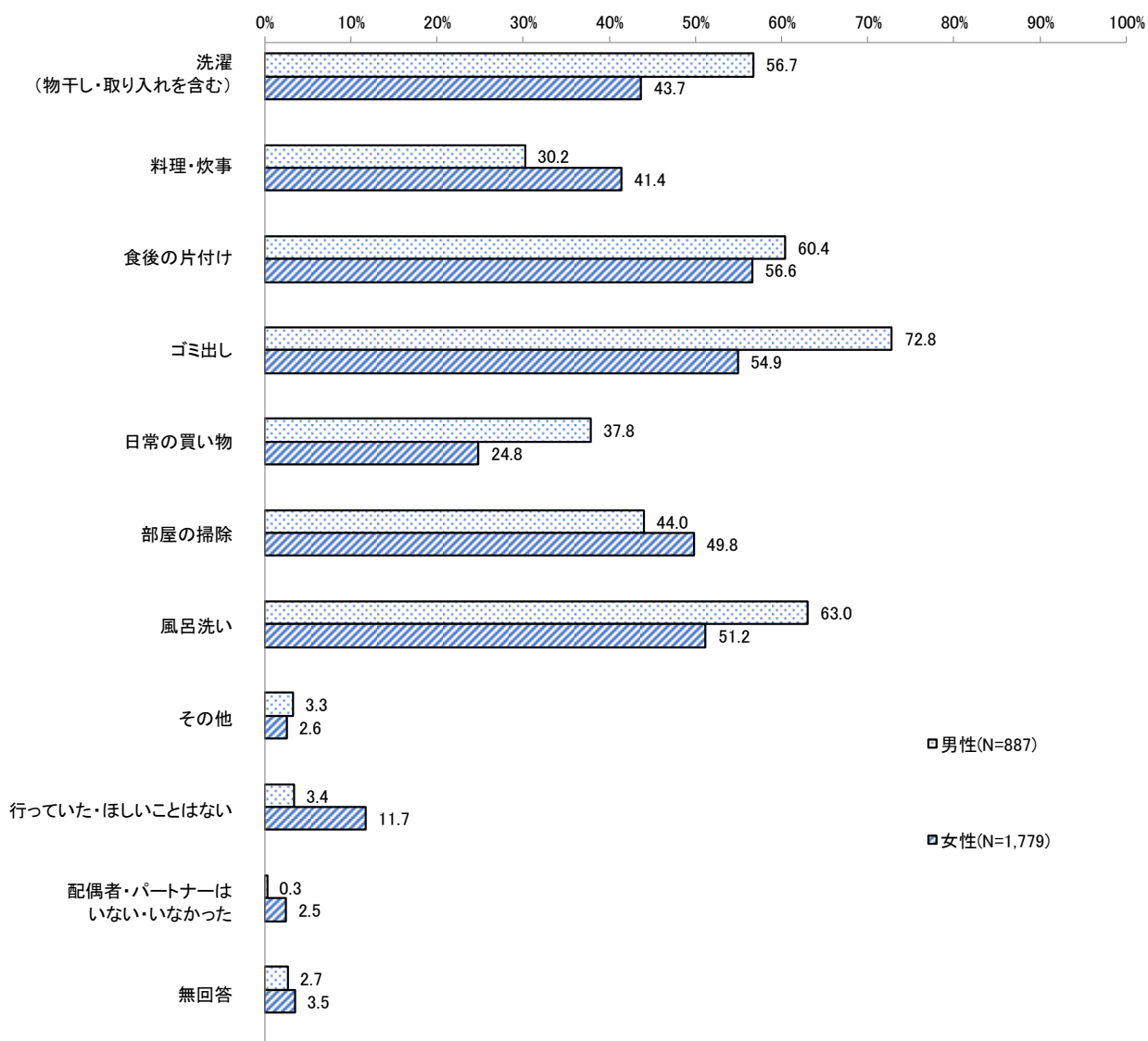
問 25 男性の家事・育児への参加についておたずねします。

【男性の方へ】あなたご自身が、配偶者・パートナーと同程度、またはあなたご自身が主として行っている・いたことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【女性の方へ】あなたの配偶者・パートナーが、あなたご自身と同程度、あるいは配偶者・パートナーが主として行ってほしい・ほしかったことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

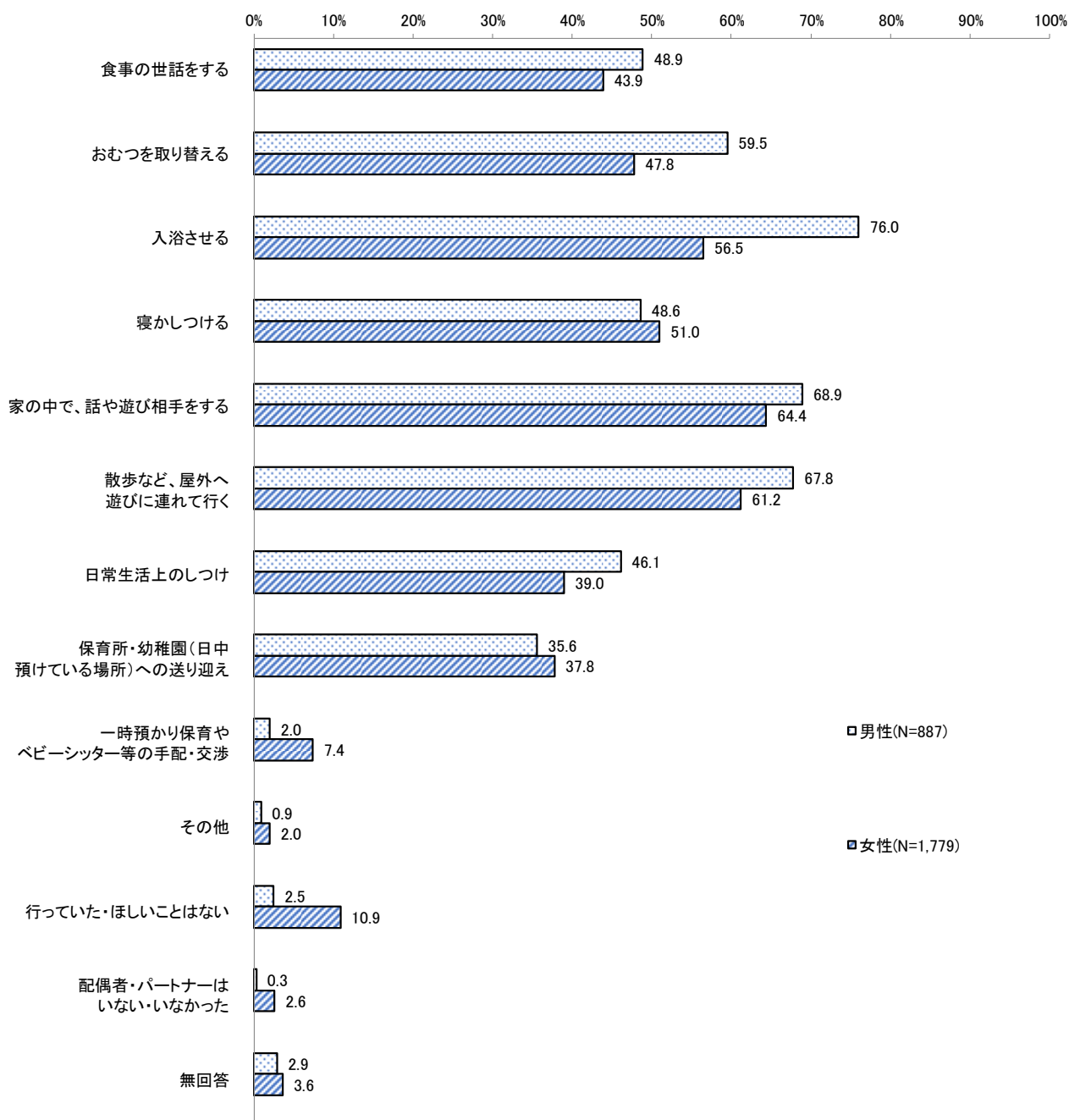
男性の家事への参加

性別で見ると、《男性》では「ゴミ出し」が7割強で最も高く、次いで「風呂洗い」「食後の片付け」が6割台となっている。《女性》では「食後の片付け」が5割半ばで最も高く、次いで「ゴミ出し」「風呂洗い」が5割台となっている。



男性の育児への参加

性別で見ると、《男性》では「入浴させる」が7割半ばで最も高く、次いで「家の中で、話や遊び相手をする」「散歩など、屋外へ遊びに連れて行く」が6割台となっている。《女性》では「家の中で、話や遊び相手をする」が6割半ばで最も高く、次いで「散歩など、屋外へ遊びに連れて行く」が6割強、「入浴させる」が5割半ばとなっている。

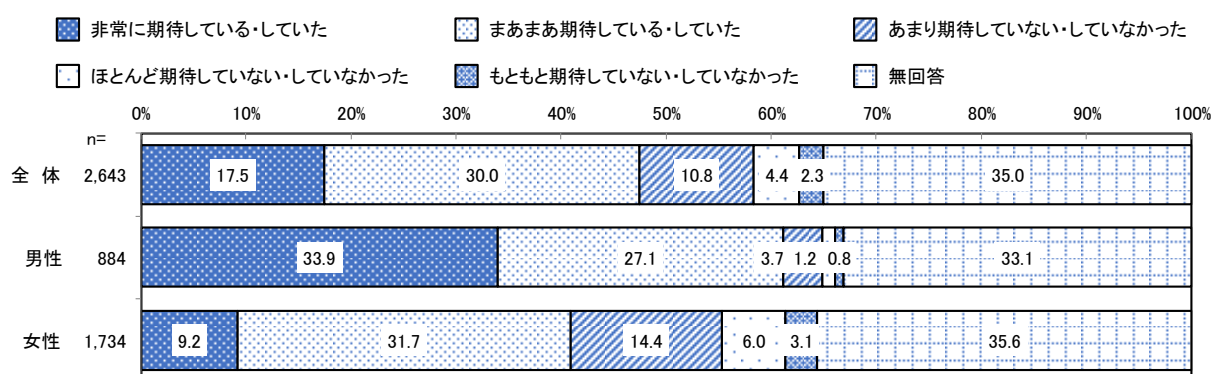


問26 問25で「配偶者・パートナーはいない・いなかった」に○をつけなかった方におたずねします。あなたは①配偶者・パートナーの育児・家事にどの程度期待しています・していましたか。また②どの程度満足しています・していましたか。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

①配偶者・パートナーの育児・家事への期待

配偶者・パートナーの育児・家事にどの程度期待している・していたかについて、「まあまあ期待している・していた」が30.0%で最も高く、次いで「非常に期待している・していた」が17.5%、「あまり期待していない・していなかった」が10.8%となった。

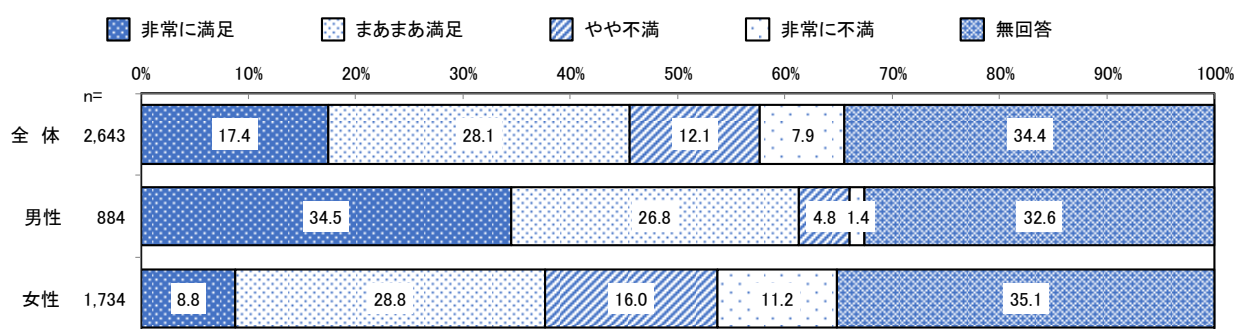
性別で見ると、《男性》では「非常に期待している・していた」が3割強で、《女性》に比べて高い。



②配偶者・パートナーの育児・家事への満足

配偶者・パートナーの育児・家事にどの程度満足している・していたかについて、「まあまあ満足」が28.1%で最も高く、次いで「非常に満足」が17.4%、「やや不満」が12.1%となった。

性別で見ると、《男性》では「非常に満足」が3割半ばで、《女性》に比べ高い。《女性》では「やや不満」「非常に不満」が1割を超え、《男性》に比べ高い。

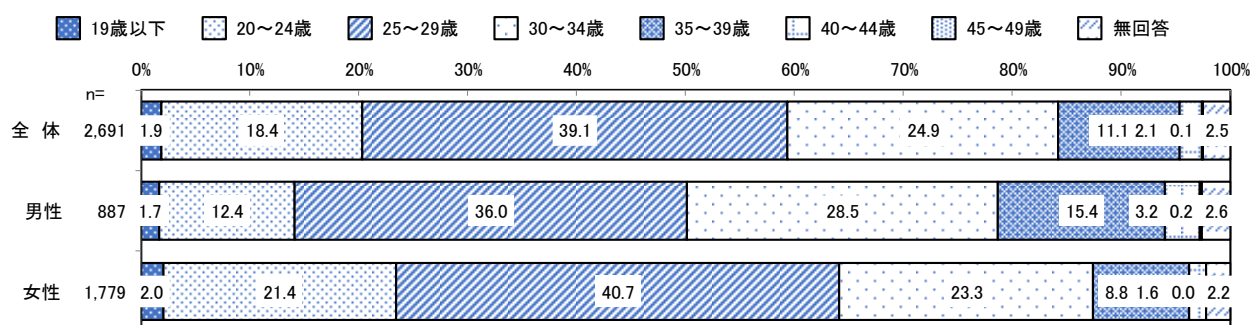


問 27 長子と、複数お子さんがおられる方は末子が生まれた時の①あなたの年齢をご記入いただき、次に②あなたのおつとめの継続状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

①年齢【長子が生まれた時】

長子が生まれた時の年齢について、「25～29歳」が39.1%で最も高く、次いで「30～34歳」が24.9%、「20～24歳」が18.4%となった。

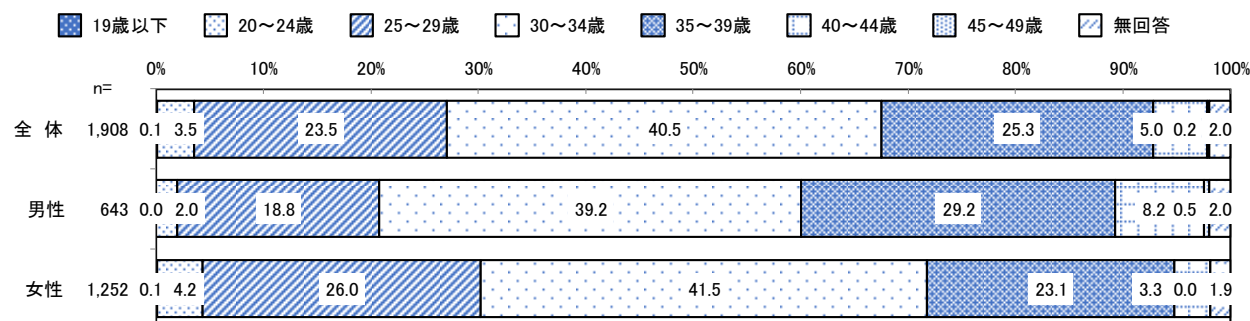
性別で見ると、男女とも「25～29歳」が3割を超え最も高く、次いで「30～34歳」となっている。



①年齢【末子が生まれた時】

末子が生まれた時の年齢について、「30～34歳」が40.5%で最も高く、次いで「35～39歳」が25.3%、「25～29歳」が23.5%となった。

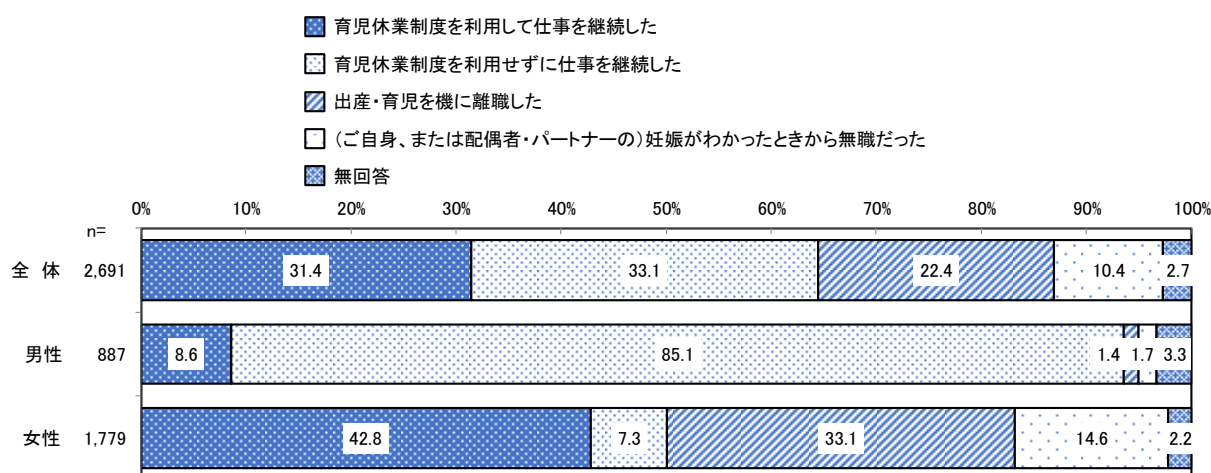
性別で見ると、男女とも「30～34歳」が3割を超え最も高く、これに次いで、《男性》は「35～39歳」、《女性》は「25～29歳」がそれぞれ2割台となっている。



②おつとめの継続状況【長子が生まれた時】

長子が生まれた時のおつとめの継続状況について、「育児休業制度を利用せずに仕事を継続した」が33.1%で最も高く、次いで「育児休業制度を利用して仕事を継続した」が31.4%、「出産・育児を機に離職した」が22.4%となった。

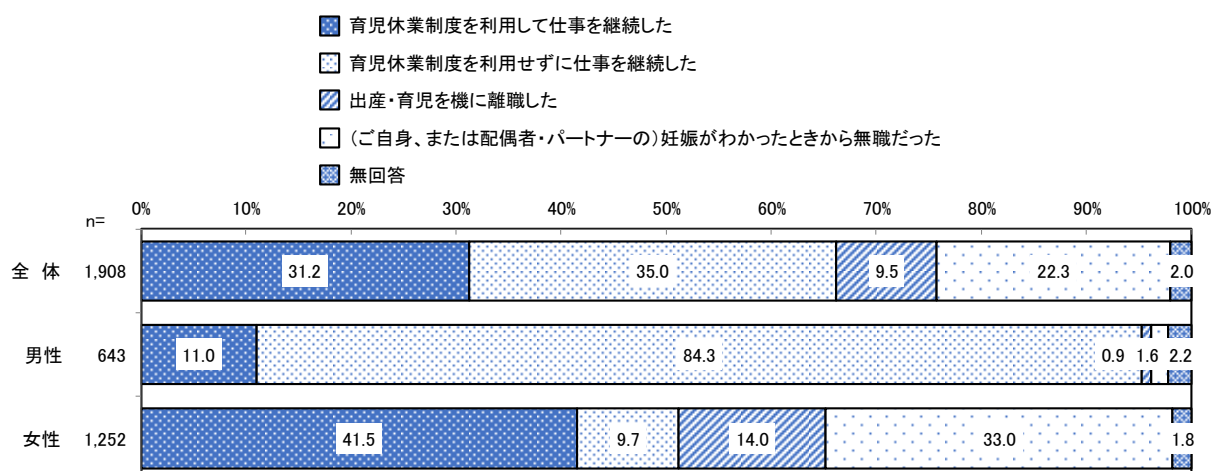
性別で見ると、《男性》では「育児休業制度を利用せずに仕事を継続した」が8割半ば、《女性》では「育児休業制度を利用して仕事を継続した」が4割強で、それぞれ最も高い。これに次いで、《女性》では「出産・育児を機に離職した」が3割強となっている。



②おつとめの継続状況【末子が生まれた時】

末子が生まれた時のおつとめの継続状況について、「育児休業制度を利用せずに仕事を継続した」が35.0%で最も高く、次いで「育児休業制度を利用して仕事を継続した」が31.2%、「(ご自身、または配偶者・パートナーの)妊娠がわかったときから無職だった」が22.3%となった。

性別で見ると、《男性》では「育児休業制度を利用せずに仕事を継続した」が8割半ば、《女性》では「育児休業制度を利用して仕事を継続した」が4割強で、それぞれ最も高い。これに次いで、《女性》では「(ご自身、または配偶者・パートナーの)妊娠がわかったときから無職だった」が3割強となっている。



問28 問27の②で1から3のいずれかに○をつけた方におたずねします。長子と末子を妊娠してから生まれるまでのあなたの①おつとめの状況、②職種、③おつとめ先の従業員数について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

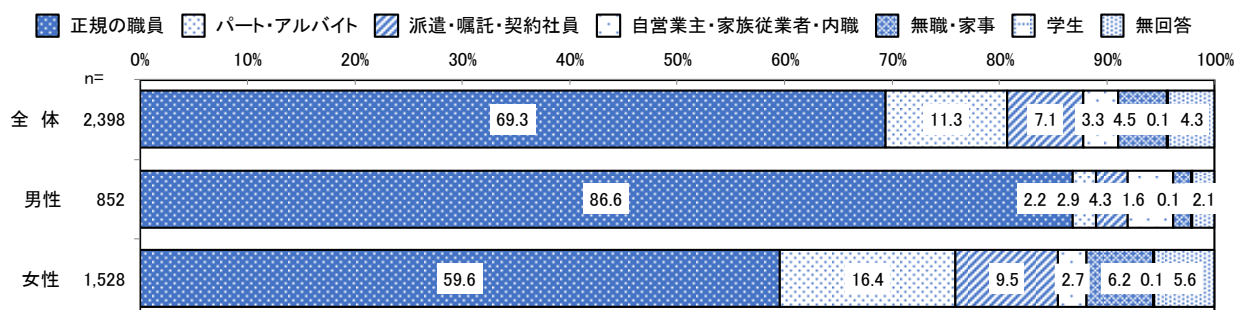
※ 出産・育児を機に離職した方（問27の②で3に○を付けた方）は離職する前のおつとめの状況についてお答えください。

※ 男性は、配偶者・パートナーが妊娠してからお子さんが生まれるまでの状況をお答えください。

①おつとめの状況【長子を妊娠してから生まれるまで】

長子を妊娠してから生まれるまでのおつとめの状況について、「正規の職員」が69.3%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が11.3%、「派遣・嘱託・契約社員」が7.1%となった。

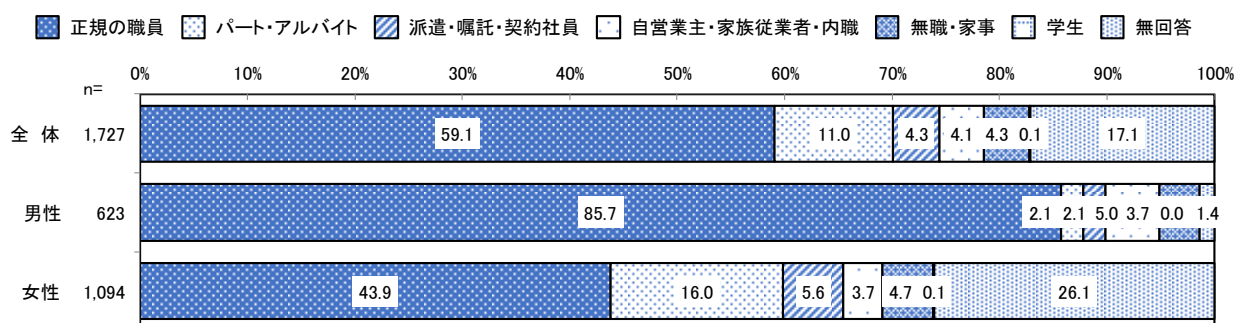
性別で見ると、男女ともに「正規の職員」が最も高く、《男性》では8割半ばとなっている。《女性》では「正規の職員」は6割弱にとどまり、「パート・アルバイト」が1割半ばとなっている。



①おつとめの状況【末子を妊娠してから生まれるまで】

末子を妊娠してから生まれるまでのおつとめの状況について、「正規の職員」が59.1%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が11.0%、「派遣・嘱託・契約社員」が4.3%となった。

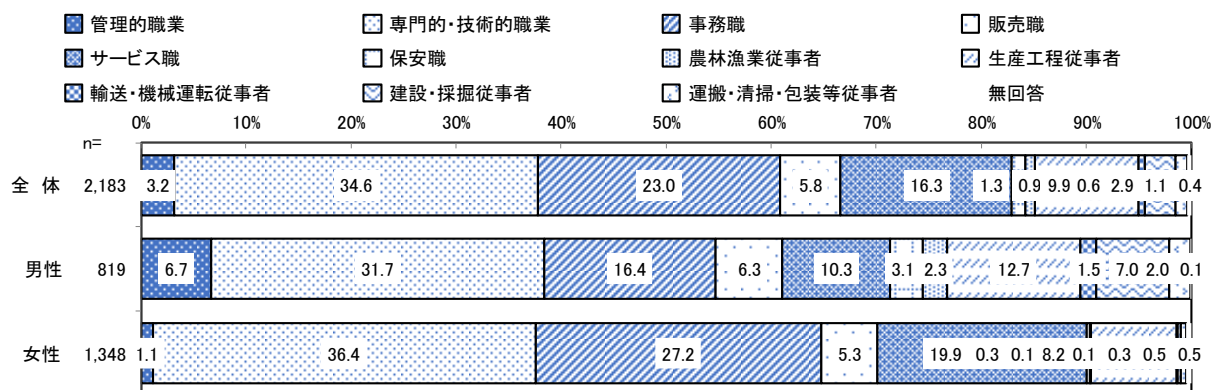
性別で見ると、男女ともに「正規の職員」が最も高く、《男性》では8割半ばとなっている。《女性》では「正規の職員」は4割強にとどまり、「パート・アルバイト」が1割半ばとなっている。



②職種【長子を妊娠してから生まれるまで】

長子を妊娠してから生まれるまでの職種について、「専門的・技術的職業」が34.6%で最も高く、次いで「事務職」が23.0%、「サービス職」が16.3%となった。

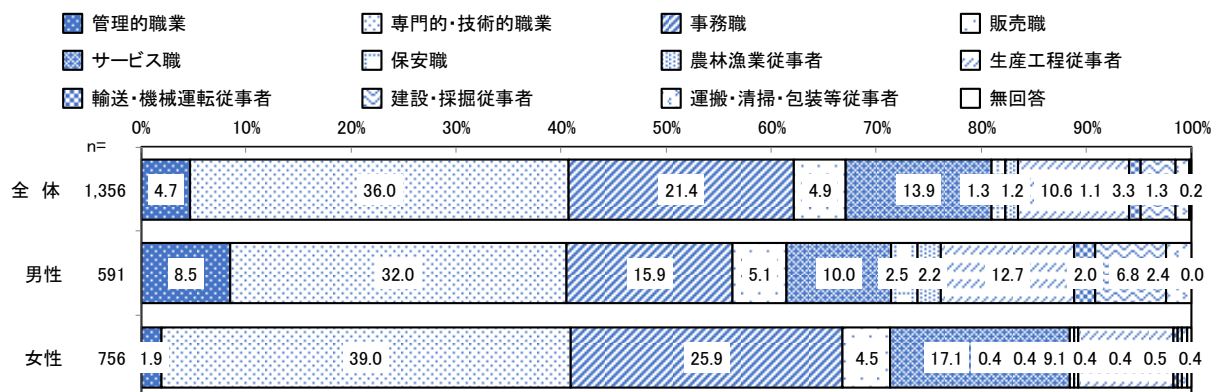
性別で見ると、男女ともに「専門的・技術的職業」が3割台で最も高く、これに次いで、《男性》では「事務職」「生産工程従事者」がともに1割台となっている。《女性》では「事務職」が3割近く、「サービス職」がほぼ2割となっている。



②職種【末子を妊娠してから生まれるまで】

末子を妊娠してから生まれるまでの職種について、「専門的・技術的職業」が36.0%で最も高く、次いで「事務職」が21.4%、「サービス職」が13.9%となった。

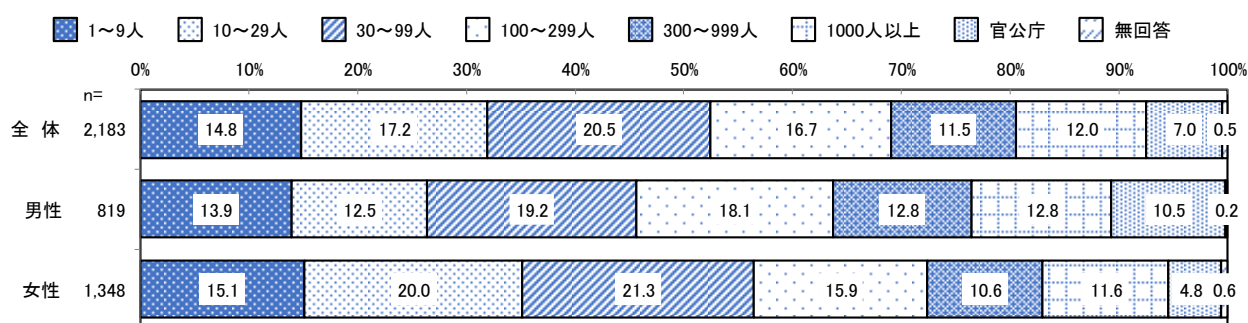
性別で見ると、男女ともに「専門的・技術的職業」が3割台で最も高く、これに次いで、《男性》では「事務職」「生産工程従事者」がともに1割台となっている。《女性》では「事務職」が2割半ば、「サービス職」が2割近くとなっている。



③おつとめ先の従業員数【長子を妊娠してから生まれるまで】

長子を妊娠してから生まれるまでのおつとめ先の従業員数について、「30～99人」が20.5%で最も高く、次いで「10～29人」が17.2%、「100～299人」が16.7%となった。

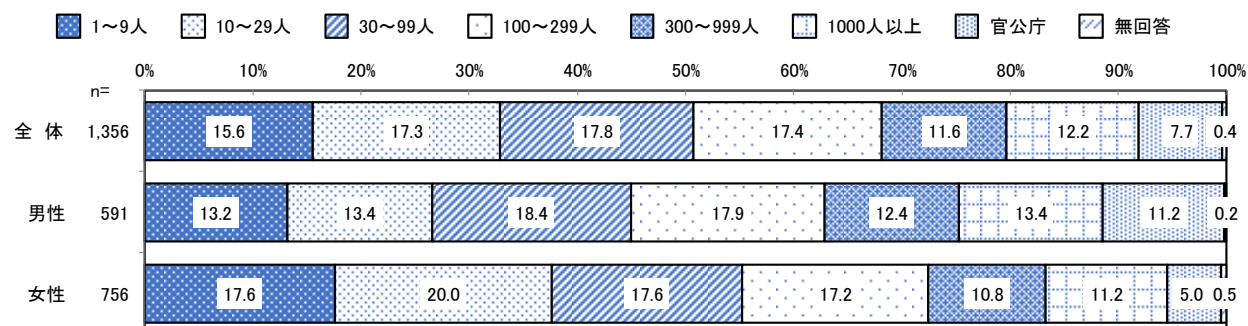
性別で見ると、「1～9人」「10～29人」「30～99人」はいずれも《女性》が《男性》に比べやや高く、「100～299人」「300～999人」「1000人以上」はいずれも《男性》が《女性》よりもやや高くなっている。



③おつとめ先の従業員数【末子を妊娠してから生まれるまで】

末子を妊娠してから生まれるまでのおつとめ先の従業員数について、「30～99人」が17.8%で最も高く、次いで「100～299人」が17.4%、「10～29人」が17.3%となった。

性別で見ると、「1～9人」「10～29人」「30～99人」はいずれも《女性》が《男性》に比べやや高く、「100～299人」「300～999人」「1000人以上」はいずれも《男性》が《女性》よりもやや高くなっている。

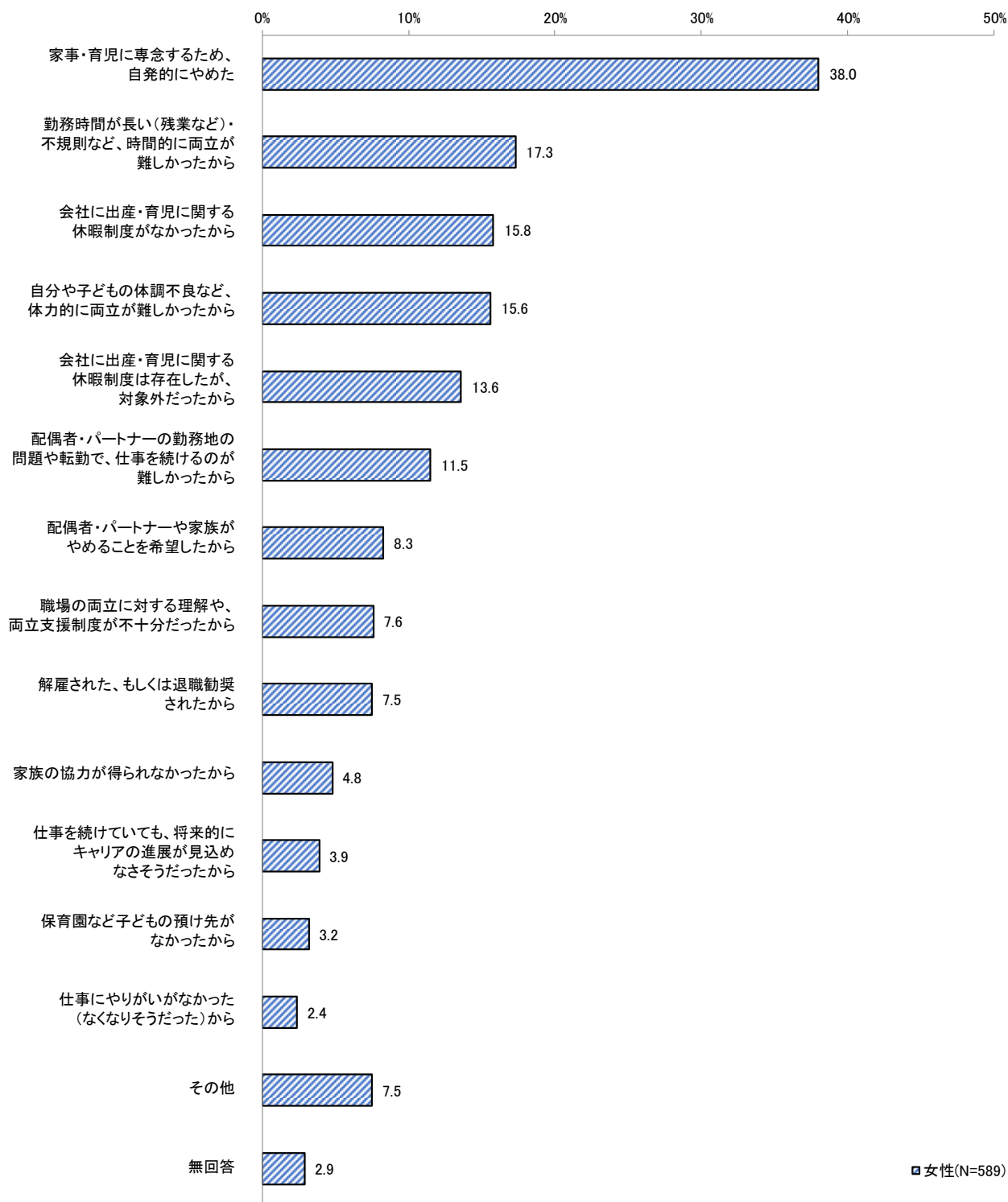


問 29 問 27 の②で「3. 出産・育児を機に離職した」に○をつけた方におたずねします。離職した理由は何ですか。長子・末子のそれぞれについて、次の中から、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

出産・育児を機に離職した理由【長子が生まれたとき】

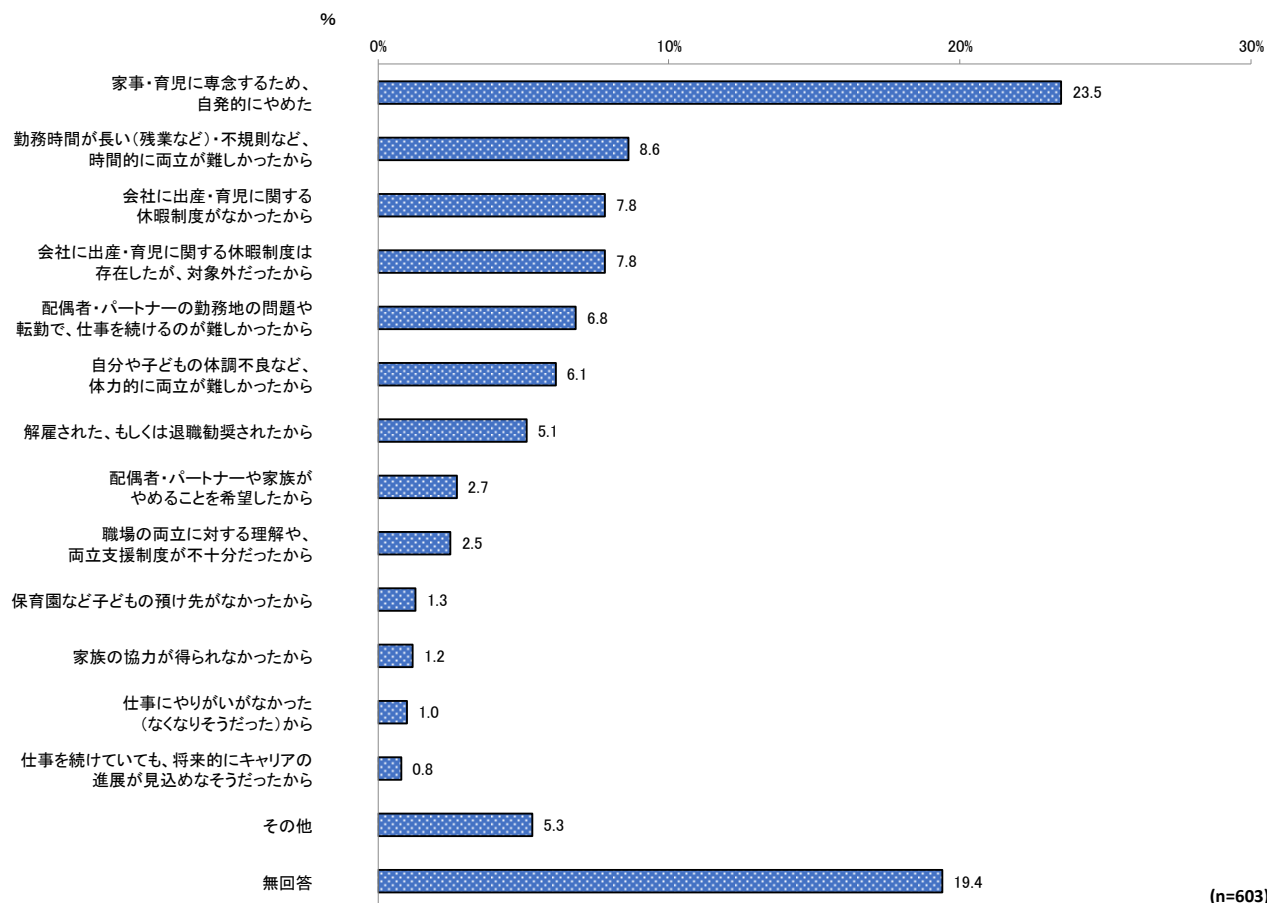
長子が生まれたとき、出産・育児を機に離職した理由（女性）について、「家事・育児に専念するため、自発的にやめた」が 38.0%で最も高く、次いで「勤務時間が長い（残業など）・不規則など、時間的に両立が難しかったから」が 17.3%、「会社に出産・育児に関する休暇制度がなかったから」が 15.8%、「自分や子どもの体調不良など、体力的に両立が難しかったから」が 15.6%となった。

※ 男性は該当者数が少ないため省略する。



出産・育児を機に離職した最も重要な理由【長子が生まれたとき】

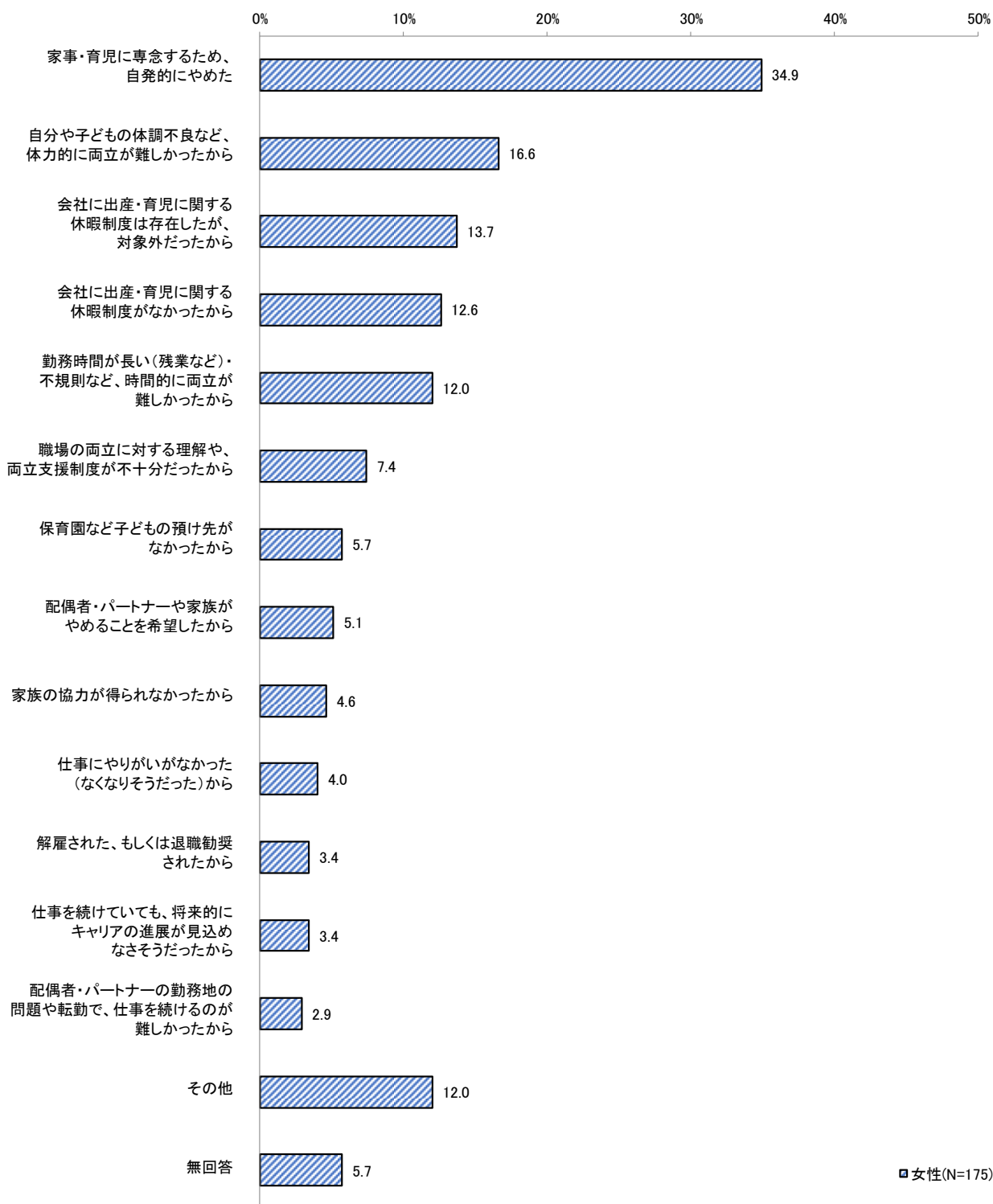
長子が生まれたとき、出産・育児を機に離職した最も重要な理由について、「家事・育児に専念するため、自発的にやめた」が23.5%で最も高く、次いで「勤務時間が長い（残業など）・不規則など、時間的に両立が難しかったから」が8.6%、「会社に出産・育児に関する休暇制度がなかったから」及び「会社に出産・育児に関する休暇制度は存在したが、対象外だったから」が7.8%となった。



出産・育児を機に離職した理由【末子が生まれたとき】

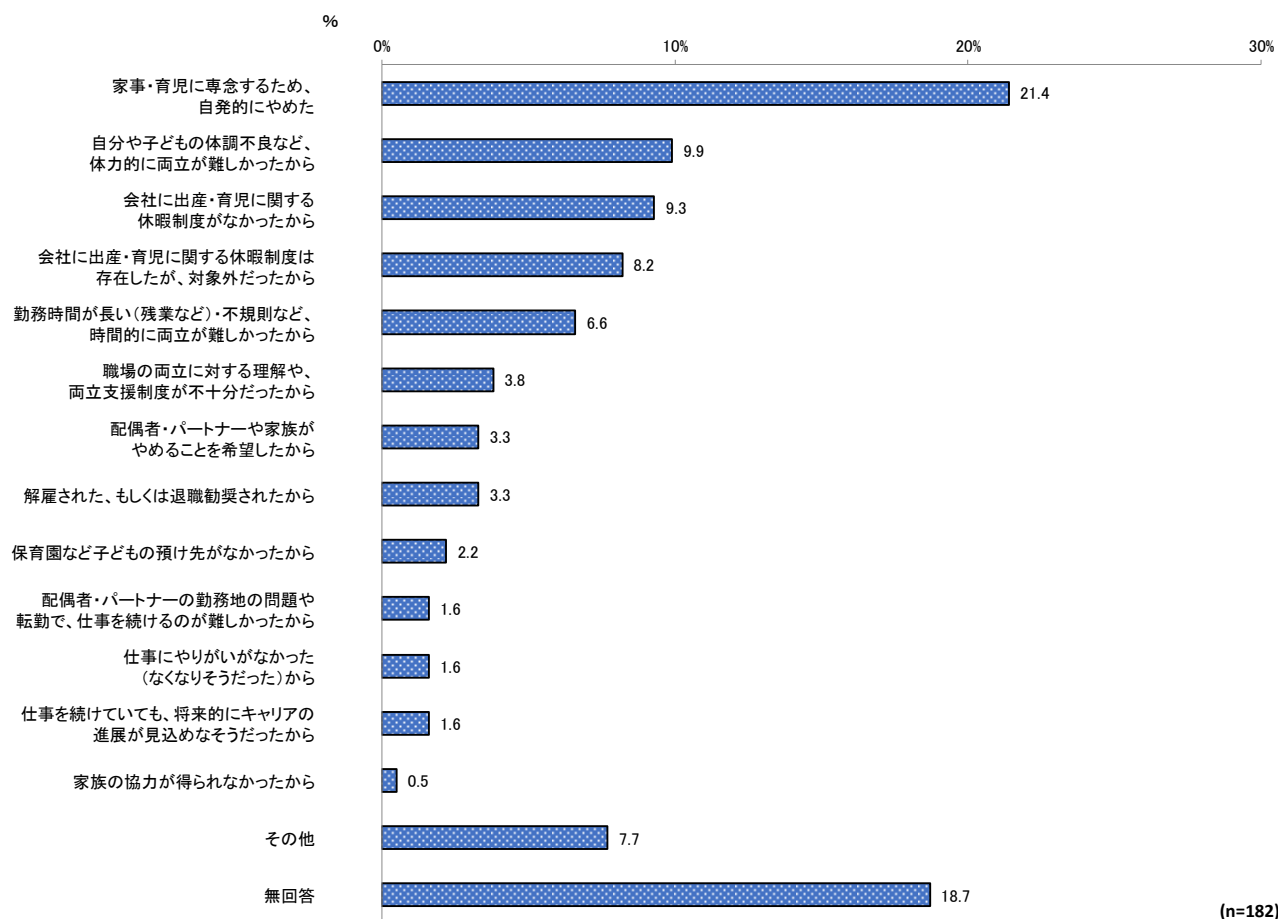
末子が生まれたとき、出産・育児を機に離職した理由（女性）について、「家事・育児に専念するため、自発的にやめた」が34.9%で最も高く、次いで「自分や子どもの体調不良など、体力的に両立が難しかったから」が16.6%、「会社に出産・育児に関する休暇制度は存在したが、対象外だったから」が13.7%となった。

※ 男性は該当者数が少ないため省略する。



出産・育児を機に離職した最も重要な理由【末子が生まれたとき】

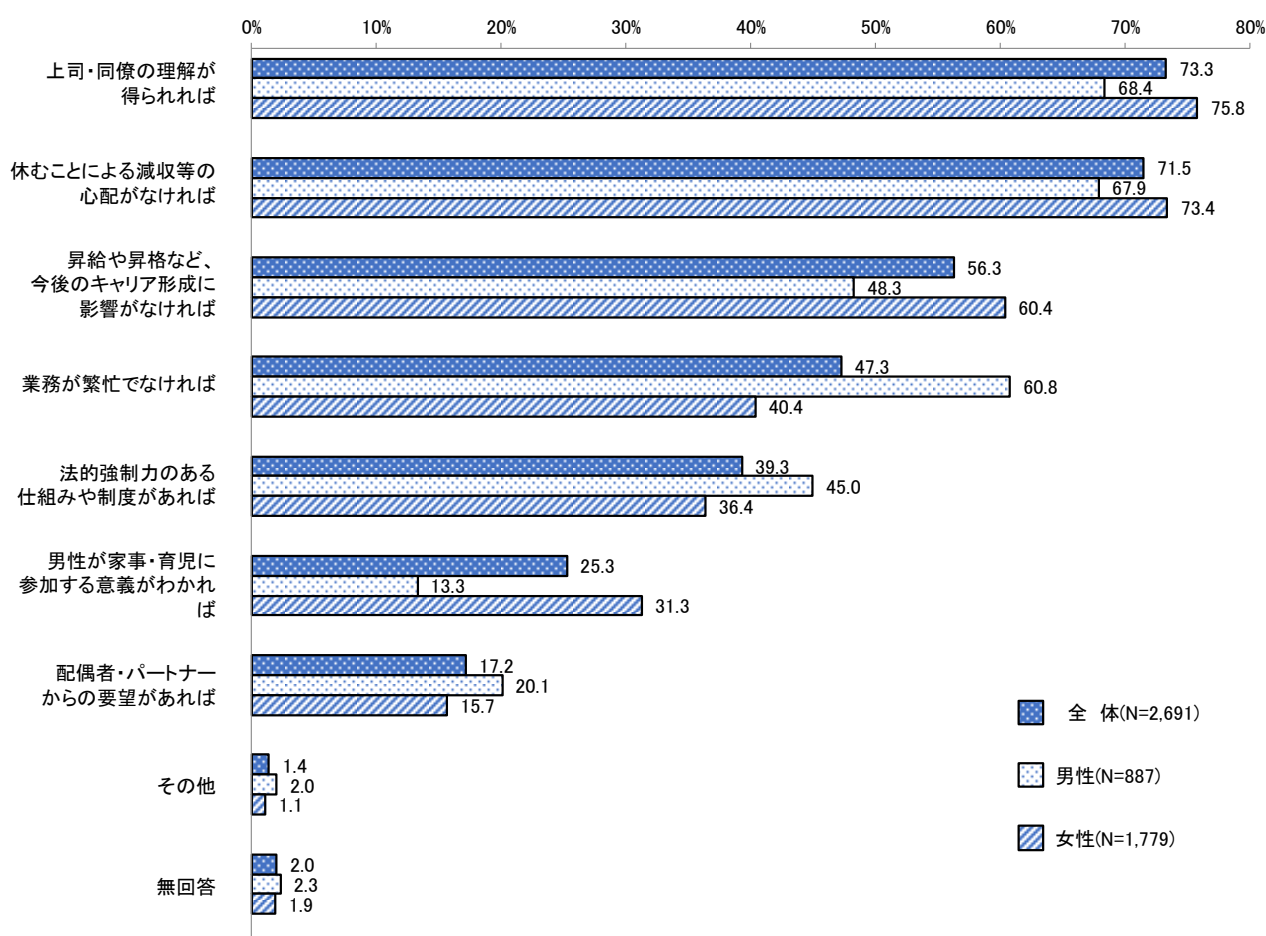
末子が生まれたとき、出産・育児を機に離職した最も重要な理由について、「家事・育児に専念するため、自発的にやめた」が21.4%で最も高く、次いで「自分や子どもの体調不良など、体力的に両立が難しかったから」が9.9%、「会社に出産・育児に関する休暇制度がなかったから」が9.3%となった。



問 30 男性が育児休業制度など、出産・育児に関する休暇をどうすれば取りやすくなると思いますか。
あなたの考えにあてはまる番号すべてに○をつけてください。

どうすれば男性が出産・育児に関する休暇を取りやすくなると思うかについて、「上司・同僚の理解が得られれば」が73.3%で最も高く、次いで「休むことによる減収等の心配がなければ」が71.5%、「昇給や昇格など、今後のキャリア形成に影響がなければ」が56.3%となった。

性別で見ると、《男性》《女性》ともに「上司・同僚の理解が得られれば」が最も高く、次いで「休むことによる減収等の心配がなければ」が、いずれも6割以上となっている。さらに《女性》では「昇給や昇格など、今後のキャリア形成に影響がなければ」が約6割、《男性》では「業務が繁忙でなければ」が6割強で続いている。

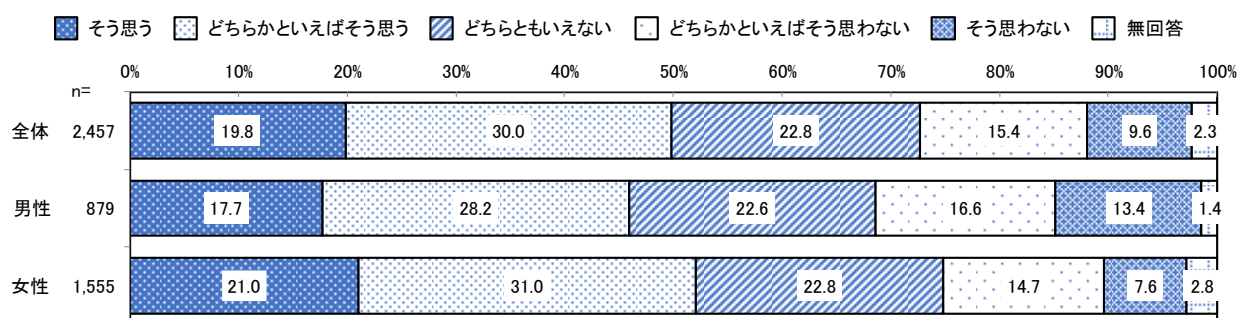


問 31 現在、お仕事をされている方におたずねします。この1年間を振り返って、あなたご自分の仕事と家庭生活のバランスについてどう感じていますか。次の①から③の項目のそれぞれについて、あなたのお気持ちにあてはまる番号1つに○をつけてください。

①仕事で疲れ切ってしまって、しなければならない家事や育児ができなくなっていると感じる

「どちらかといえばそう思う」が30.0%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が22.8%、「そう思う」が19.8%となっている。

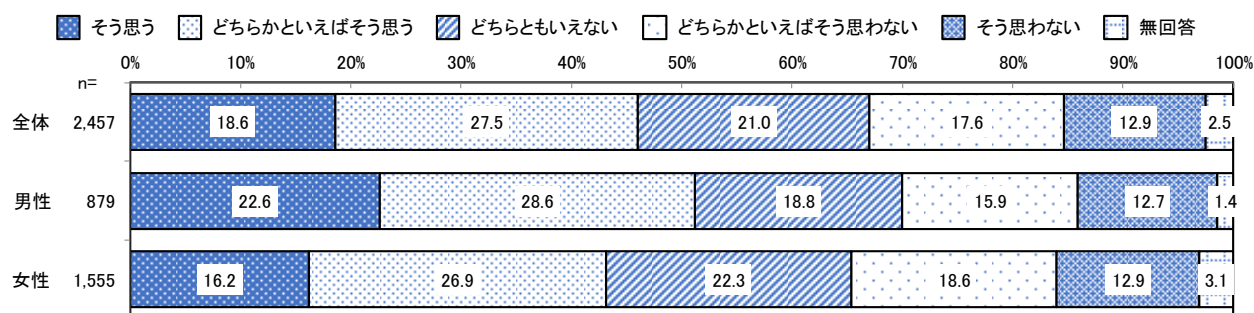
性別で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』(以下同じ)は、《男性》で4割半ば、《女性》で5割強となっている。



②仕事に充てる時間が長すぎるために、家事や育児を果たすことが難しくなっていると感じる

「どちらかといえばそう思う」が27.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が21.0%、「そう思う」が18.6%となっている。

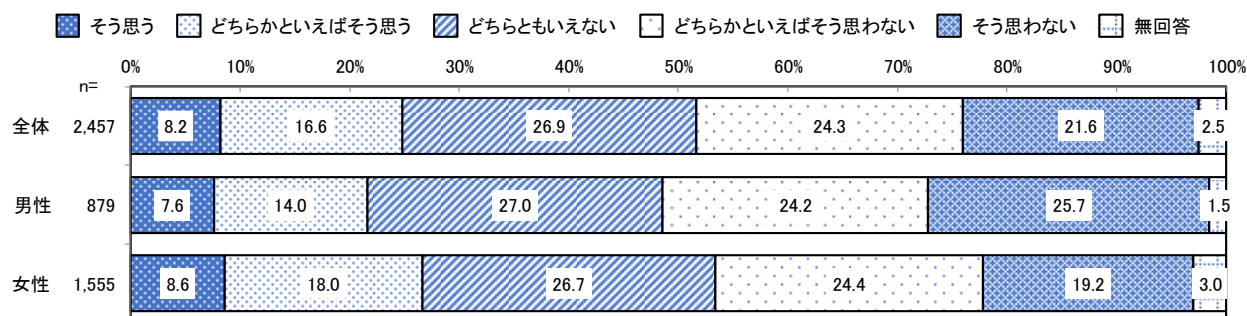
性別で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は、《男性》で5割強、《女性》で4割強となっている。



③家事や育児の負担があるために、仕事に集中することが難しくなっていると感じる

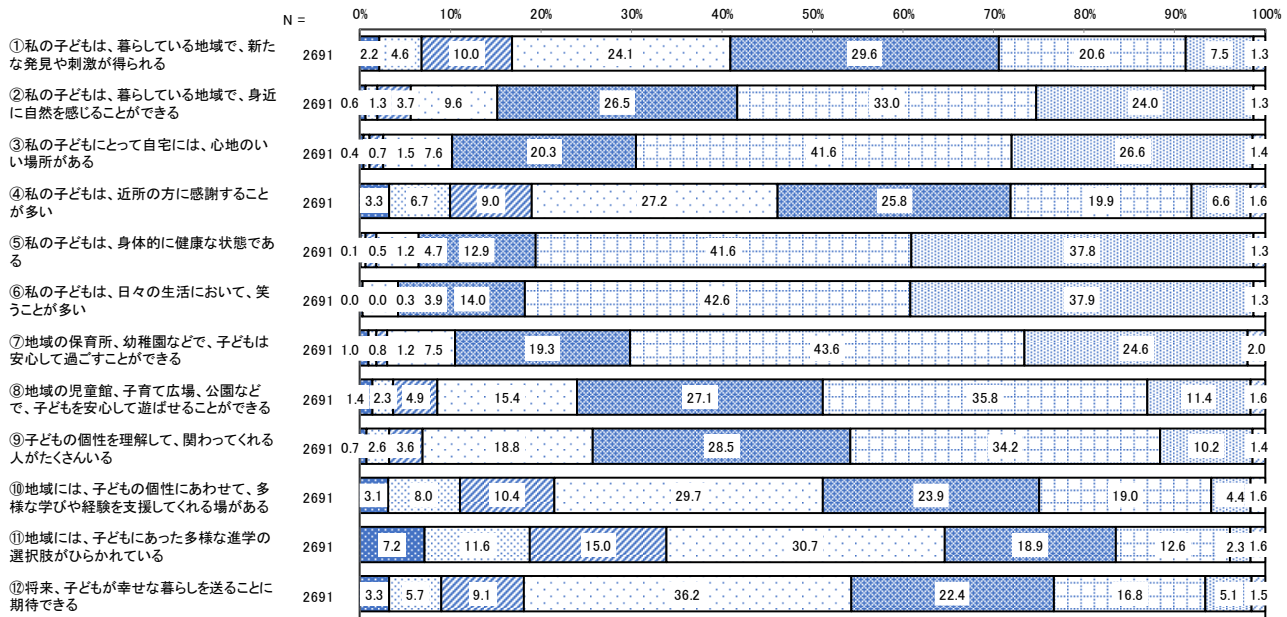
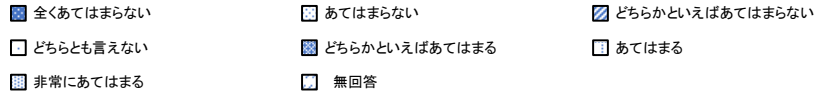
「どちらともいえない」が26.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が24.3%、「そう思わない」が21.6%となっている。

性別で見ると、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』は、《男性》ではほぼ5割、《女性》で4割強となっている。



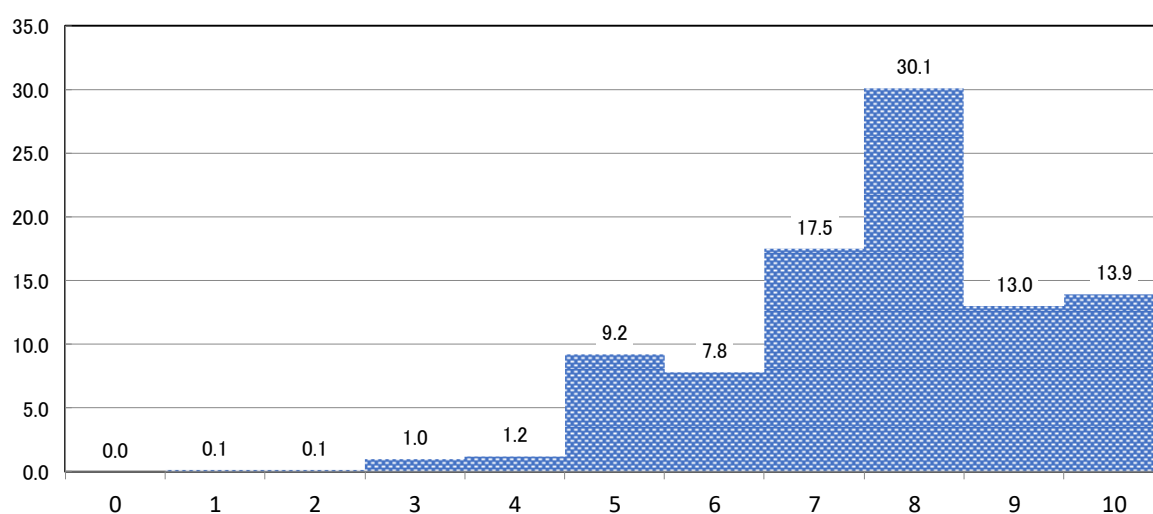
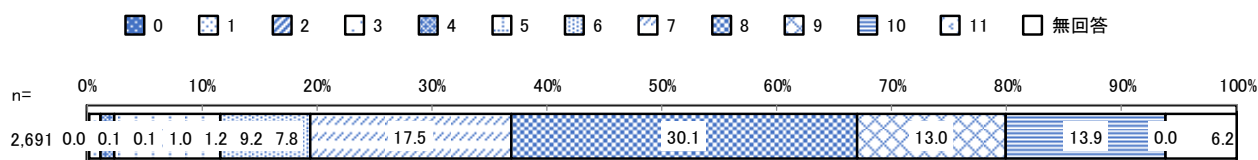
問32 あなた（親）から見た、あなたのお子さんやお子さんを取りまく環境について、次の①から⑫の項目はあなたにとって、それぞれの程度あてはまるか1つに○をつけてください。

- ①私の子どもは、暮らしている地域で、新たな発見や刺激が得られる
「どちらかといえばあてはまる」が29.6%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が24.1%、「あてはまる」が20.6%となっている。
- ②私の子どもは、暮らしている地域で、身近に自然を感じるができる
「あてはまる」が33.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が26.5%、「非常にあてはまる」が24.0%となっている。
- ③私の子どもにとって自宅には、心地のいい居場所がある
「あてはまる」が41.6%と最も高く、次いで「非常にあてはまる」が26.6%、「どちらかといえばあてはまる」が20.3%となっている。
- ④私の子どもは、近所の方に感謝することが多い
「どちらとも言えない」が27.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が25.8%、「あてはまる」が19.9%となっている。
- ⑤私の子どもは、身体的に健康な状態である
「あてはまる」が41.6%と最も高く、次いで「非常にあてはまる」が37.8%、「どちらかといえばあてはまる」が12.9%となっている。
- ⑥私の子どもは、日々の生活において、笑うことが多い
「あてはまる」が42.6%と最も高く、次いで「非常にあてはまる」が37.9%、「どちらかといえばあてはまる」が14.0%となっている。
- ⑦地域の保育所、幼稚園などで、子どもは安心して過ごすことができる
「あてはまる」が43.6%と最も高く、次いで「非常にあてはまる」が24.6%、「どちらかといえばあてはまる」が19.3%となっている。
- ⑧地域の児童館、子育て広場、公園などで、子どもを安心して遊ばせることができる
「あてはまる」が35.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が27.1%、「どちらとも言えない」が15.4%となっている。
- ⑨子どもの個性を理解して、関わってくれる人がたくさんいる
「あてはまる」が34.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が28.5%、「どちらとも言えない」が18.8%となっている。
- ⑩地域には、子どもの個性にあわせて、多様な学びや経験を支援してくれる場がある
「どちらとも言えない」が29.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が23.9%、「あてはまる」が19.0%となっている。
- ⑪地域には、子どもにあった多様な進学の実践例がひらかれている
「どちらとも言えない」が30.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が18.9%、「どちらかといえばあてはまらない」が15.0%となっている。
- ⑫将来、子どもが幸せな暮らしを送ることに期待できる
「どちらとも言えない」が36.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が22.4%、「あてはまる」が16.8%となっている。



問 33 あなたのお子さんはどれくらい幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると何点くらいになると思いますか。次の中からあてはまる数字1つに○をつけてください。

お子さんはどれくらい幸せだと思うかについて、「8」が30.1%で最も高く、次いで「7」が17.5%、「10」が13.9%となった。



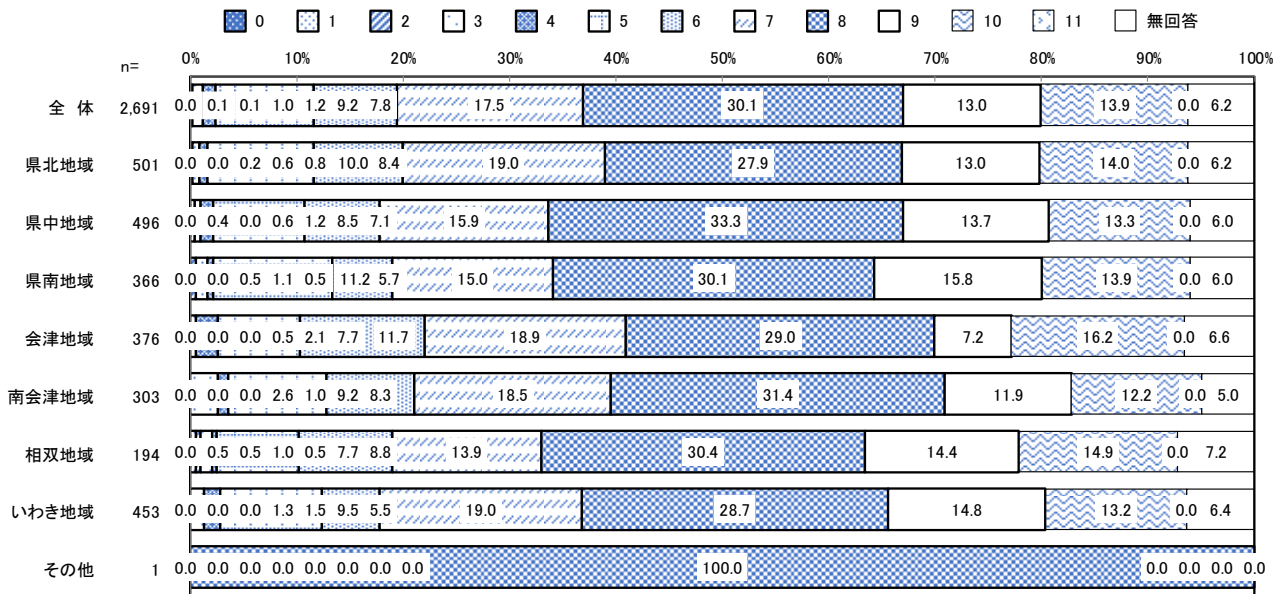
平均値・中央値 (0~10点)

お子さんはどれくらい幸せだと思うかについて、平均値は7.7点、中央値は8点となった。

平均値	7.7点
中央値	8点

※点数処理のため、11 (わからない) は無回答に分類している。

地域別にみると、すべての地域で「8」が最も高く、3割近くから3割強となっている。

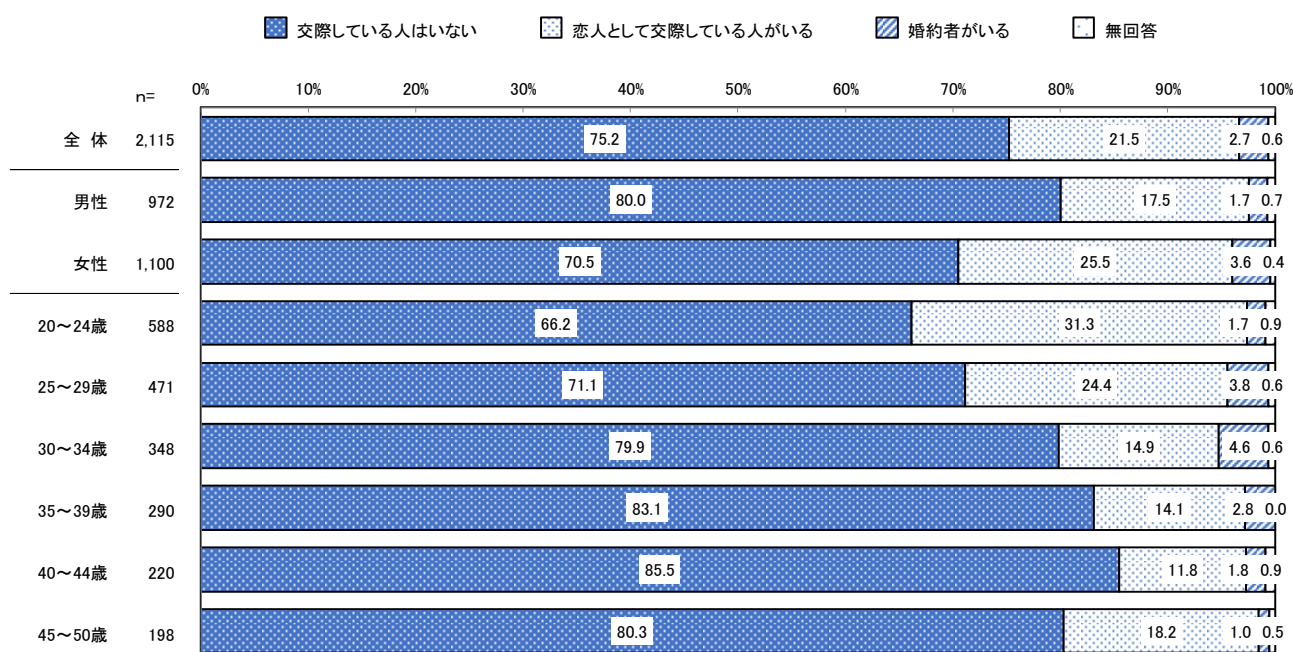


問 34 あなたは①交際している方（恋人として交際）がいますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、その回答の後の矢印にしたがって、②交際の希望、③交際相手との結婚希望について回答してください。

①異性との交際状況

交際している方（恋人として交際）がいるかについて、全体でみると「交際している人はいない」が75.2%で最も高く、次いで「恋人として交際している人がある」が21.5%、「婚約者がある」が2.7%となった。

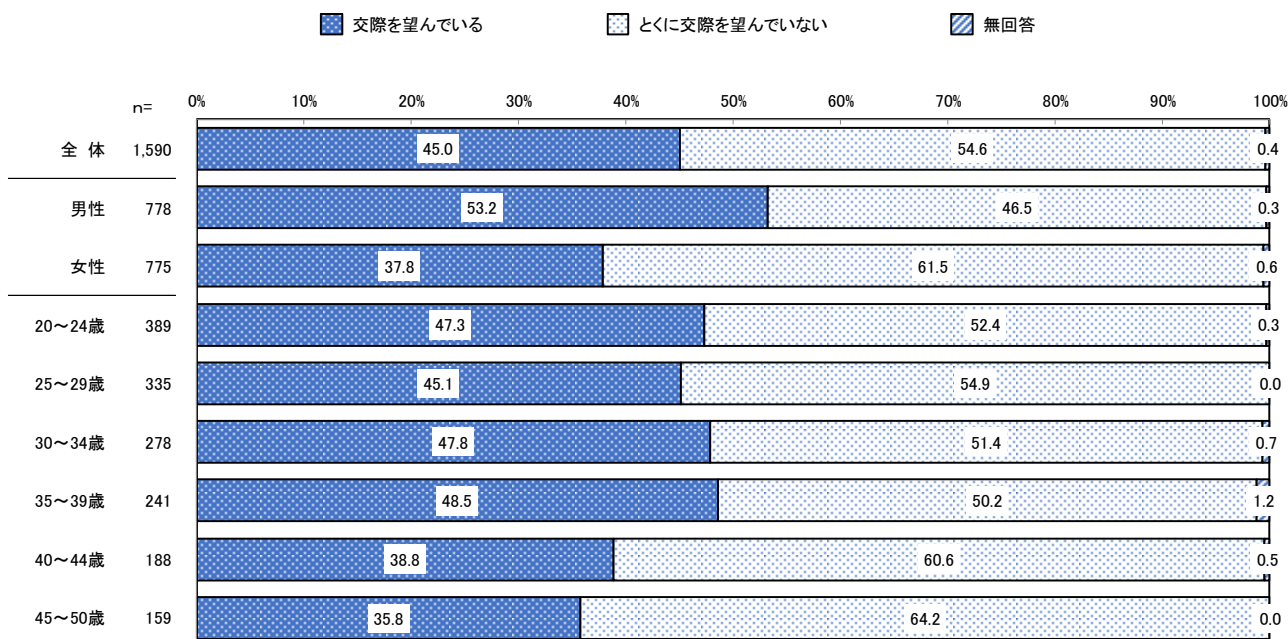
性別・年齢別にみると、すべての区分で「交際している人はいない」が最も高く、半数以上となっており、30歳代以上では約8割を超えている。



②交際の希望

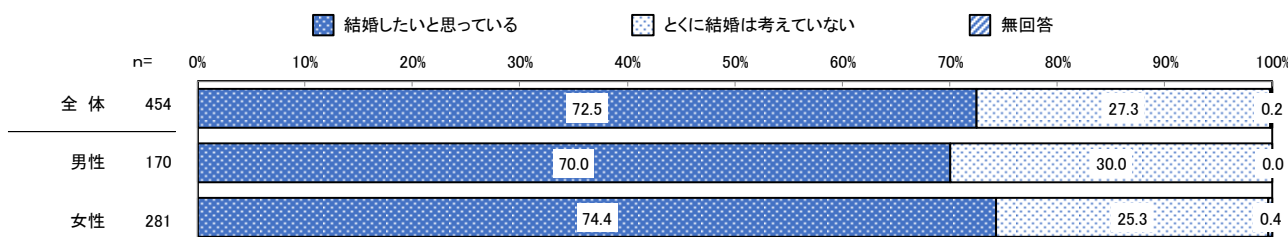
交際の希望について、全体でみると「とくに交際を望んでいない」が54.6%、「交際を望んでいる」が45.0%となった。

性別・年齢別にみると、《女性》よりも《男性》の方が「交際を望んでいる」が多く、《男性》は5割を超えている。年齢別では、20歳以上39歳以下の年代では「交際を望んでいる」と「とくに交際を望んでいない」とが概ね半々に分かれているが、40歳代以上では「とくに交際を望んでいない」が6割を超えている。



③交際相手との結婚希望

交際相手との結婚希望について、「結婚したいと思っている」が72.5%、「とくに結婚は考えていない」が27.3%となり、男女とも「結婚したいと思っている」が7割に達している。

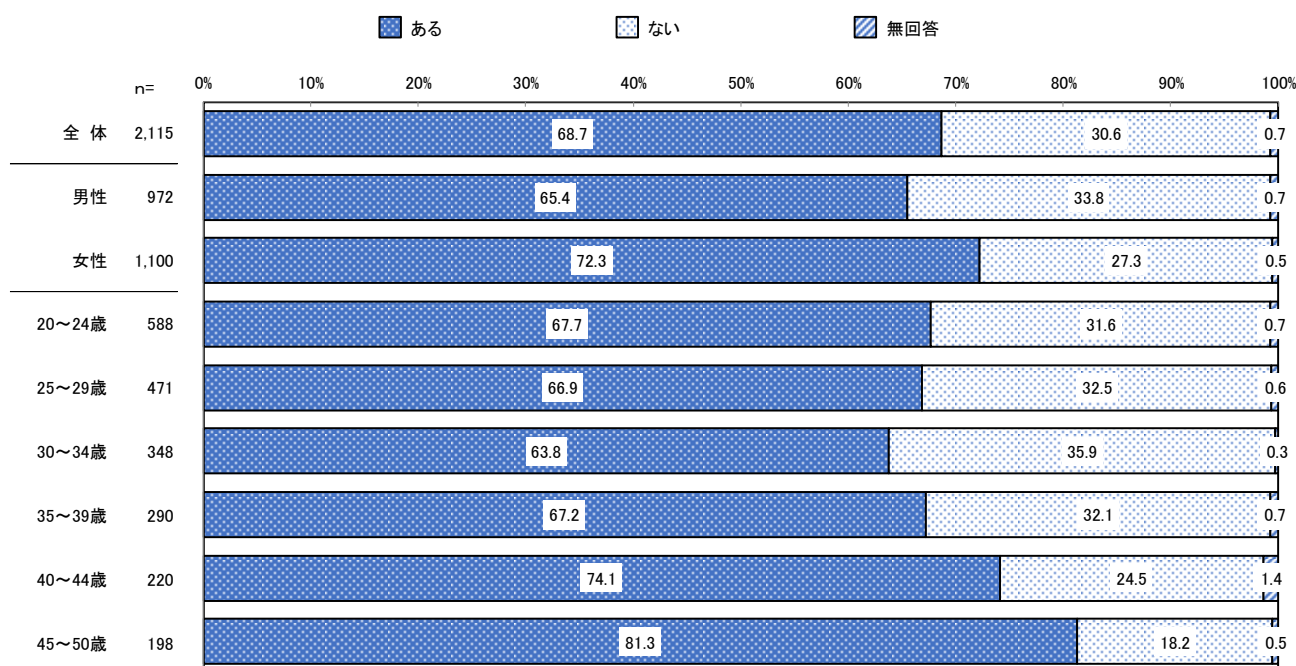


問 35 あなたのこれまでの交際経験（恋人として交際）についておたずねします。次の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

①恋人として交際した経験

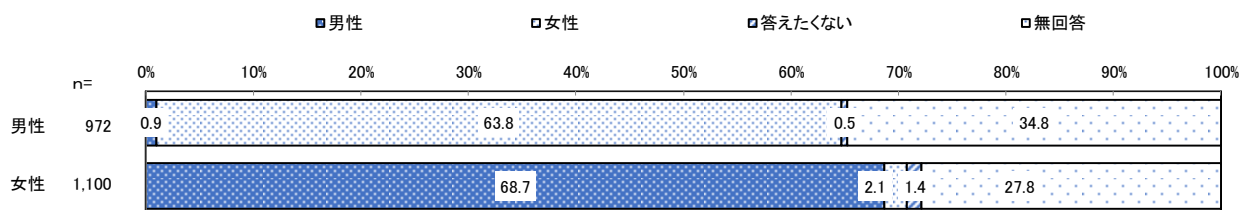
恋人として交際した経験について、「ある」が 68.7%、「ない」が 30.6%となった。

性別・年齢別にみると、「ある」が《男性》は 6 割、《女性》は 7 割を超えており、女性の割合が高くなっている。年齢別では、すべての年代で「はい」が 6 割を超えており、40 歳以上は 7 割を超えている。



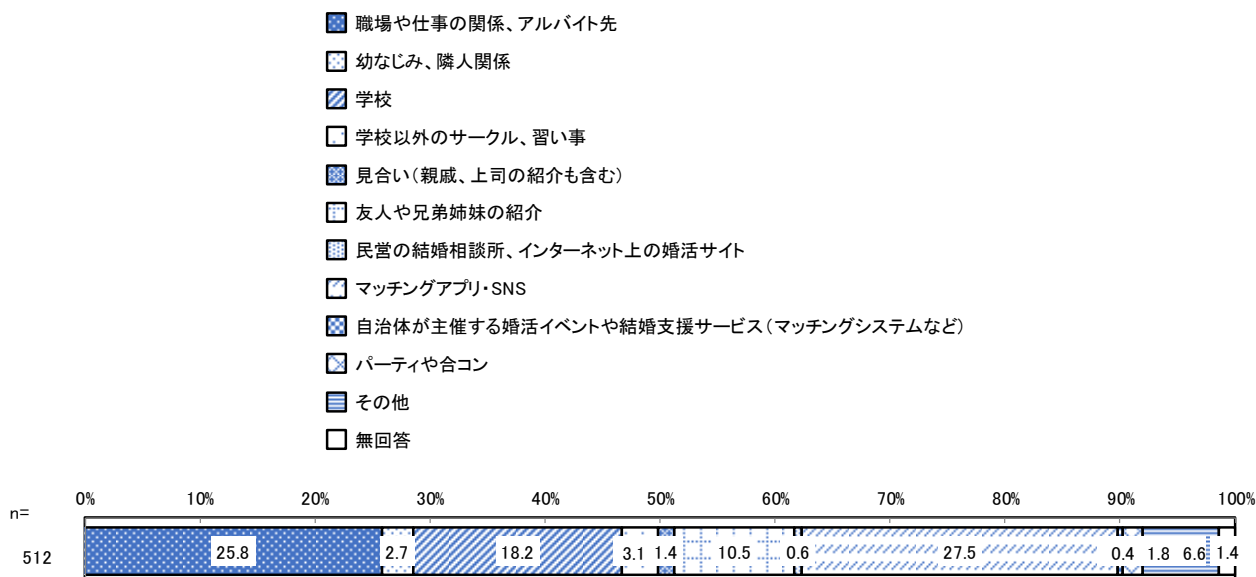
②交際相手の性別

交際相手の性別について、《男性》《女性》ともに異性相手の交際が 6 割を超えているが、「無回答」がともに 3 割程度あることに留意する必要がある。



問 36 問 34 の①で2または3に○をつけた方におたずねします。交際相手とはどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

交際相手と知り合ったきっかけについて、「マッチングアプリ・SNS」が27.5%で最も高く、次いで「職場や仕事の関係、アルバイト先」が25.8%、「学校」が18.2%となった。

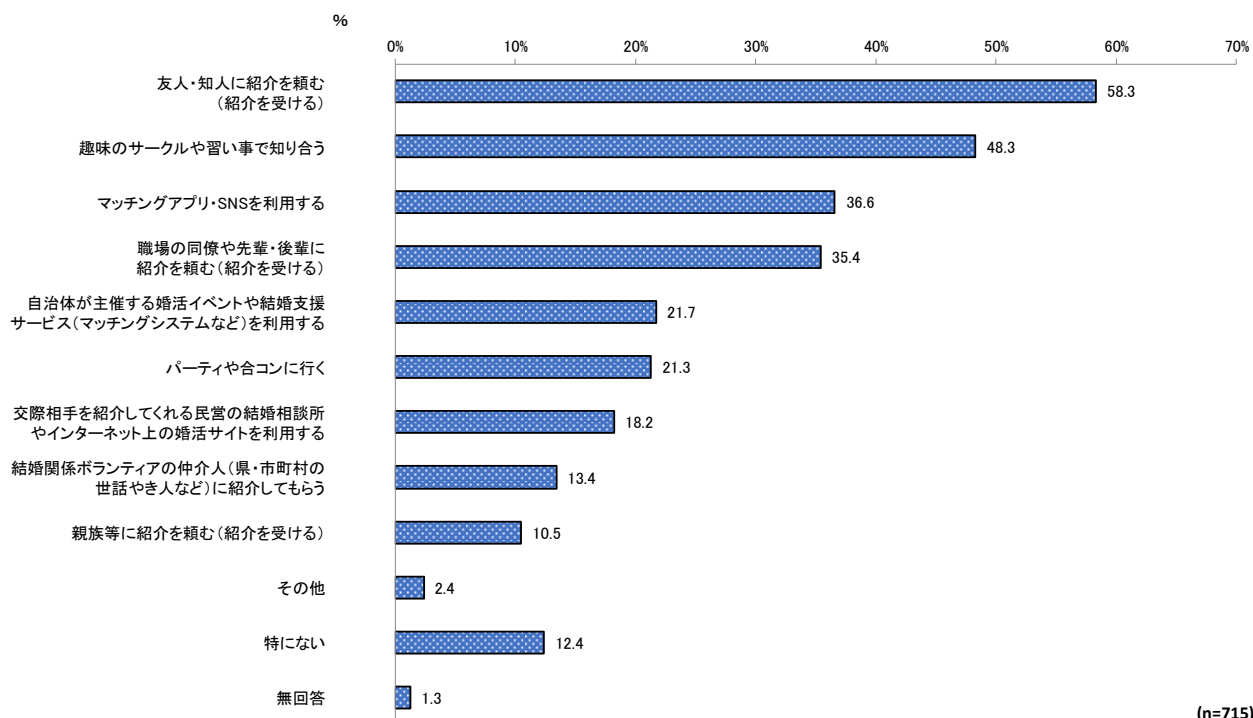


年齢別にみると、「20～24歳」では「学校」、「25～29歳」「30～34歳」では「マッチングアプリ・SNS」が3割台で最も高くなっている。「35～39歳」では「マッチングアプリ・SNS」「職場や仕事の関係、アルバイト先」が同率(32.7%)で最も高く、40歳代では「職場や仕事の関係、アルバイト先」が4割台で最も高くなっている。

単位: %	調査数 (件)	職場や仕事の関係、アルバイト先	幼なじみ、隣人関係	学校	学校以外のサークル、習い事	見合い(親戚、上司の紹介も含む)	友人や兄弟姉妹の紹介	民営の結婚相談所、インターネット上の婚活サイト	マッチングアプリ・SNS	自治体が主催する婚活イベントや結婚支援サービス(マッチングシステムなど)	パーティや合コン	その他	無回答
全体	512	25.8	2.7	18.2	3.1	1.4	10.5	0.6	27.5	0.4	1.8	6.6	1.4
20～24歳	194	17.0	3.1	37.6	1.0	0.0	7.7	0.0	24.2	0.0	1.5	5.7	2.1
25～29歳	133	29.3	3.0	9.8	4.5	3.0	11.3	0.8	33.8	0.0	0.8	3.0	0.8
30～34歳	68	23.5	0.0	8.8	0.0	4.4	16.2	1.5	33.8	0.0	1.5	10.3	0.0
35～39歳	49	32.7	2.0	2.0	8.2	0.0	10.2	0.0	32.7	2.0	2.0	8.2	0.0
40～44歳	30	40.0	6.7	0.0	6.7	0.0	13.3	3.3	23.3	3.3	0.0	3.3	0.0
45～50歳	38	42.1	2.6	0.0	5.3	0.0	10.5	0.0	7.9	0.0	7.9	18.4	5.3

問 37 問 34 の①で1に○をつけ、さらに②で「1. 交際を望んでいる」に○をつけた方におたずねします。交際相手との出会いを求めるとしたら、どのような機会があると良いですか。次の中からあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

交際相手との出会いを求めるとしたら、どのような機会があると良いかについて、「友人・知人に紹介を頼む（紹介を受ける）」が58.3%で最も高く、次いで「趣味のサークルや習い事で知り合う」が48.3%、「マッチングアプリ・SNSを利用する」が36.6%となった。



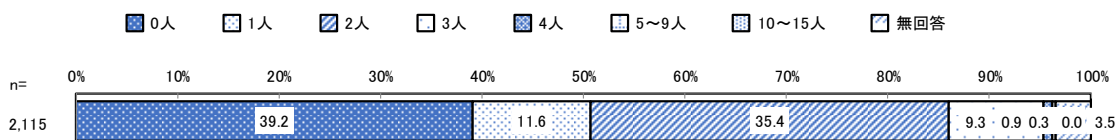
性別及び年齢別にみると、《45～50歳》では「趣味のサークルや習い事で知り合う」が5割以上で最も高く、44歳以下の年代では「友人・知人に紹介を頼む（紹介を受ける）」が5割から6割で最も高い。「マッチングアプリ・SNSを利用する」は《25～29歳》で5割弱あるが、年齢が上がるに従って低くなっている。また、「自治体が主催する婚活イベントや結婚支援サービス（マッチングシステムなど）を利用する」は《30～34歳》と《40～44歳》で3割を超えている。

単位:%	調査数 (件)	友人・知人に紹介を頼む (紹介を受ける)	職場の同僚や先輩・後輩に紹介を頼む (紹介を受ける)	親族等に紹介を頼む (紹介を受ける)	趣味のサークルや習い事で知り合う	交際相手を紹介してくれる民営の結婚相談所やインターネット上の婚活サイトを利用する	マッチングアプリ・SNSを利用する	結婚関係ボランティアの仲介人(県・市町村の世話やき人など)に紹介してもらう	自治体が主催する婚活イベントや結婚支援サービス(マッチングシステムなど)を利用する	パーティや合コンに行く	その他	特になし	無回答
全体	715	58.3	35.4	10.5	48.3	18.2	36.6	13.4	21.7	21.3	2.4	12.4	1.3
性別													
男性	414	52.9	33.6	11.6	47.1	20.5	39.6	17.1	23.9	21.3	2.2	14.0	2.2
女性	293	65.9	37.9	9.2	50.9	14.3	33.4	8.2	18.4	21.5	2.7	9.9	0.0
年齢別													
20～24歳	184	64.7	39.7	7.1	53.3	10.9	36.4	6.5	8.7	22.8	3.8	9.2	2.2
25～29歳	151	60.9	35.1	12.6	38.4	15.9	48.3	11.3	19.2	21.2	0.0	12.6	0.7
30～34歳	133	54.9	34.6	9.8	51.1	23.3	42.9	12.8	33.8	24.1	2.3	14.3	0.8
35～39歳	117	55.6	37.6	12.0	47.0	22.2	34.2	19.7	24.8	17.9	1.7	11.1	1.7
40～44歳	73	61.6	31.5	16.4	47.9	31.5	23.3	26.0	35.6	21.9	2.7	13.7	1.4
45～50歳	57	40.4	24.6	7.0	54.4	10.5	14.0	14.0	17.5	15.8	5.3	19.3	0.0

問 38 あなたは、①子どもは何人くらいほしいですか。その具体的な人数を記入してください（お子さんはいない方は0としてください）。また1人以上のお子さんを持ちたい方は、②最初の（次の）お子さんを持ちたい年齢を下線の欄に記入してください。

①希望する子どもの数

子どもは何人くらいほしいかについて、「0人」が39.2%で最も高く、次いで「2人」が35.4%、「1人」が11.6%となった。



①希望する子どもの数（平均値・中央値）

子どもは何人くらいほしいかについて、平均値は1.19人、中央値は1人となった。

平均値	1.19人
中央値	1人

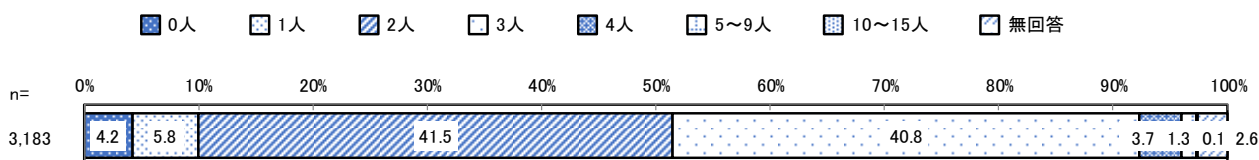
【参考：理想の子どもの数（既婚者+未婚者）】

問 15「あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか（既婚者対象）」と問 38「あなたは、①子どもは何人くらいほしいですか（未婚者対象）」合わせた理想の子どもの人数。

平均値	1.92人
中央値	2人

【再掲】

問 15 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。その具体的な人数を記入してください（お子さんはいない方は0としてください）。



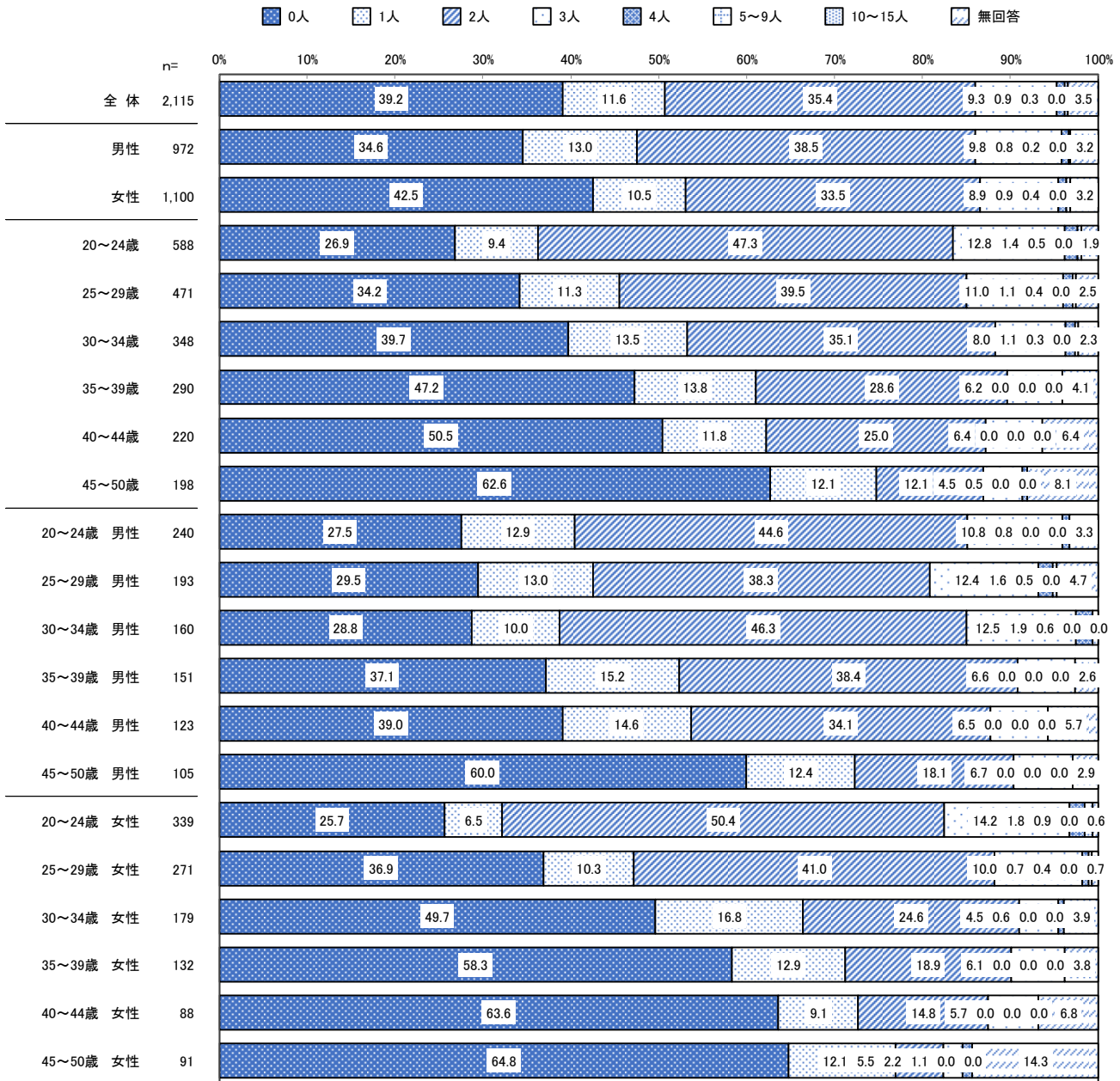
平均値・中央値

理想的な子どもの人数について、平均値は2.4人、中央値は2人となった。

平均値	2.40人
中央値	2人

未婚

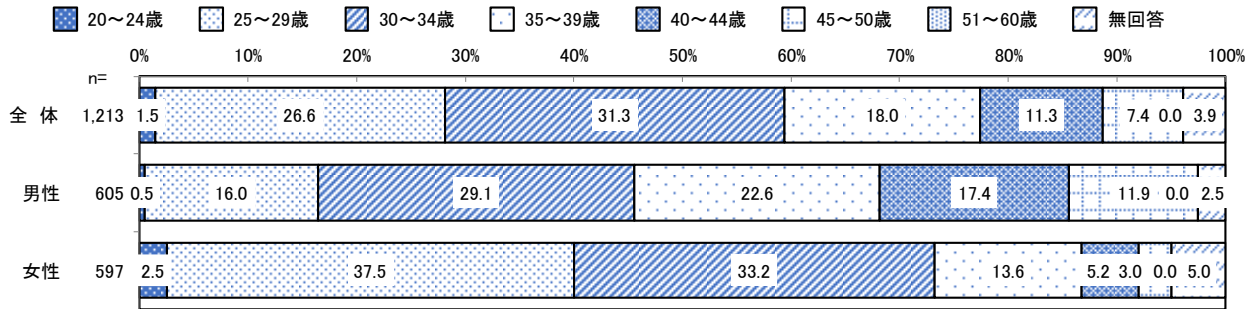
性年齢別にみると、20歳代男女と30歳代男性では、いずれも「2人」が4割弱から約5割で最も高くなっている。30歳代女性と40歳以上の男女では「0人」が4割弱から6割半ばで最も高くなっている。



②最初の（次の）お子さんを持ちたい年齢

最初の（次の）お子さんを持ちたい年齢について、「30～34歳」が31.3%で最も高く、次いで「25～29歳」が26.6%、「35～39歳」が18.0%となった。

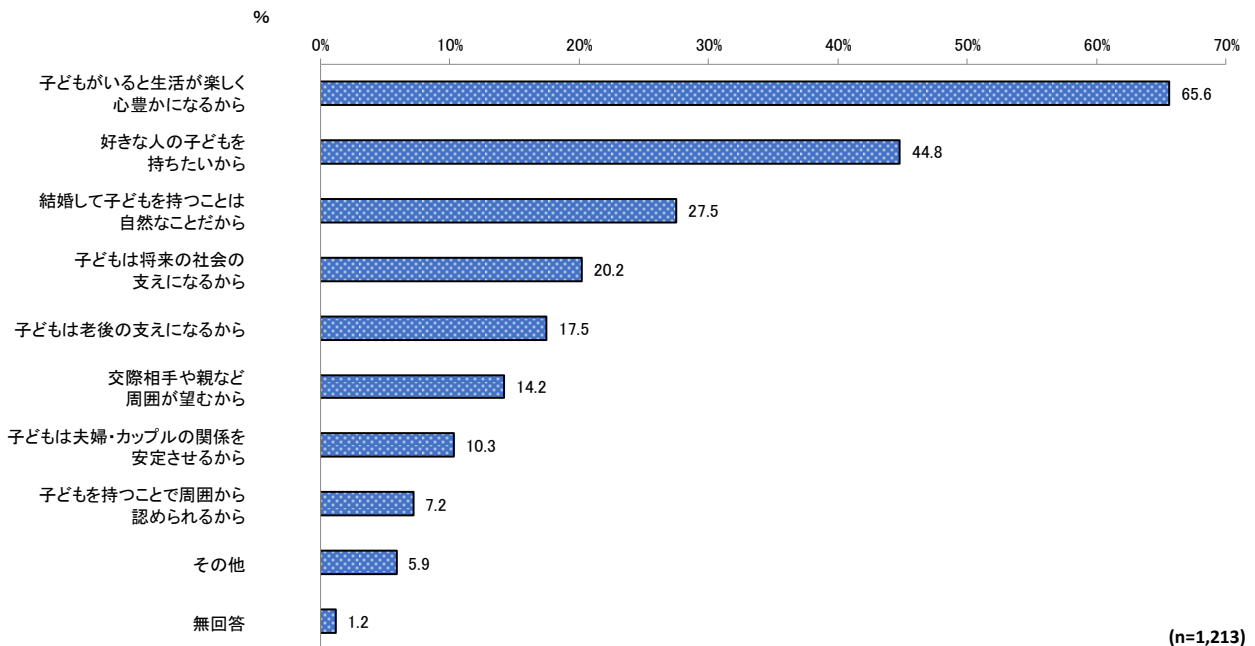
性別にみると、《男性》では「30～34歳」が3割弱で最も高く、次いで「35～39歳」が2割強となっている。《女性》では「25～29歳」が4割近くで最も高く、次いで「30～34歳」が3割強となっている。



問 39 希望する子どもの数が1人以上の方（問 38 の①で1人以上とお答えの方）におたずねします。子どもを1人以上ほしいとお考えになる理由は何ですか。次の中から、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

子どもを持ちたい理由

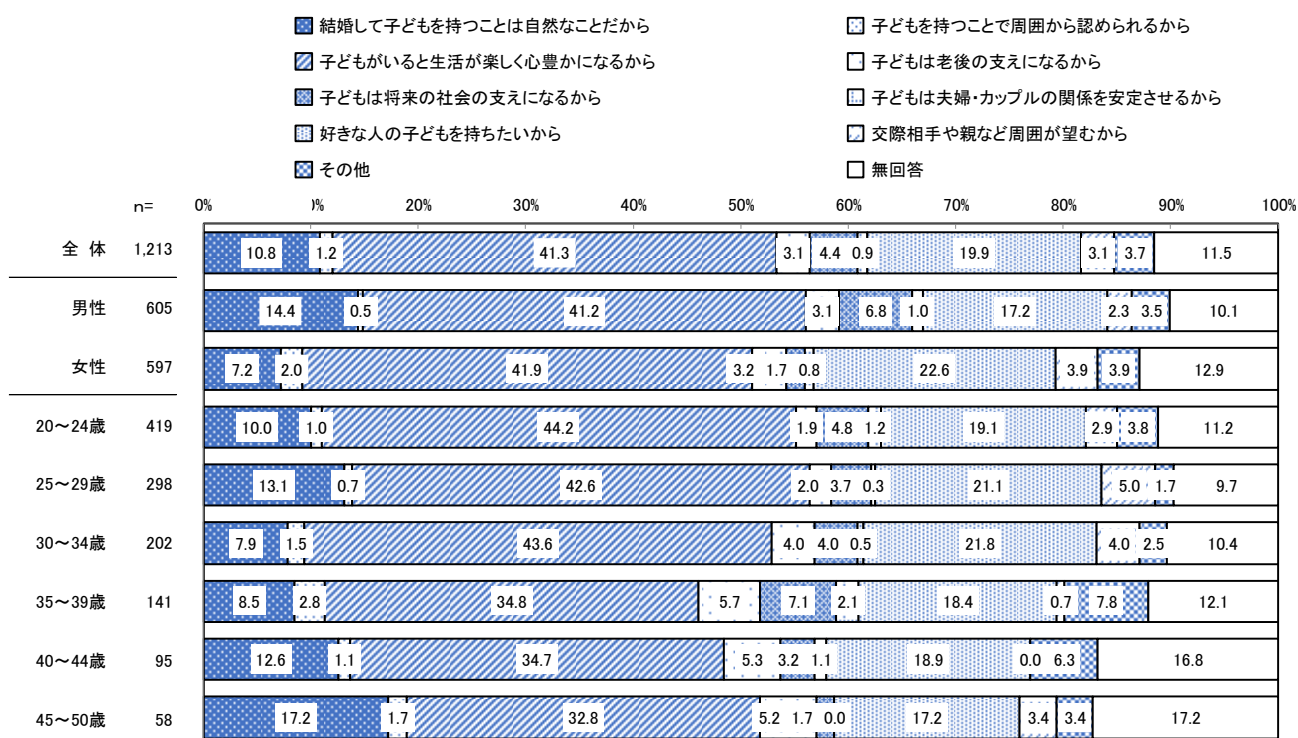
子どもを1人以上ほしいと考える理由について、「子どもがいると生活が楽しく心豊かになるから」が65.6%で最も高く、次いで「好きな人の子どもを持ちたいから」が44.8%、「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」が27.5%となった。



子どもを持ちたい最も重要な理由

子どもを1人以上ほしいと考える最も重要な理由について、「子どもがいると生活が楽しく心豊かになるから」が41.3%で最も高く、次いで「好きな人の子どもを持ちたいから」が19.9%、「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」が10.8%となった。

性別・年齢別にみると、《男性》《女性》ともに「子どもがいると生活が楽しく心豊かになるから」が4割強で最も高く、《男性》は《女性》よりも「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」が高く、《女性》は《男性》よりも「好きな人の子どもを持ちたいから」が高い。年齢別でみると、いずれも「子どもがいると生活が楽しく心豊かになるから」が最も高く、《40～45歳》では「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」と「好きな人の子どもを持ちたいから」が17.2で同率となっている。

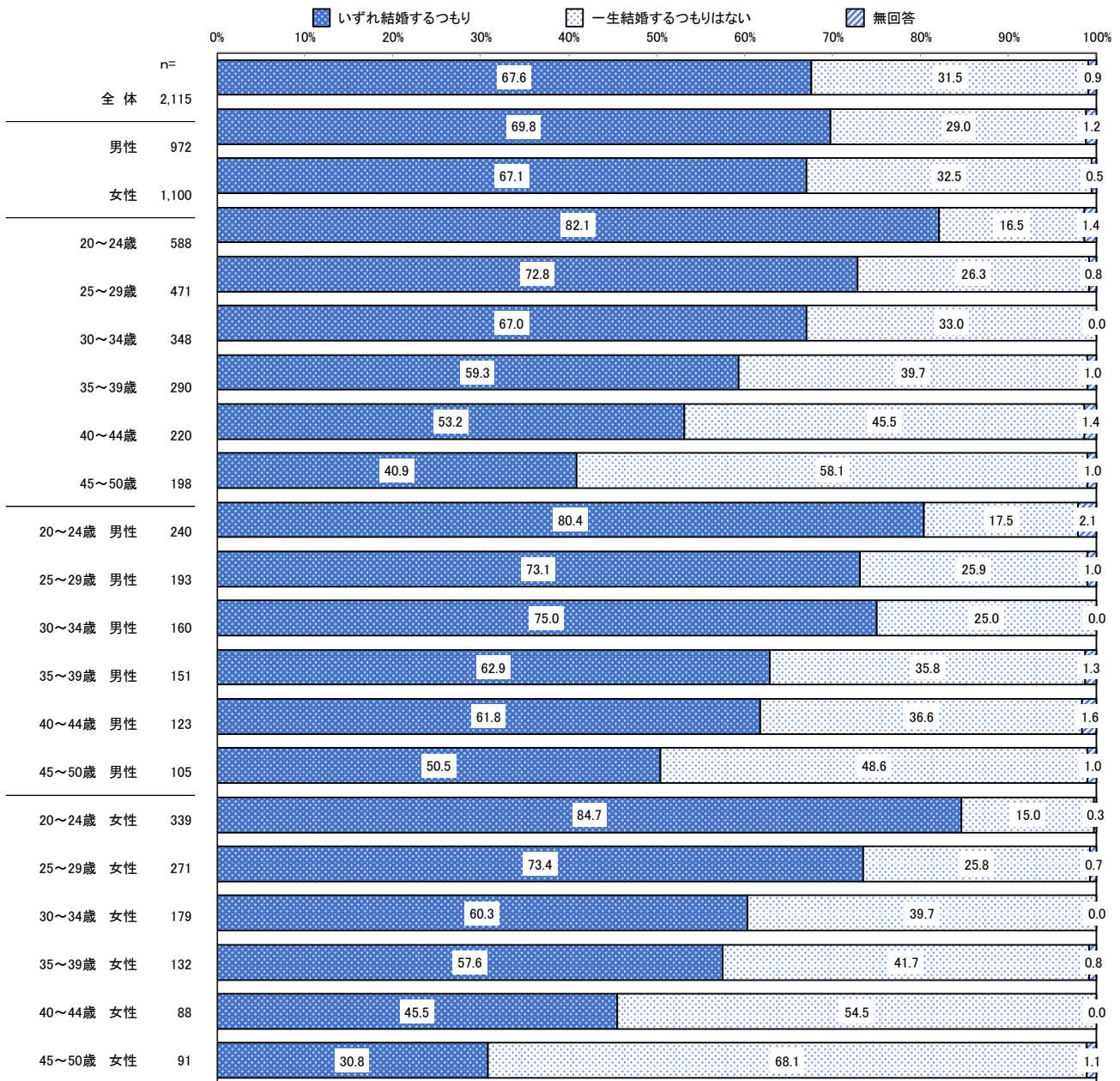


問 40 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは次のうちどちらですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

結婚に対する考え①

結婚に対する考えについて、「いずれ結婚するつもり」が67.6%、「一生結婚するつもりはない」が31.5%となった。

性年齢別にみると、男性ではすべての年代で「いずれ結婚するつもり」が半数を超えており、34歳以下まで7割を超えているが、女性では30歳以上で6割程度となり、40歳以上になると「一生結婚するつもりはない」が過半数となっている。

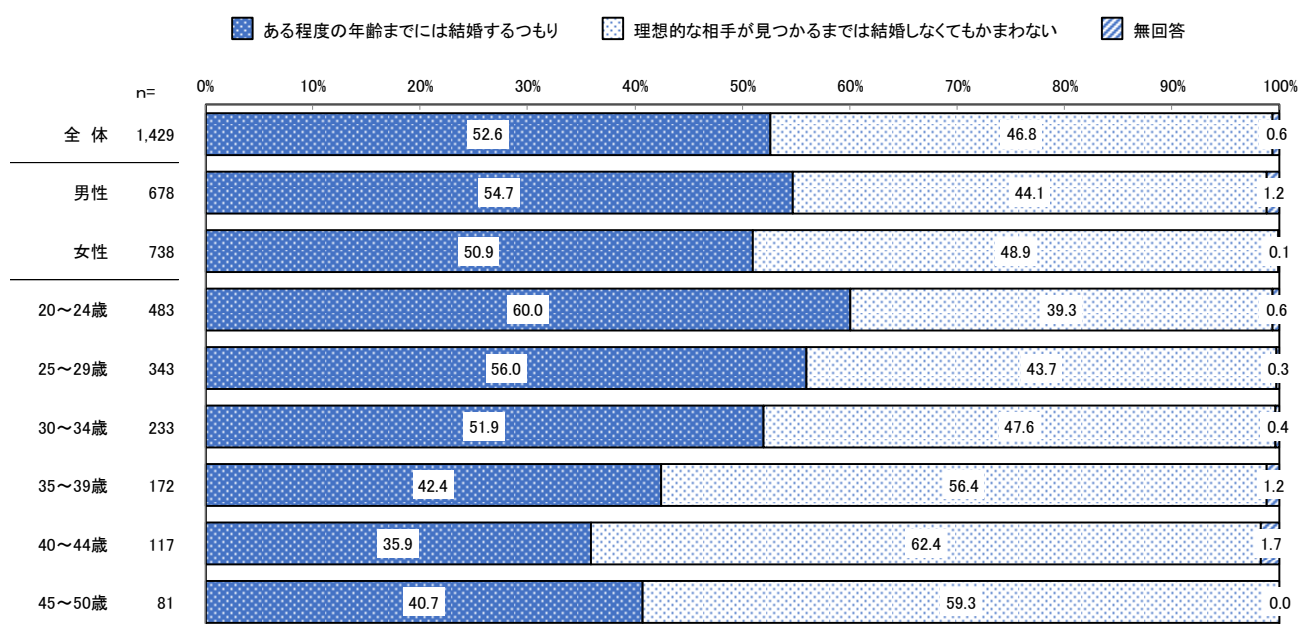


問 41 問 40 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方におたずねします。同じく自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

結婚に対する考え②

結婚に対する考えについて、「ある程度の年齢までには結婚するつもり」が 52.6%、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」が 46.8%となった。

性年齢別にみると、《女性》の方が「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」の割合が高い。また、年齢が上がるに従って「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」の割合が増えていく傾向にあり、35歳以上から過半数を超えている。



問 42 問 40 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方におたずねします。あなたは何歳くらいのときに結婚したいと思いますか。希望する年齢を下線の欄に記入してください。

結婚したいと思う年齢と実年齢の差

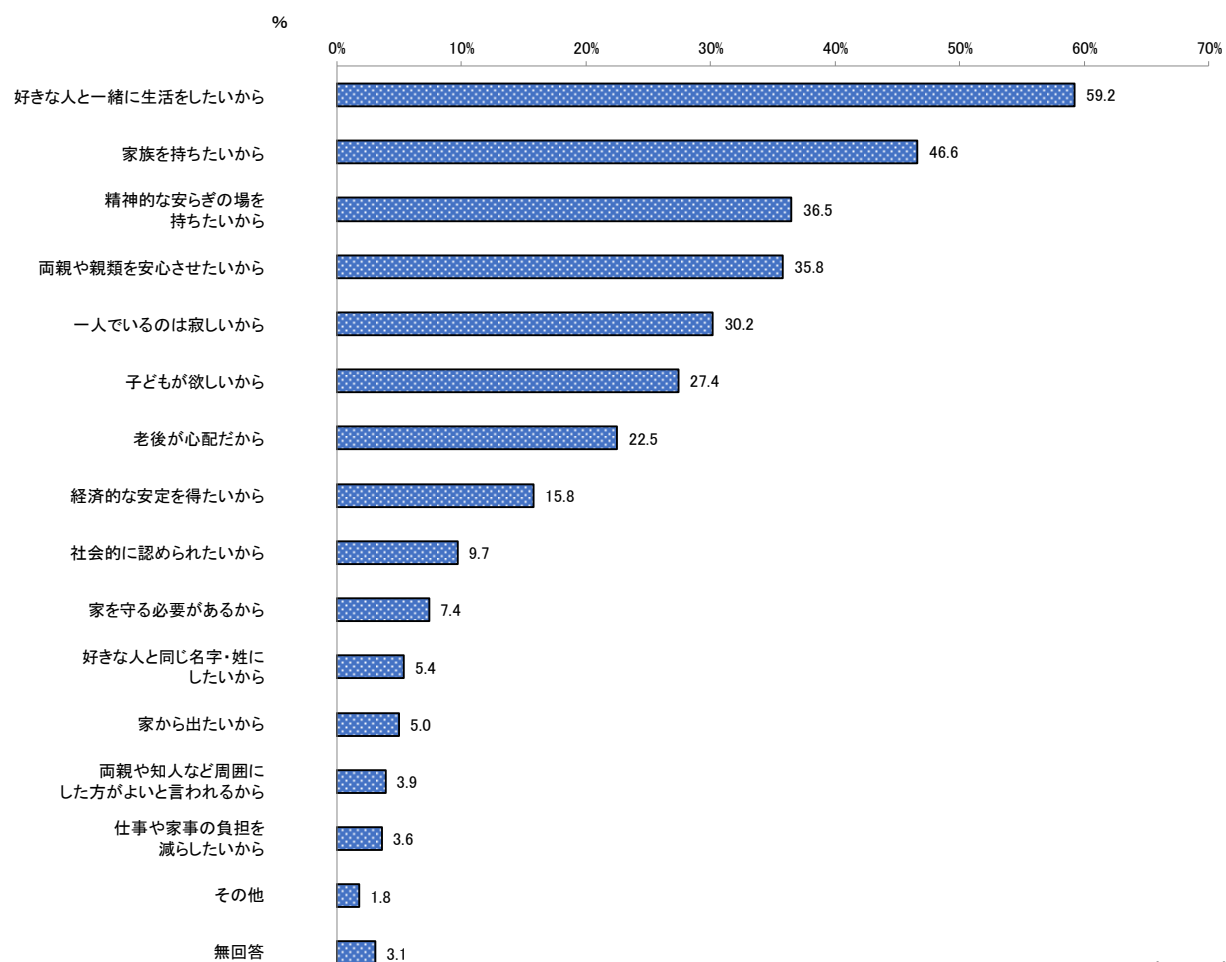
結婚したいと思う年齢と実年齢の差は、平均値 3.7 歳、中央値 3 歳となった。

平均値	3.7 歳
中央値	3 歳

問 43 問 40 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方におたずねします。あなたが今後結婚したいと思う理由は何ですか。次の中から、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

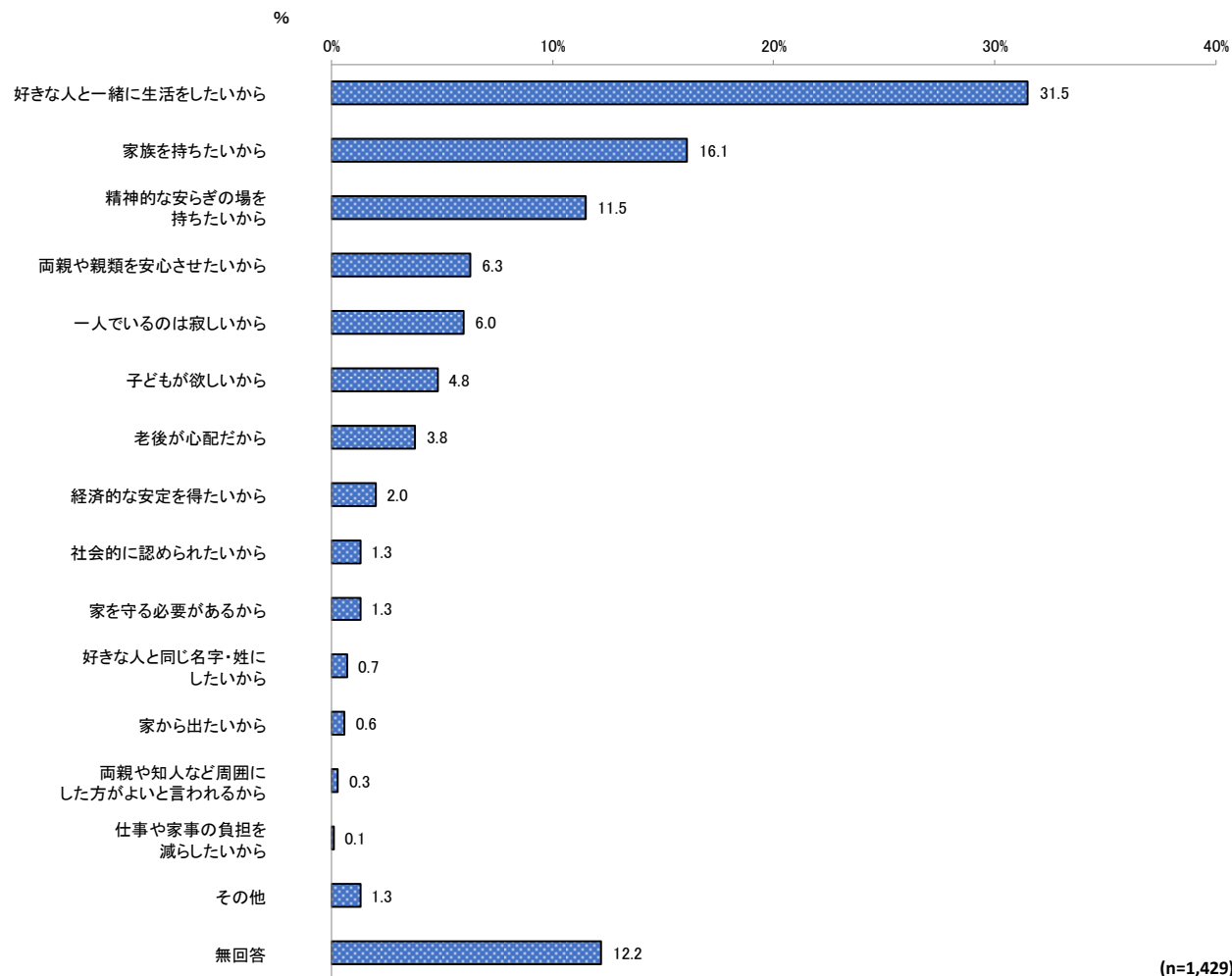
結婚したい理由

今後、結婚したいと思う理由について、「好きな人と一緒に生活をしたいから」が 59.2%で最も高く、次いで「家族を持ちたいから」が 46.6%、「精神的な安らぎの場を持ちたいから」が 36.5%となった。



結婚したい最も重要な理由

今後、結婚したいと思う最も重要な理由について、「好きな人と一緒に生活をしたいから」が31.5%で最も高く、次いで「家族を持ちたいから」が16.1%、「精神的な安らぎの場を持ちたいから」が11.5%となった。



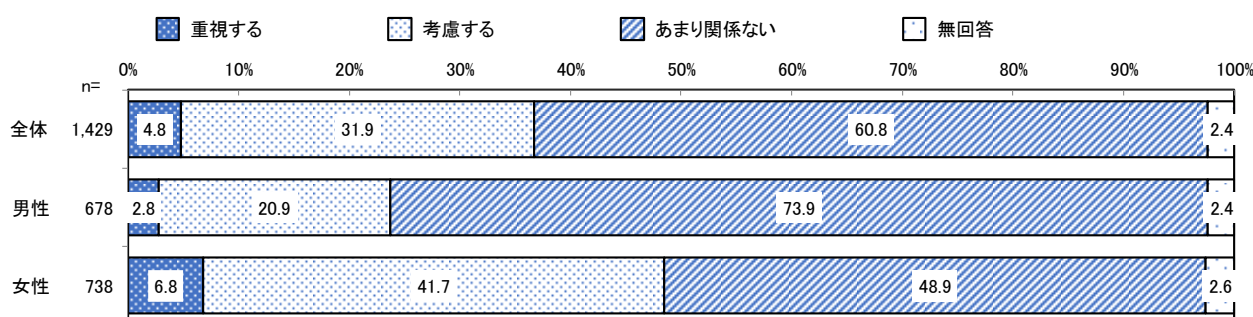
(n=1,429)

問 44 問 40 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方におたずねします。あなたは結婚相手を決めるとき、次の①から⑨の項目についてどの程度重視しますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

①相手の学歴

「あまり関係ない」が60.8%と最も高く、次いで「考慮する」が31.9%、「重視する」が4.8%となっている。

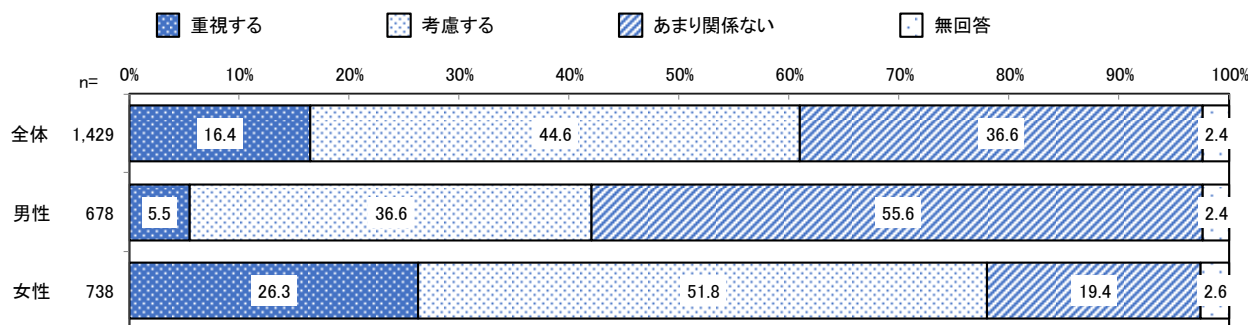
性別にみると、《男性》《女性》ともに「あまり関係ない」が最も高いが、《男性》では7割強、《女性》では5割弱と、差が大きくなっている。《女性》では「考慮する」も4割強と、男性に比べ高い割合となっている。



②相手の職業

「考慮する」が44.6%と最も高く、次いで「あまり関係ない」が36.6%、「重視する」が16.4%となっている。

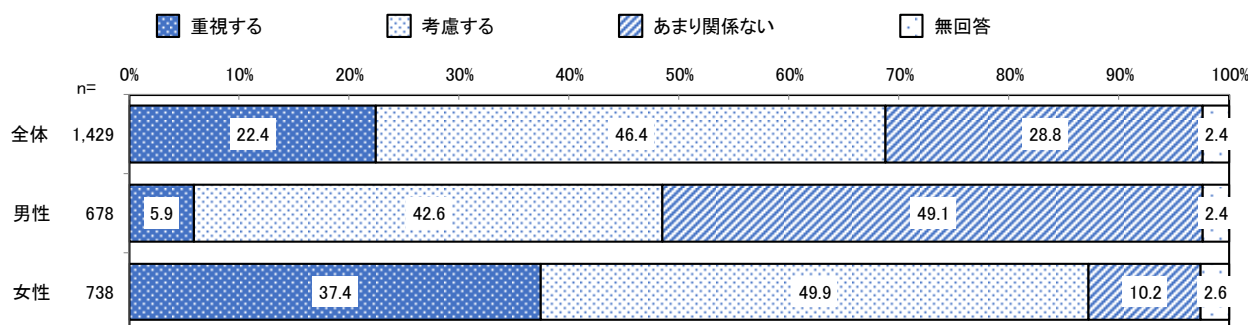
性別にみると、《男性》では「あまり関係ない」が5割半ば、《女性》では「考慮する」が5割強で、それぞれ最も高くなっている。《女性》では「あまり関係ない」が2割弱で、《男性》に比べ低い割合となっている。



③相手の収入など経済力

「考慮する」が46.4%と最も高く、次いで「あまり関係ない」が28.8%、「重視する」が22.4%となっている。

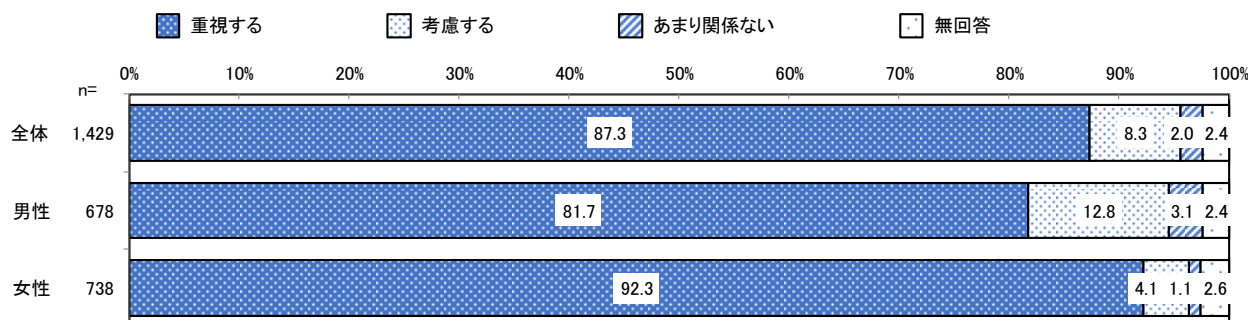
性別にみると、《男性》では「あまり関係ない」が5割弱で最も高く、次いで「考慮する」が4割強となっている。《女性》では「考慮する」が5割弱で最も高く、次いで「重視する」が4割近くとなっている。《男性》では「重視する」は1割を下回り、《女性》に比べ低くなっている。



④相手の人柄

「重視する」が87.3%と最も高く、次いで「考慮する」が8.3%、「あまり関係ない」が2.0%となっている。

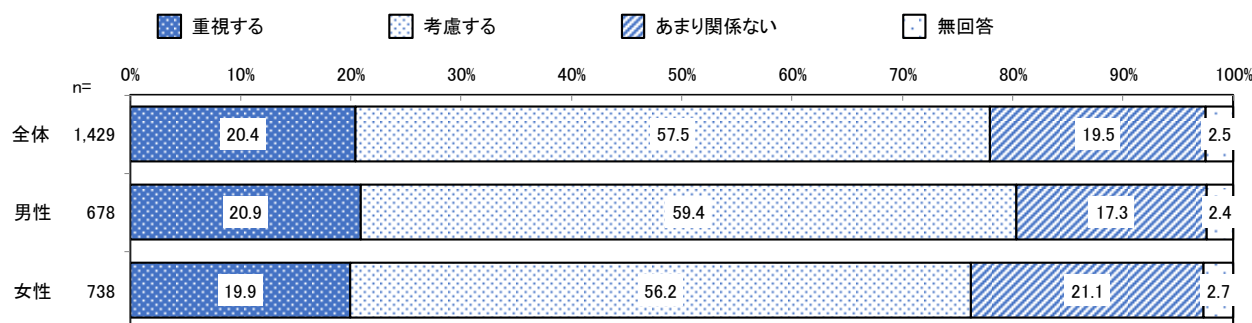
性別にみると、《男性》《女性》ともに「重視する」が8割を超え、最も高くなっている。



⑤相手の容姿

「考慮する」が57.5%と最も高く、次いで「重視する」が20.4%、「あまり関係ない」が19.5%となっている。

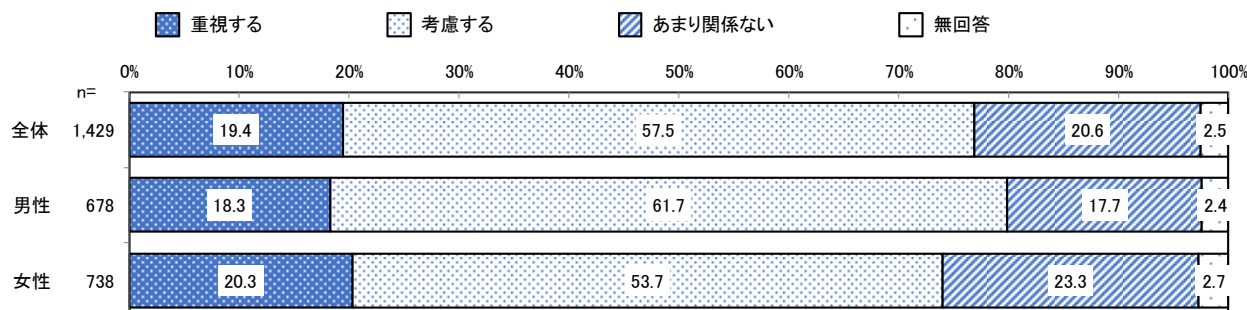
性別にみると、《男性》《女性》ともに「考慮する」が5割台で、それぞれ最も高くなっている。「重視する」は男女ともに2割前後となっており、大きな差はみられない。



⑥相手の年齢

「考慮する」が57.5%と最も高く、次いで「あまり関係ない」が20.6%、「重視する」が19.4%となっている。

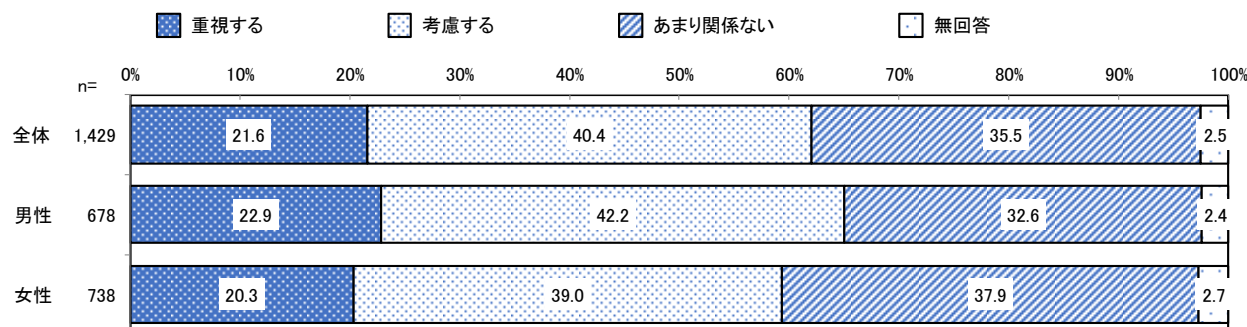
性別にみると、《男性》《女性》ともに「考慮する」が半数以上で、それぞれ最も高くなっている。「重視する」は男女ともに2割前後となっており、大きな差はみられない。



⑦共通の趣味の有無

「考慮する」が40.4%と最も高く、次いで「あまり関係ない」が35.5%、「重視する」が21.6%となっている。

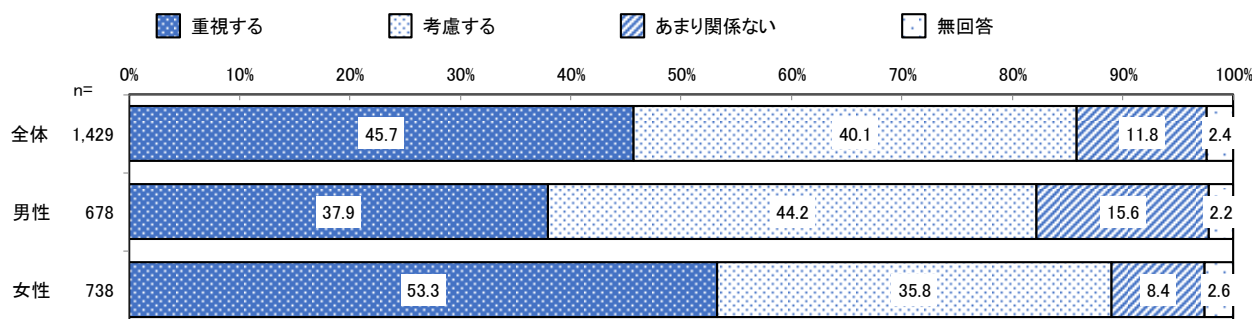
性別にみると、《男性》《女性》ともに「考慮する」が4割前後で、それぞれ最も高くなっている。「重視する」は男女ともに2割程度となっており、大きな差はみられない。



⑧自分の仕事に対する理解と協力

「重視する」が45.7%と最も高く、次いで「考慮する」が40.1%、「あまり関係ない」が11.8%となっている。

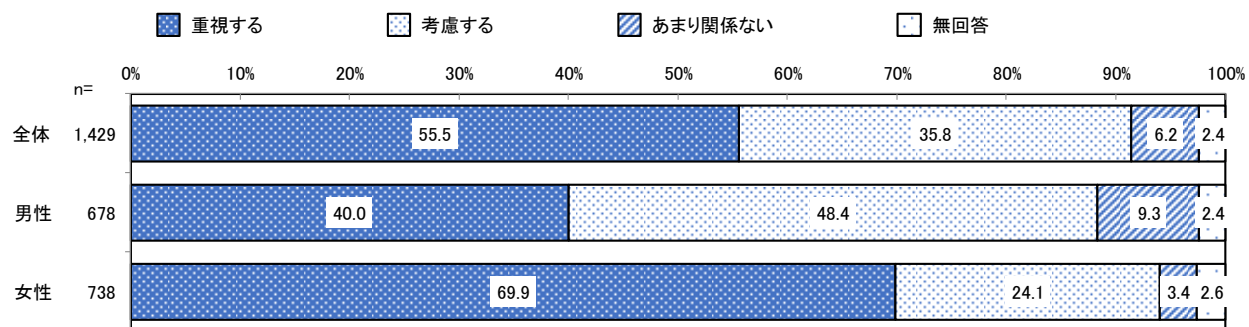
性別にみると、《男性》では「考慮する」が4割半ばで最も高く、次いで「重視する」が4割近くとなっている。《女性》では「重視する」が5割強で最も高く、次いで「考慮する」が3割半ばとなっている。



⑨家事・育児に対する能力や姿勢

「重視する」が55.5%と最も高く、次いで「考慮する」が35.8%、「あまり関係ない」が6.2%となっている。

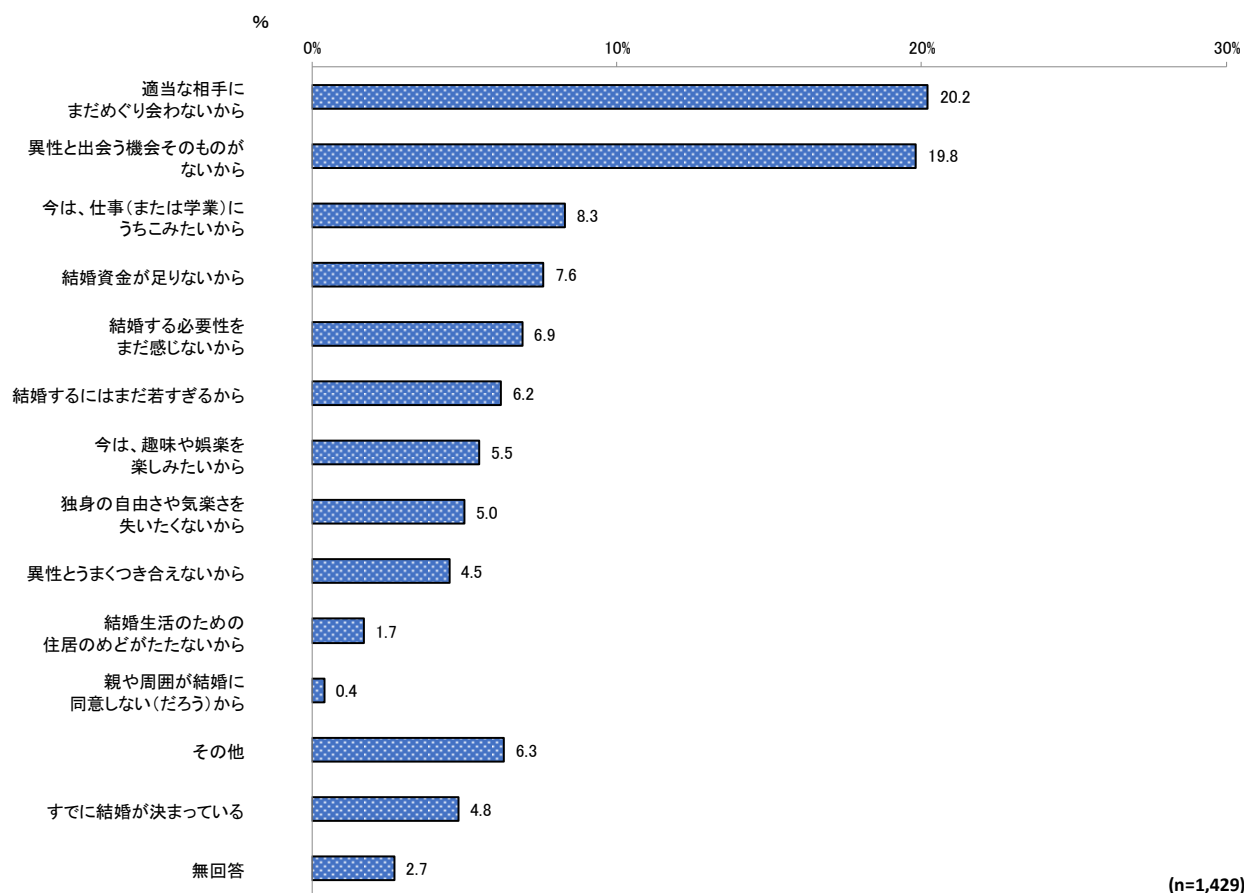
性別にみると、《男性》では「考慮する」が5割弱で最も高く、次いで「重視する」が4割となっている。《女性》では「重視する」がほぼ7割で最も高く、次いで「考慮する」が2割半ばとなっている。



問 45 問 40 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方におたずねします。あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。ご自分に最もあてはまると思われる理由をあてはまる順に3つまで選んで、右の回答欄に番号を記入してください（すでに結婚が決まっている方は「最大の理由」欄に「13」と記入してください）。

独身でいる最大の理由

現在、独身でいる最大の理由について、「適当な相手にまだめぐり会わないから」が20.2%で最も高く、次いで「異性と出会う機会そのものがないから」が19.8%、「今は、仕事（または学業）にうちこみたいから」が8.3%となった。



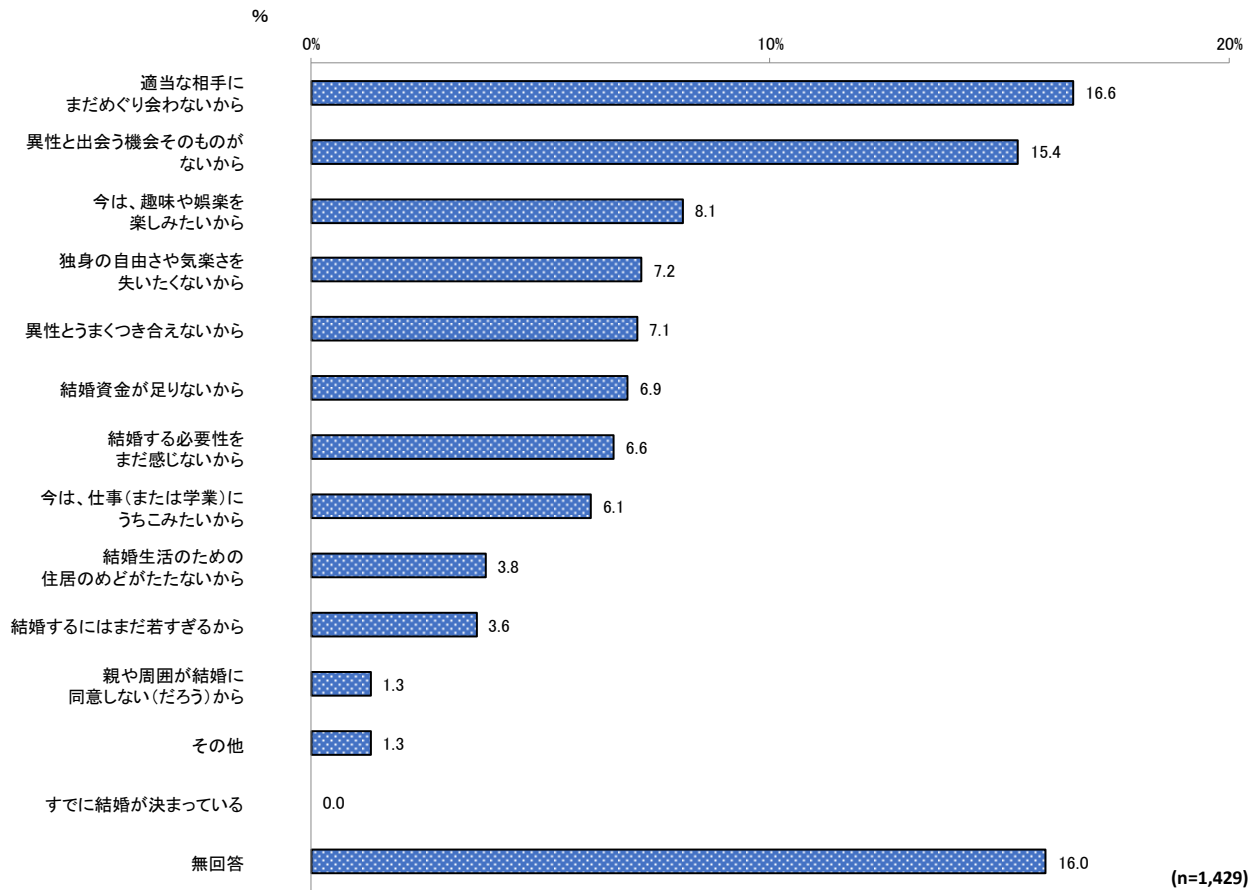
性年齢別にみると、《男性》では、すべての年代で「異性と出会う機会そのものがないから」が2割弱から4割近くで最も高く、どの年代でも《女性》よりも上回っている。これに次いで、30歳代以上では「適当な相手にまだめぐり合わないから」となり、《35～39歳男性》では同率（29.5%）で最も高い。《20～24歳男性》では「結婚するにはまだ若すぎるから」が同率（18.1%）で最も高く、《25～29歳男性》では「結婚資金が足りないから」が2割弱で続いている。

《女性》では、25歳以上で「適当な相手にまだめぐり合わないから」が2割強から4割弱で最も高く、これに次いで、《25～29歳女性》《30～34歳女性》《40～44歳女性》では「異性と出会う機会そのものがないから」となっている。《20～24歳女性》では「今は、仕事（または学業）にうちこみたいから」が2割弱で最も高く、次いで「結婚するにはまだ若すぎるから」となっている。

単位：%	調査数 (件)	結婚するにはまだ若すぎ るから	結婚する必要をまだ 感じないから	今は、仕事（または学 業）にうちこみたいか ら	今は、趣味や娯楽を楽 しみたいから	独身の自由さや気楽さ を失いたくないから	適当な相手にまだめぐ り合わないから	異性と出会う機会その ものがないから	異性と出会う機会その ものがないから	異性とうまくつき合え ないから	結婚資金が足りないか ら	結婚生活のための住居 のめどがたないから	親や周囲が結婚に同意 しない（だろう）から	その他	すでに結婚が決まって いる	無回答
全体	1,429	6.2	6.9	8.3	5.5	5.0	20.2	19.8	4.5	7.6	1.7	0.4	6.3	4.8	2.7	
性別																
男性	678	5.6	5.5	5.5	4.9	4.4	18.9	27.1	5.8	9.9	1.2	0.1	5.3	2.9	2.9	
女性	738	6.9	8.1	11.0	6.2	5.6	21.5	12.9	3.1	5.6	2.2	0.7	7.2	6.5	2.6	
性年齢別																
20～24歳	483	17.8	9.5	15.5	7.5	2.1	13.3	13.0	2.9	6.2	1.9	0.4	3.1	3.5	3.3	
25～29歳	343	0.6	6.1	6.4	6.1	7.6	16.0	21.9	4.7	12.8	1.7	0.6	4.7	7.3	3.5	
30～34歳	233	0.0	6.0	5.2	4.3	5.6	26.6	24.5	5.6	6.4	1.3	0.0	7.3	6.0	1.3	
35～39歳	172	0.0	3.5	3.5	4.1	5.2	29.7	21.5	8.1	3.5	1.7	1.2	12.2	3.5	2.3	
40～44歳	117	0.0	4.3	2.6	3.4	6.8	30.8	25.6	2.6	7.7	2.6	0.0	8.5	2.6	2.6	
45～50歳	81	1.2	8.6	0.0	1.2	6.2	25.9	25.9	4.9	6.2	0.0	0.0	13.6	4.9	1.2	
20～24歳 男性	193	18.1	9.8	11.4	7.8	1.6	11.9	18.1	3.1	7.8	1.6	0.0	3.6	0.5	4.7	
25～29歳 男性	141	1.4	5.0	5.0	4.3	6.4	9.2	28.4	7.1	19.1	0.0	0.7	3.5	7.1	2.8	
30～34歳 男性	120	0.0	5.0	3.3	5.0	4.2	28.3	31.7	5.8	8.3	1.7	0.0	2.5	2.5	1.7	
35～39歳 男性	95	0.0	2.1	3.2	3.2	5.3	29.5	29.5	9.5	3.2	1.1	0.0	9.5	3.2	1.1	
40～44歳 男性	76	0.0	1.3	1.3	3.9	7.9	26.3	30.3	3.9	9.2	2.6	0.0	7.9	1.3	3.9	
45～50歳 男性	53	1.9	3.8	0.0	0.0	3.8	18.9	37.7	7.5	9.4	0.0	0.0	11.3	3.8	1.9	
20～24歳 女性	287	17.8	9.1	18.5	7.3	2.4	14.3	9.4	2.4	5.2	2.1	0.7	2.8	5.6	2.4	
25～29歳 女性	199	0.0	6.5	7.5	7.5	8.5	20.6	17.6	3.0	8.5	3.0	0.5	5.0	7.5	4.0	
30～34歳 女性	108	0.0	7.4	7.4	3.7	7.4	25.9	15.7	4.6	3.7	0.9	0.0	13.0	9.3	0.9	
35～39歳 女性	76	0.0	5.3	3.9	5.3	5.3	30.3	10.5	6.6	3.9	2.6	2.6	15.8	3.9	3.9	
40～44歳 女性	40	0.0	10.0	5.0	2.5	5.0	37.5	17.5	0.0	5.0	2.5	0.0	10.0	5.0	0.0	
45～50歳 女性	28	0.0	17.9	0.0	3.6	10.7	39.3	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	17.9	7.1	0.0	

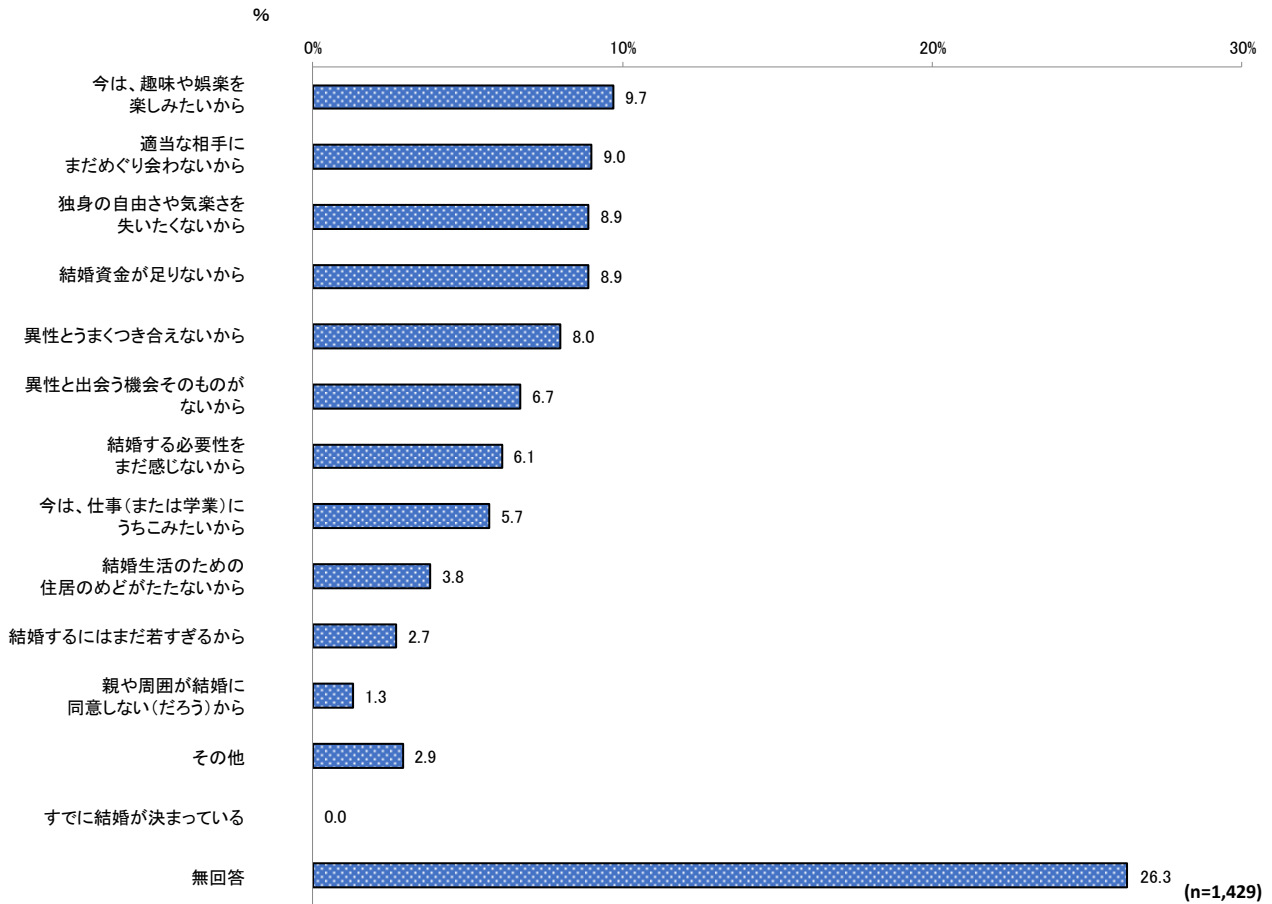
独身でいる第二の理由

現在、独身でいる第二の理由について、「適当な相手にまだめぐり会わないから」が16.6%で最も高く、次いで「異性と出会う機会そのものがないから」が15.4%、「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」が8.1%となった。



独身でいる第三の理由

現在、独身でいる第三の理由について、「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」が9.7%で最も高く、次いで「適当な相手にまだめぐり会わないから」が9.0%、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」及び「結婚資金が足りないから」が8.9%となった。

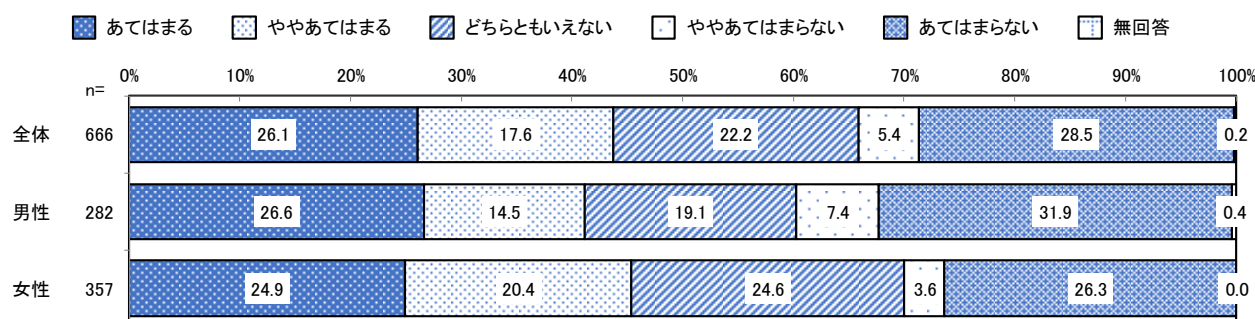


問 46 問 40 で「2. 一生結婚するつもりはない」に○をつけた方におたずねします。今後、積極的に結婚したいと思わない理由について、次の①から⑩の項目はそれぞれの程度あてはまるか1つに○をつけてください。

①結婚相手として条件をクリアできる人に巡り合えそうにないから

「あてはまらない」が 28.5%と最も高く、次いで「あてはまる」が 26.1%、「どちらともいえない」が 22.2%となっている。

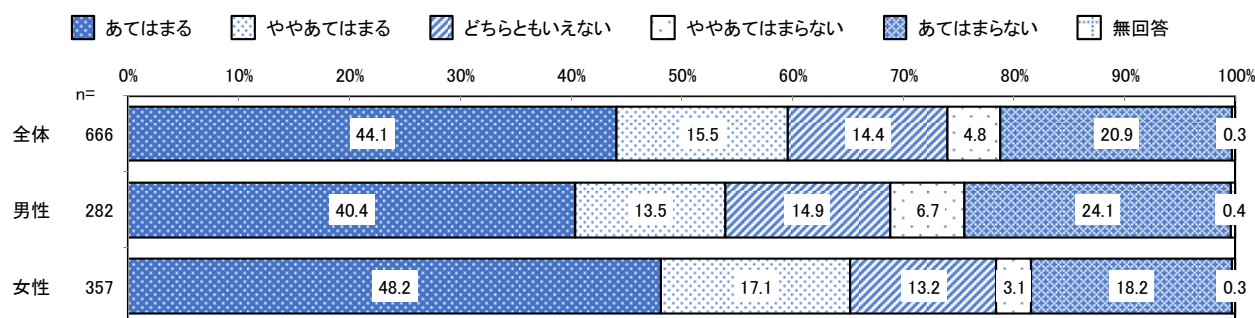
性別にみると、《男性》《女性》ともに『あてはまる』（「あてはまる」「ややあてはまる」の合計、以下同じ）が4割台で、『あてはまらない』（「あてはまらない」「ややあてはまらない」の合計、以下同じ）を上回っている。『あてはまらない』は《男性》で4割弱、《女性》で3割弱となっており、《男性》が比較的高くなっている。



②結婚するほど好きな人に巡り合っていないから

「あてはまる」が 44.1%と最も高く、次いで「あてはまらない」が 20.9%、「ややあてはまる」が 15.5%となっている。

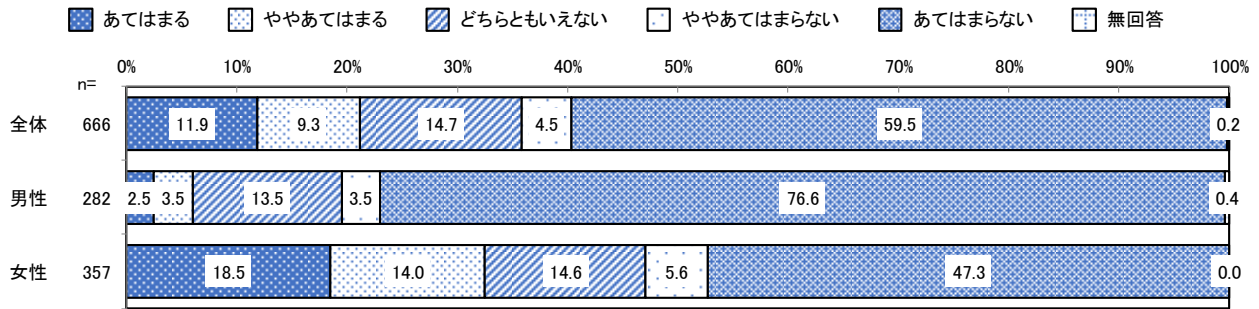
性別にみると、《男性》《女性》ともに『あてはまる』が半数を超え、《女性》では6割半ばと《男性》に比べ高くなっている。



③名字・姓が変わるのが嫌・面倒だから

「あてはまらない」が59.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が14.7%、「あてはまる」が11.9%となっている。

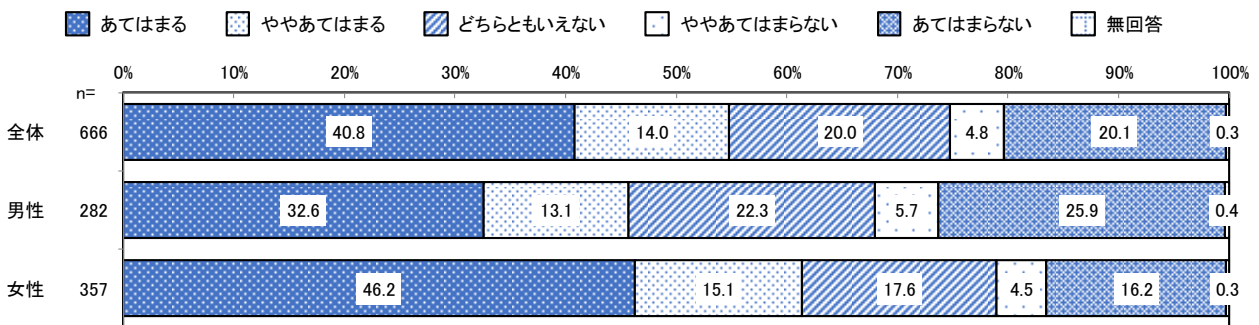
性別にみると、《男性》《女性》ともに『あてはまらない』が半数を超え、《男性》では約8割と《女性》に比べ高くなっている。《女性》では『あてはまる』が3割強で、《男性》に比べ高くなっている。



④結婚という形式にこだわる必要性を感じないから

「あてはまる」が40.8%と最も高く、次いで「あてはまらない」が20.1%、「どちらともいえない」が20.0%となっている。

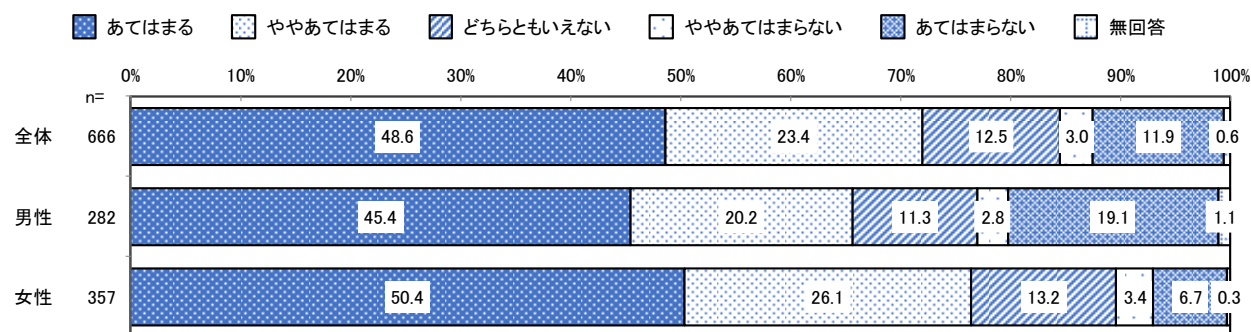
性別にみると、《男性》《女性》ともに『あてはまる』が最も高く、《女性》では6割強と《男性》に比べ高くなっている。《男性》では『あてはまらない』が3割強で、《女性》に比べ高くなっている。



⑤結婚に縛られたくない、自由でいたいから

「あてはまる」が48.6%と最も高く、次いで「ややあてはまる」が23.4%、「どちらともいえない」が12.5%となっている。

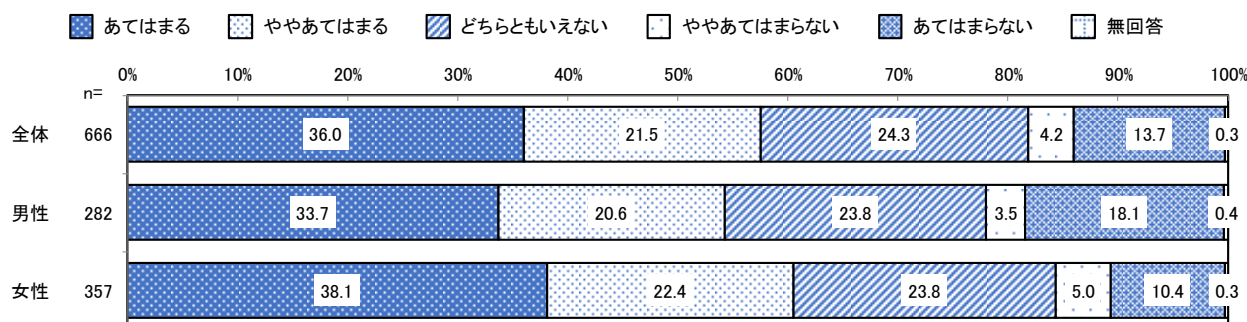
性別にみると、《男性》《女性》ともに『あてはまる』が半数を超え、《女性》では7割半ばと《男性》に比べ高くなっている。《男性》では『あてはまらない』が2割強で、《女性》に比べ高くなっている。



⑥今のままの生活を続けた方が安心だから

「あてはまる」が36.0%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.3%、「ややあてはまる」が21.5%となっている。

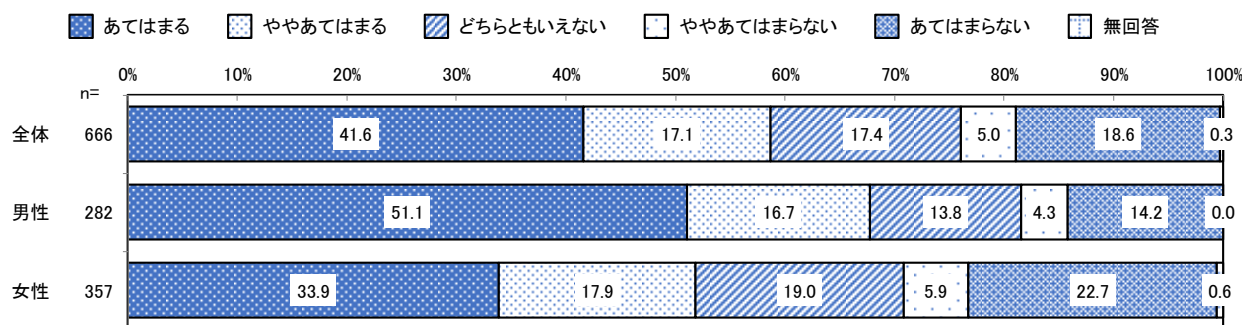
性別にみると、《男性》《女性》ともに『あてはまる』が半数を超え、《男性》で5割半ば、《女性》で6割強となっている。



⑦結婚生活を送る経済力がない・仕事が不安定だから

「あてはまる」が41.6%と最も高く、次いで「あてはまらない」が18.6%、「どちらともいえない」が17.4%となっている。

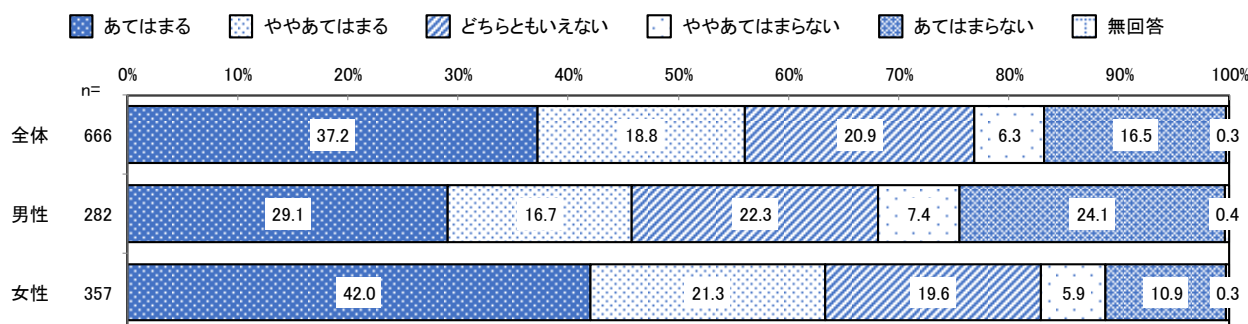
性別にみると、《男性》《女性》ともに『あてはまる』が半数を超え、《男性》で7割近くと《女性》に比べ高い割合となっている。『あてはまらない』は《女性》で3割弱と《男性》に比べ高くなっている。



⑧仕事・家事・育児・介護を背負うことになるから

「あてはまる」が37.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が20.9%、「ややあてはまる」が18.8%となっている。

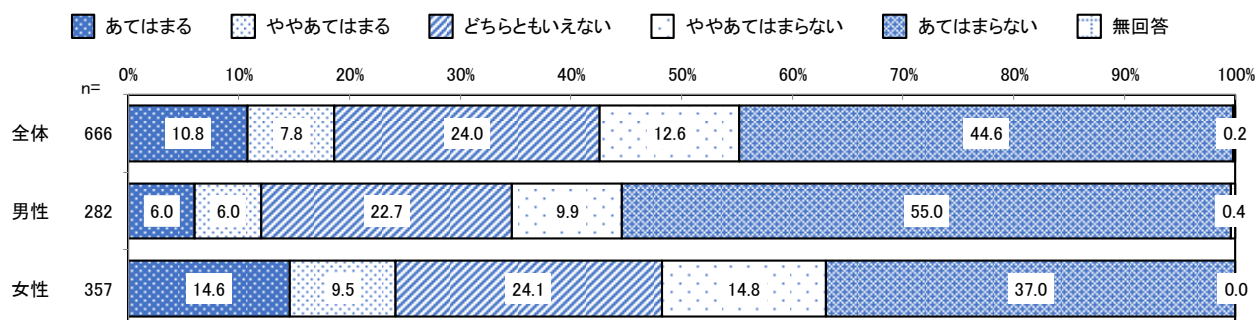
性別にみると、《男性》《女性》ともに『あてはまる』が最も高く、《女性》で6割強と《男性》に比べ高い割合となっている。『あてはまらない』は《男性》で3割強と《女性》に比べ高くなっている。



⑩仕事を優先したい・キャリアを中断したくないから

「あてはまらない」が44.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.0%、「ややあてはまらない」が12.6%となっている。

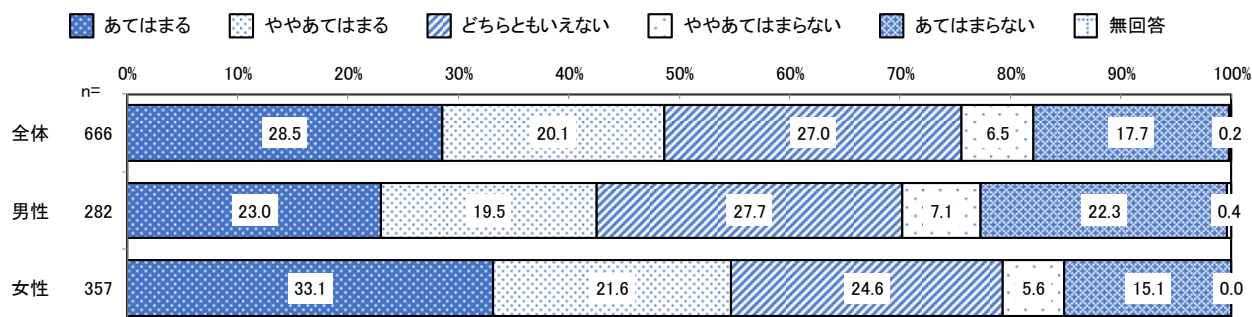
性別にみると、《男性》《女性》ともに『あてはまらない』が半数を超え、《男性》で6割半ばと《女性》に比べ高い割合となっている。『あてはまる』は《女性》で2割半ばと《男性》に比べ高くなっている。



⑩誰かと一緒に生きていきたいと思わないから

「あてはまる」が28.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が27.0%、「ややあてはまる」が20.1%となっている。

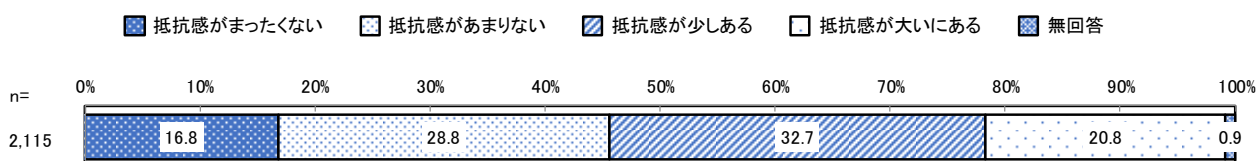
性別にみると、《男性》《女性》ともに『あてはまる』が最も高く、《女性》で5割半ばと《男性》に比べ高い割合となっている。『あてはまらない』は《男性》で3割弱と《女性》に比べ高くなっている。



問 47 結婚相手・パートナーを見つけるために、①自治体がマッチングシステムを活用した支援を行うことについてどのように感じますか。また、抵抗感がある方（3から4に○をつけた方）は②その理由は何ですか。①はあてはまる番号1つに、②はあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

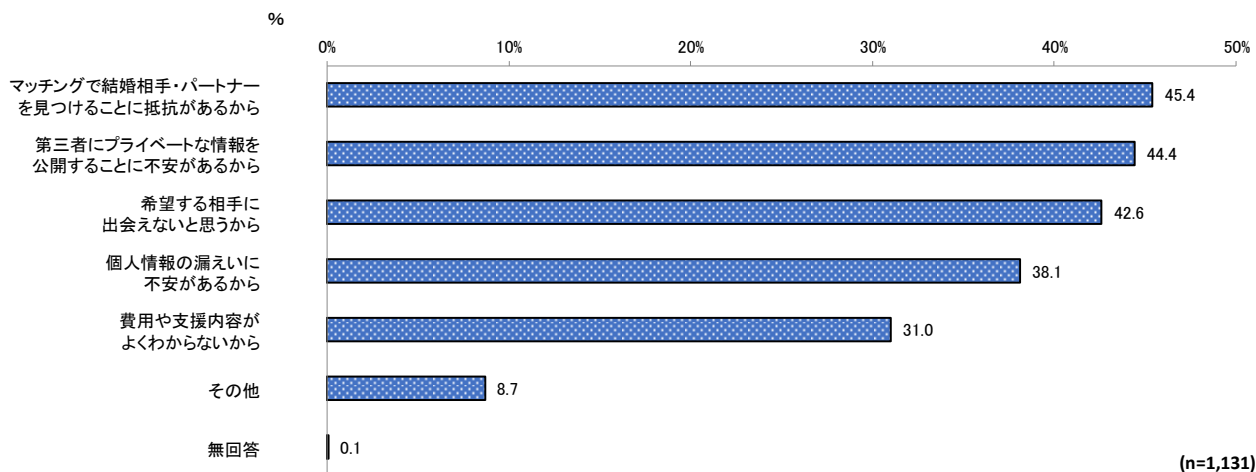
①自治体が運用するマッチングシステムへの抵抗感

自治体がマッチングシステムを活用した支援を行うことについてどのように感じるかについて、「抵抗感が少しある」が32.7%で最も高く、次いで「抵抗感があまりない」が28.8%、「抵抗感が大いにある」が20.8%となった。



②自治体が運用するマッチングシステムに抵抗感がある理由

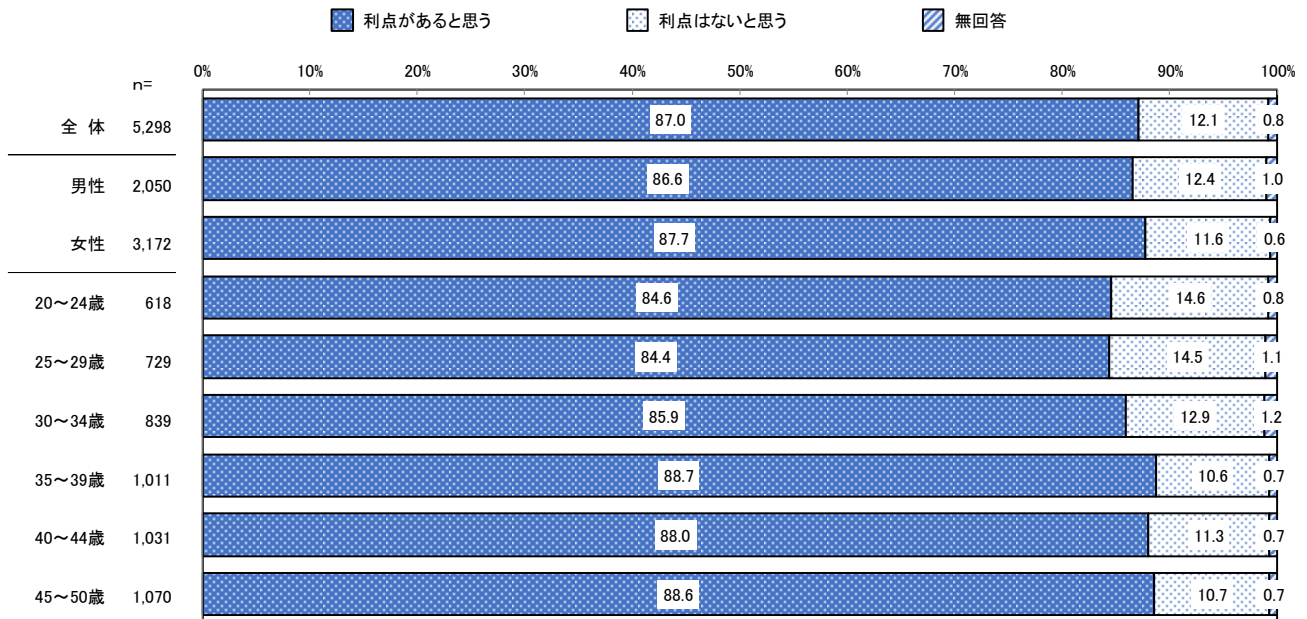
自治体が運用するマッチングシステムに抵抗感がある理由について、「マッチングで結婚相手・パートナーを見つけることに抵抗があるから」が45.4%で最も高く、次いで「第三者にプライベートな情報を公開することに不安があるから」が44.4%、「希望する相手に出会えないと思うから」が42.6%となった。



問 48 あなたにとって、結婚することには何か利点があると思いますか。左下のあてはまる番号 1 つに ○をつけてください。「1. 利点があると思う」に○をつけた方は、右側の枠の中から具体的な利点をあてはまる順に 2 つまで選んで右の回答欄に番号を記入してください。

結婚することには何か利点があると思うかについて、「利点があると思う」が 87.0%、「利点はないと思う」が 12.1%となった。

性年齢別にみると、すべての区分で「利点があると思う」が過半数を占め、特に大きな差はみられない。

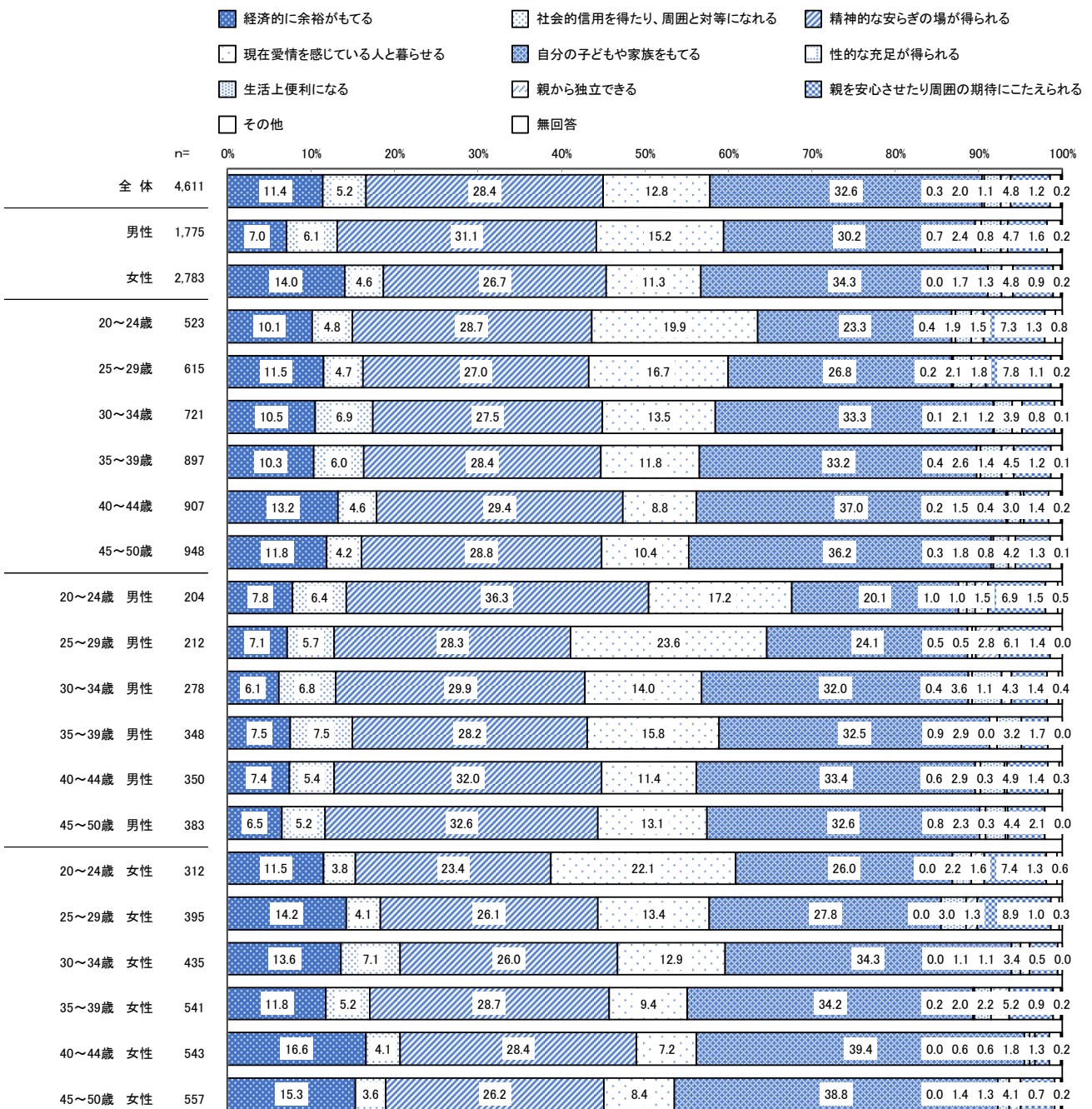


最大の利点

最大の利点について、「自分の子どもや家族をもてる」が32.6%で最も高く、次いで「精神的な安らぎの場が得られる」が28.4%、「現在愛情を感じている人と暮らせる」が12.8%となった。

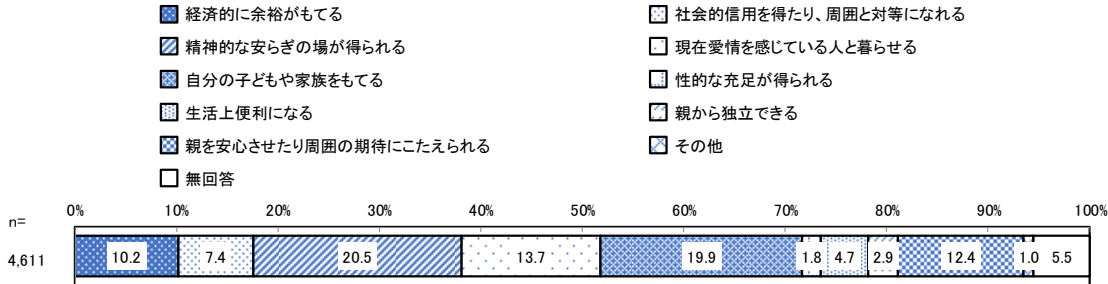
性年齢別にみると、《女性》ではすべての年代で「自分の子どもや家族をもてる」が2割半ばから4割弱で最も高く、次いで「精神的な安らぎの場が得られる」となっている。また、「経済的に余裕がもてる」はすべての年代で1割を超え、同年代の男性に比べ高くなっている。

《男性》では30歳以上で「自分の子どもや家族をもてる」が3割強で最も高く、《45～50歳男性》では「精神的な安らぎの場が得られる」も同率（32.6%）で最も高くなっている。20歳代では「精神的な安らぎの場が得られる」が最も高く、《20～24歳男性》では3割半ばと同年代の女性に比べ10ポイント以上高くなっている。



第二の利点

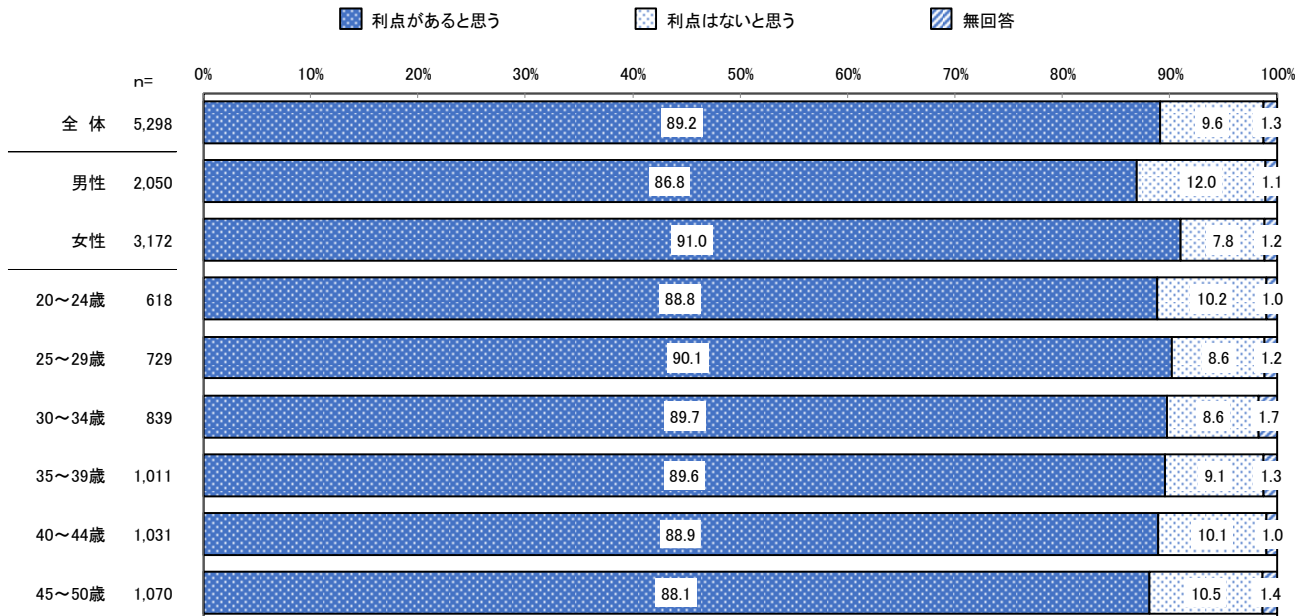
第二の利点について、「精神的な安らぎの場が得られる」が20.5%で最も高く、次いで「自分の子どもや家族をもてる」が19.9%、「現在愛情を感じている人と暮らせる」が13.7%となった。



問 49 それでは逆に、あなたにとって独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか。左下のあてはまる番号1つに○をつけてください。「1. 利点があると思う」に○をつけた方は、右側の枠の中から具体的な利点をあてはまる順に2つまで選んで右の回答欄に番号を記入してください。

独身生活には結婚生活にはない利点があると思うかについて、「利点があると思う」が89.2%、「利点はないと思う」が9.6%となった。

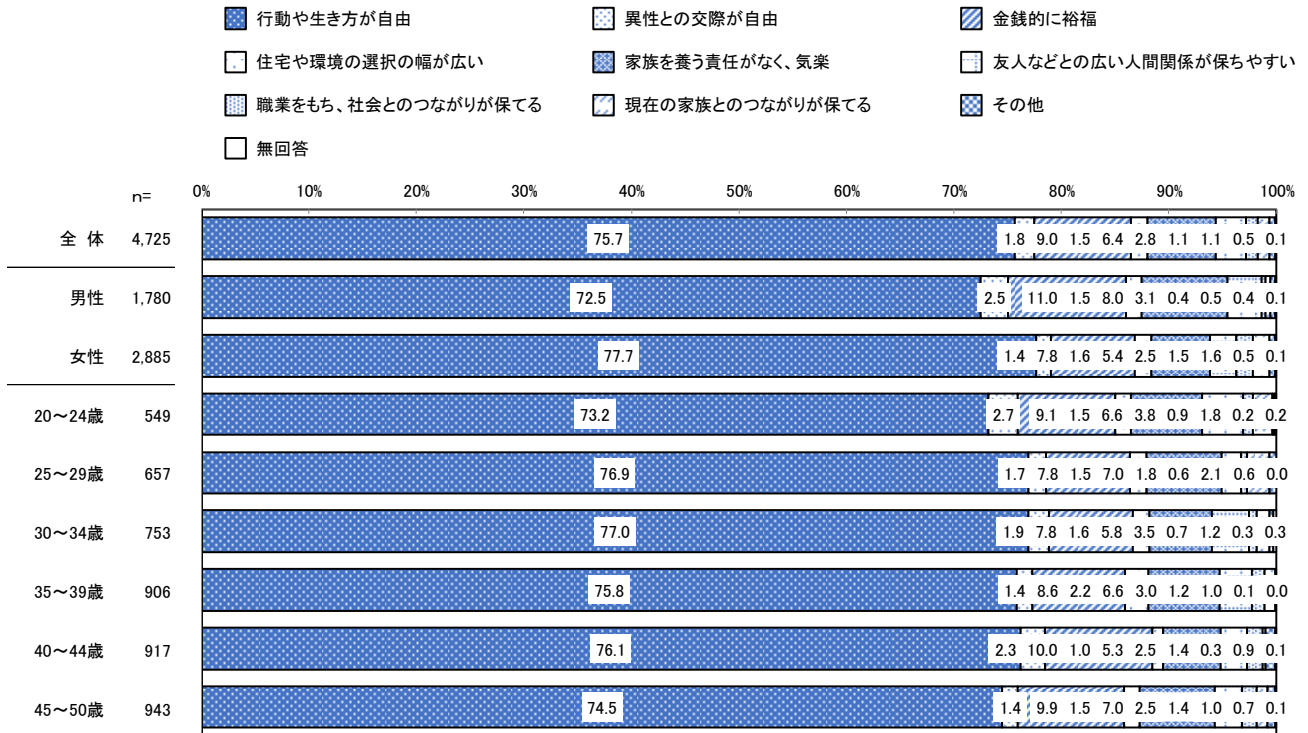
性別・年齢別にみると、いずれの性別・年代でも「利点があると思う」が8割台から9割台となっている。



最大の利点

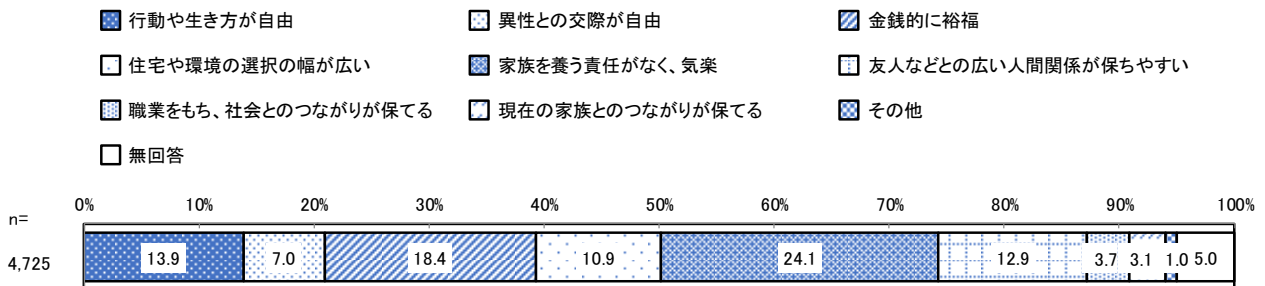
最大の利点について、「行動や生き方が自由」が75.7%で最も高く、次いで「金銭的に裕福」が9.0%、「家族を養う責任がなく、気楽」が6.4%となった。

性別・年齢別にみると、いずれの性別・年代でも「行動や生き方が自由」が7割強からほぼ8割で最も高く、他の選択肢を大きく引き離している。



第二の利点

第二の利点について、「家族を養う責任がなく、気楽」が24.1%で最も高く、次いで「金銭的に裕福」が18.4%、「行動や生き方が自由」が13.9%となった。



問 50 下の枠の中に女性の生き方のタイプがいくつか示してあります。それぞれ、最も近いと思われるタイプの番号を下の枠から1つ選び、回答欄に記入してください。

※ 結婚されている方と男性は1を選択しないでください。

【女性の方へ】

①あなたの理想とする人生はどのタイプですか。

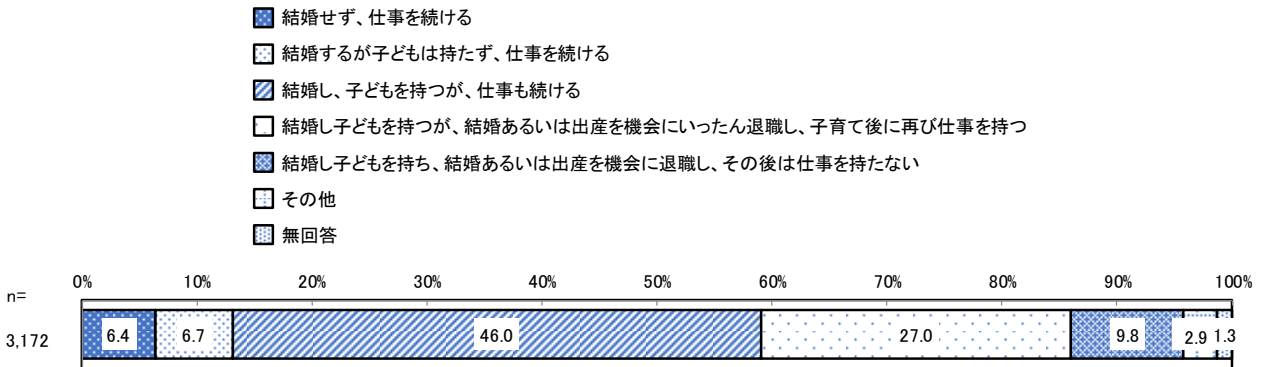
②理想は理想として、実際になりそうな（現在なっている）あなたの人生はどのタイプですか。

【男性の方へ】

妻、または妻となる女性にはどのようなタイプの人生を送ってほしいと思いますか。

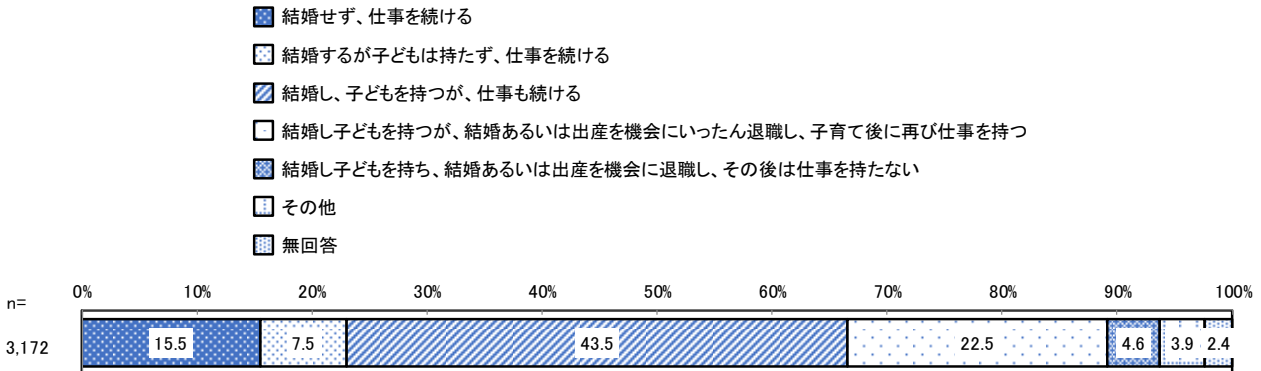
【女性回答】①理想とする人生

女性が理想とする人生について、「結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける」が46.0%で最も高く、次いで「結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産を機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」が27.0%、「結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産を機会に退職し、その後は仕事を持たない」が9.8%となった。



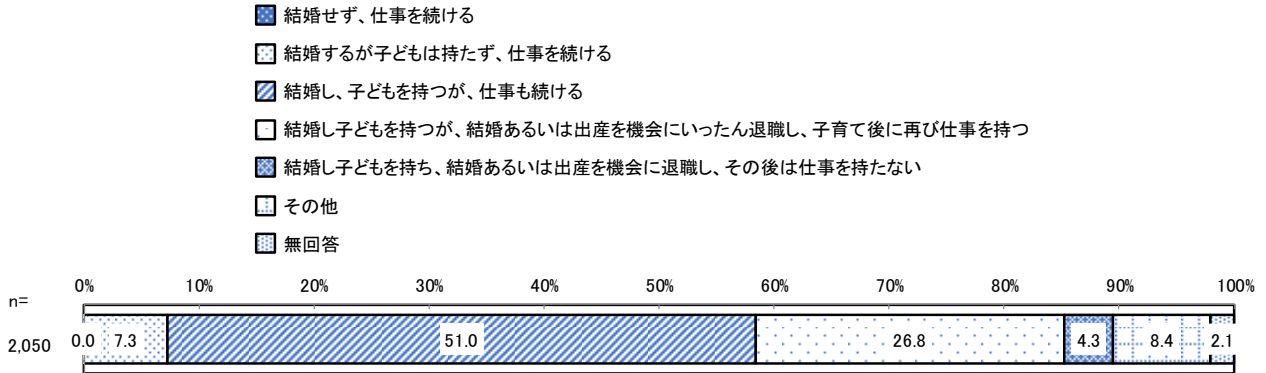
【女性回答】②実際になりそうな（なっている）人生

女性が実際になりそうな（なっている）人生について、「結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける」が43.5%で最も高く、次いで「結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産を機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」が22.5%、「結婚せず、仕事を続ける」が15.5%となった。



【男性回答】妻または妻となる女性に望む人生

男性が妻、または妻となる女性にどのようなタイプの人生を送ってほしいと思うかについて、「結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける」が51.0%で最も高く、次いで「結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産を機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」が26.8%、「結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける」が7.3%となった。

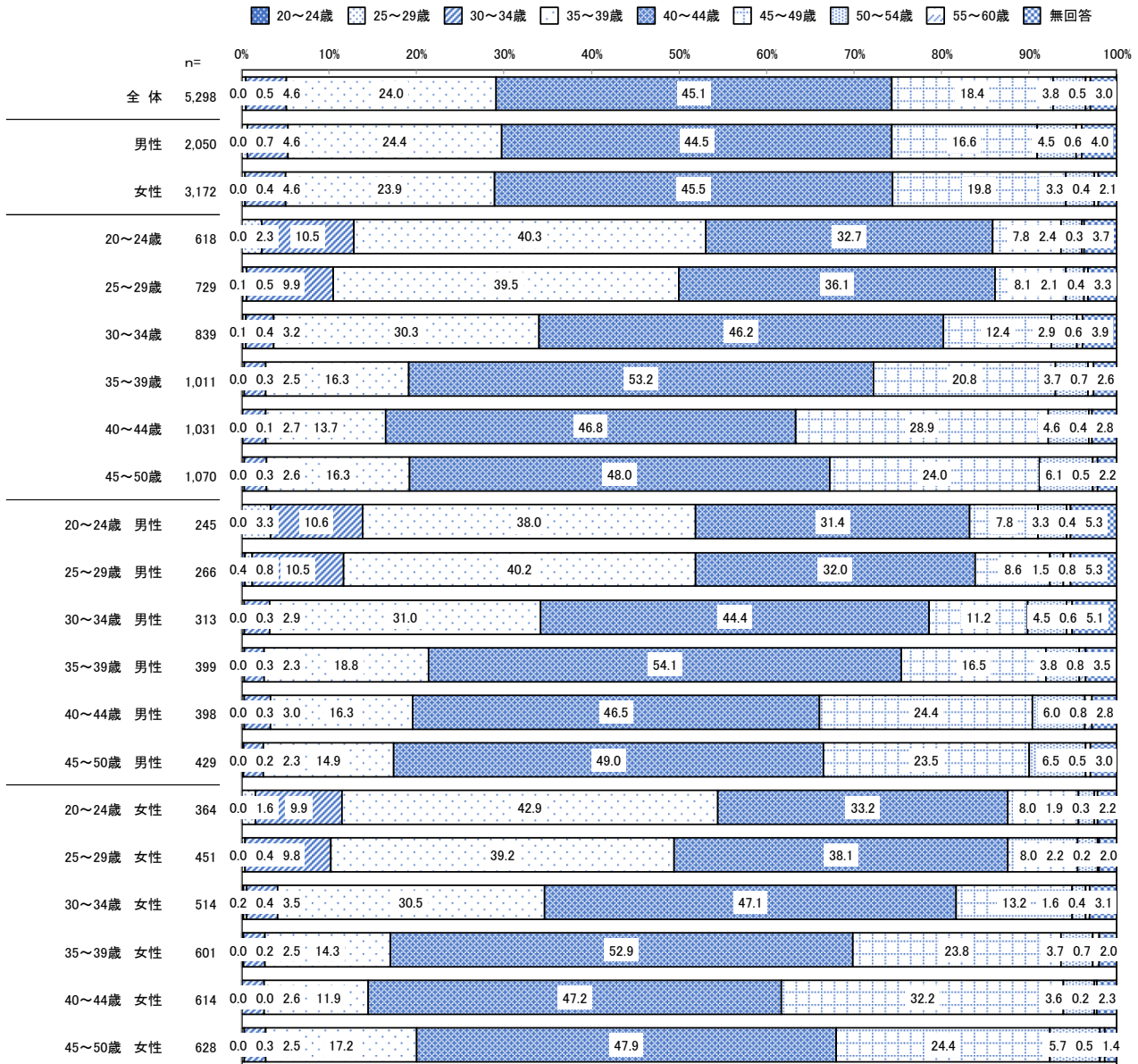


問 51 あなたは、①女性は何歳まで子どもが生まれると思いますか。また、②自然に妊娠できなかった場合、不妊治療を行いたいと思いますか。①は下線の欄に数字を記入し、②はあてはまる番号1つに○をつけてください。

※ 自然に妊娠して出産された方は、自然に妊娠できていなかった場合を想定してお答えください。

①女性が子どもを生めると思う年齢

女性は何歳まで子どもが生まれると思うかについて、「40～44歳」が45.1%で最も高く、次いで「35～39歳」が24.0%、「45～49歳」が18.4%となった。性年齢別にみると、《男性》《女性》ともに20歳代では「35～39歳」が4割弱から4割強で最も高く、次いで「40～44歳」となっている。30歳以上では「40～44歳」が4割半ばから5割半ばで最も高く、これに次いで、40歳以上の男女および《35～39歳女性》では「45～49歳」が続いている。



①女性が子どもを生めると思う年齢（平均値・中央値）

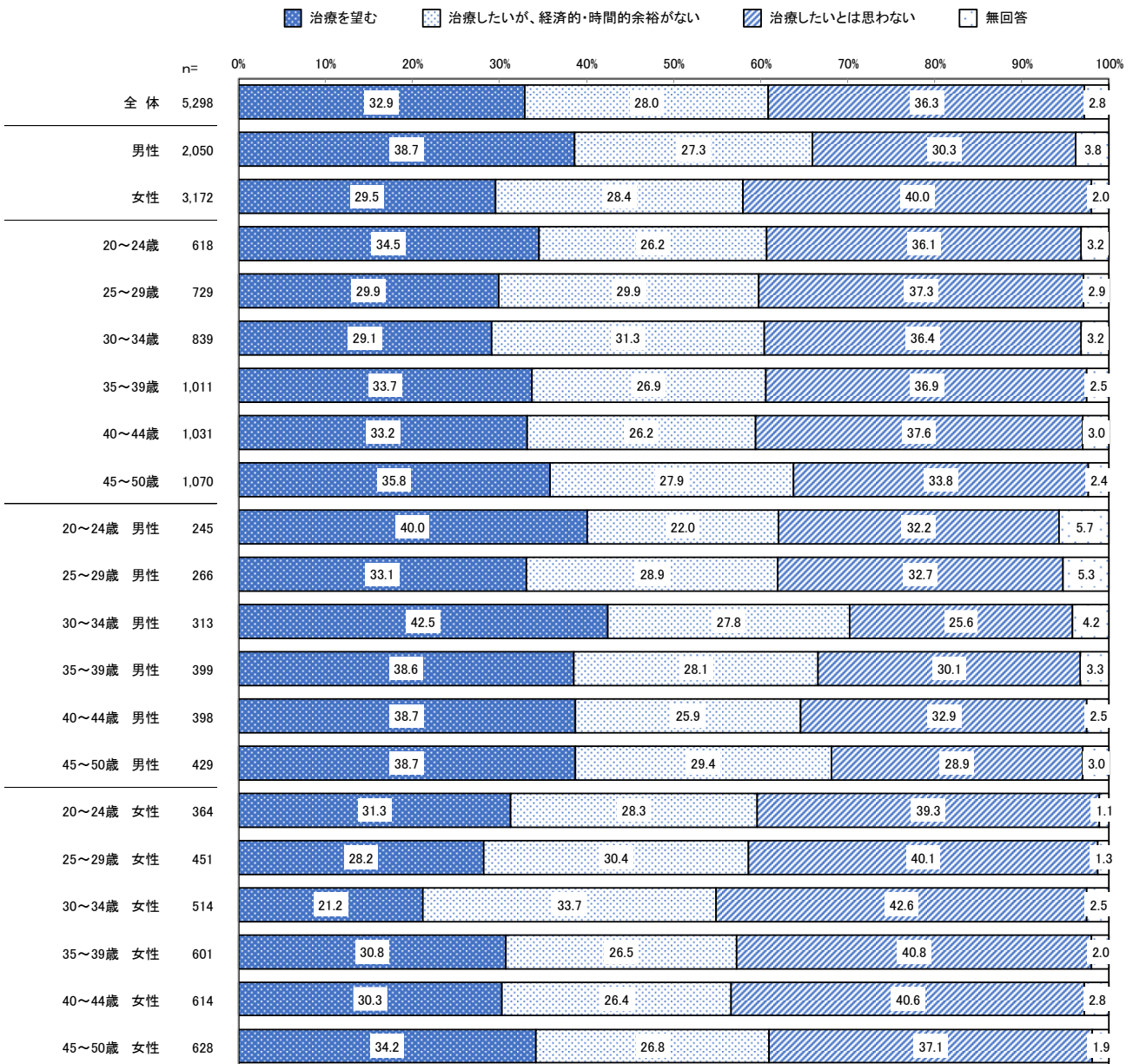
女性は何歳まで子どもが生めると思うかについて、平均値は 40.1 歳まで、中央値は 40 歳までとなった。

平均値	40.1 歳まで
中央値	40 歳まで

②不妊治療の希望

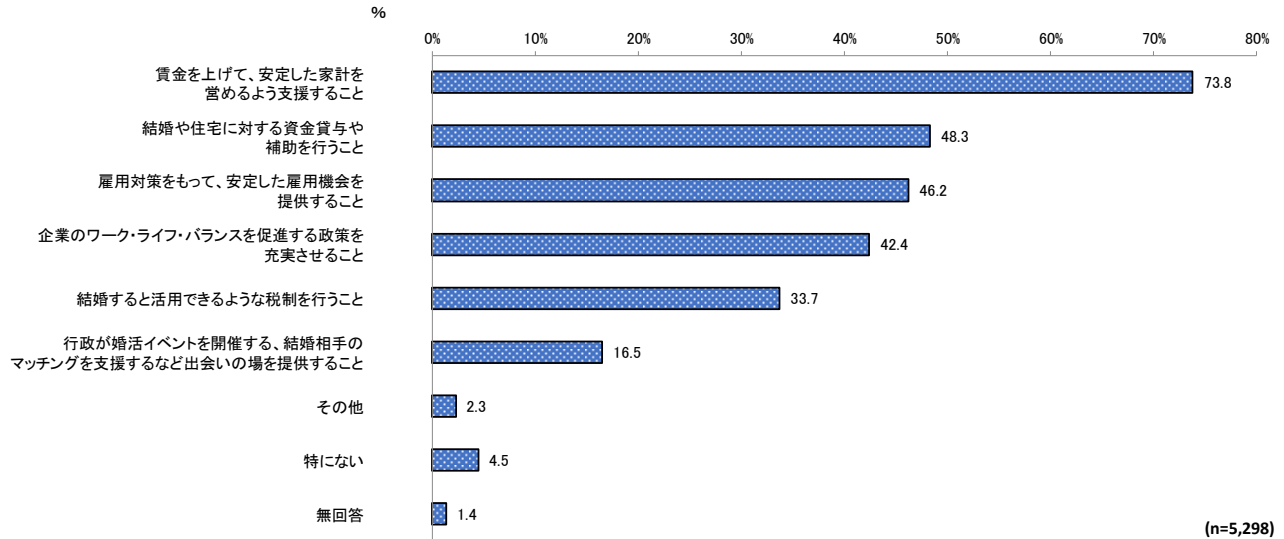
自然に妊娠できなかった場合、不妊治療を行いたいと思うかについて、「治療したいとは思わない」が36.3%で最も高く、次いで「治療を望む」が32.9%、「治療したいが、経済的・時間的余裕がない」が28.0%となった。

性年齢別にみると、《男性》ではすべての年代で「治療を望む」が3割強から4割強、《女性》ではすべての年代で「治療したいとは思わない」が4割近くから4割強で、それぞれ最も高くなっている。《25～29歳女性》《30～34歳女性》では「治療したいが、経済的・時間的余裕がない」が3割を超え、やや高くなっている。



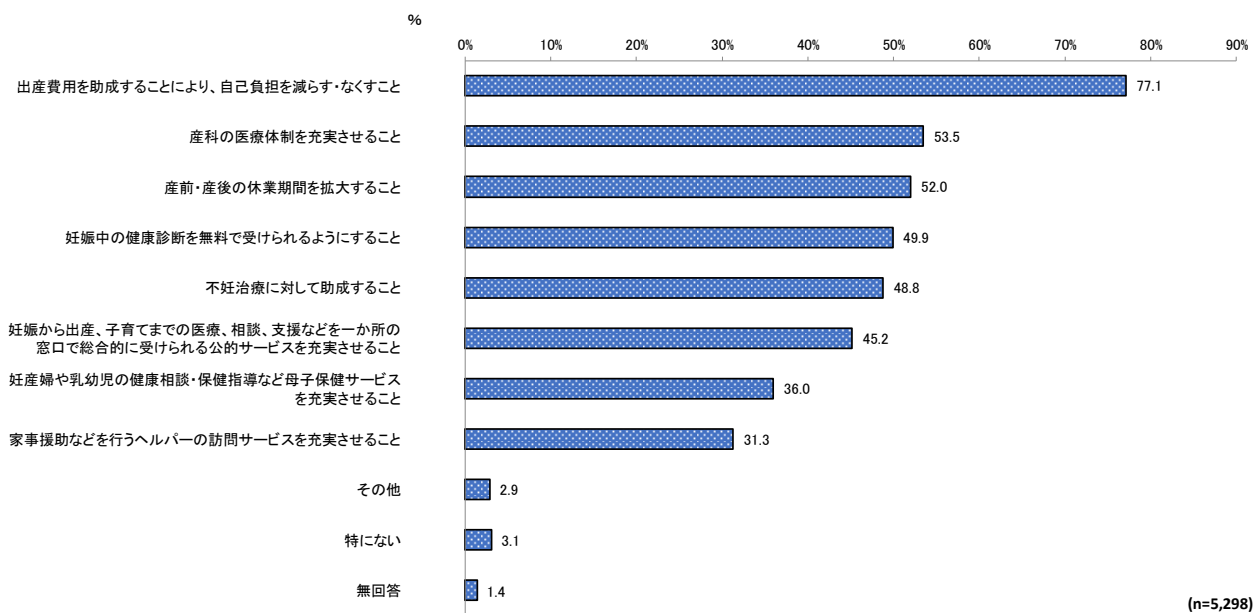
問 52 結婚を希望する人を支援する施策として何が重要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをいくつでも選んで○をつけてください。

結婚を希望する人を支援する施策として重要だと思うことについて、「賃金を上げて、安定した家計を営めるよう支援すること」が73.8%で最も高く、次いで「結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと」が48.3%、「雇用対策をもって、安定した雇用機会を提供すること」が46.2%となった。



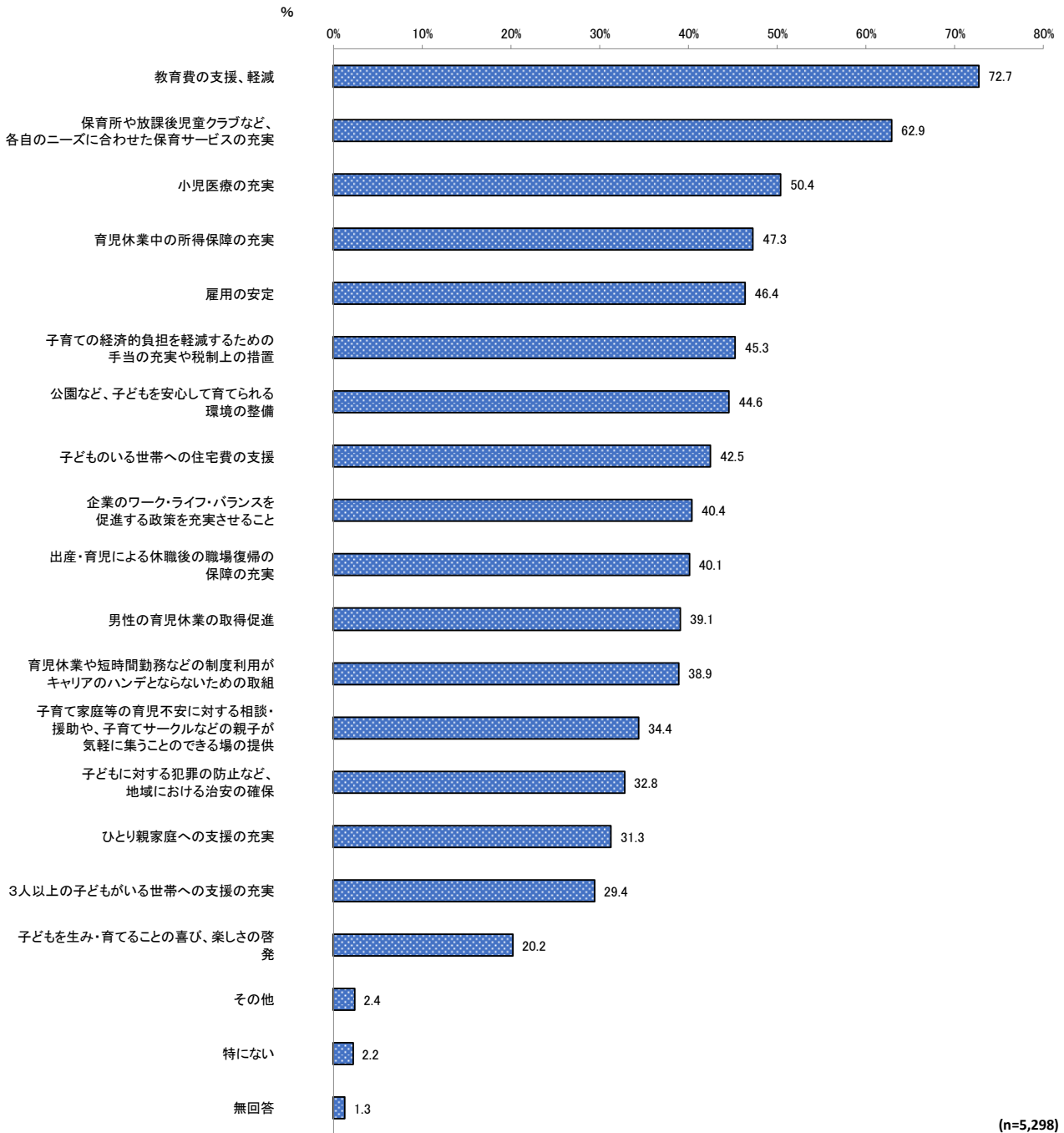
問 53 妊娠・出産時の身体的・精神的・経済的負担を軽減する施策として何が重要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをいくつでも選んで○をつけてください。

妊娠・出産時の身体的・精神的・経済的負担を軽減する施策として重要だと思うことについて、「出産費用を助成することにより、自己負担を減らす・なくすこと」が77.1%で最も高く、次いで「産科の医療体制を充実させること」が53.5%、「産前・産後の休業期間を拡大すること」が52.0%となった。



問 54 育児を支援する施策として何が重要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをいくつか選んで○をつけてください。

育児を支援する施策として重要だと思うことについて、「教育費の支援、軽減」が72.7%で最も高く、次いで「保育所や放課後児童クラブなど、各自のニーズに合わせた保育サービスの充実」が62.9%、「小児医療の充実」が50.4%となった。



問 55 下の①から⑫に結婚、男女関係、家庭についてのいろいろな考え方の例を示しました。それぞれについて、あなたご自身はどのようにお考えでしょうか。それぞれの右の欄であなたのご意見に最も近い番号1つに○をつけてください。

- ①男性は外で働き、女性が家の中で家事を支えるべきである
「どちらともいえない」が 42.5%と最も高く、次いで「反対である」が 27.5%、「やや反対である」が 13.9%となっている。
- ②女性は結婚後は仕事をセーブするか、辞めるべきである
「反対である」が 44.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 30.8%、「やや反対である」が 18.3%となっている。
- ③女性は出産後は仕事をセーブするか、辞めるべきである
「どちらともいえない」が 36.3%と最も高く、次いで「反対である」が 30.1%、「やや反対である」が 18.2%となっている。
- ④男性にある程度の収入がないと結婚すべきでない
「どちらともいえない」が 33.7%と最も高く、次いで「やや賛成である」が 29.3%、「賛成である」が 19.8%となっている。
- ⑤女性よりも男性の方が良い大学・教育を受けるべきである
「反対である」が 41.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 39.3%、「やや反対である」が 13.0%となっている。
- ⑥事実婚や同棲よりも結婚（法律婚）すべきである
「どちらともいえない」が 51.6%と最も高く、次いで「やや賛成である」が 13.5%、「反対である」が 12.7%となっている。
- ⑦お見合いや婚活サイト等よりも自然な恋愛結婚が望ましい
「どちらともいえない」が 56.4%と最も高く、次いで「やや賛成である」が 13.6%、「反対である」が 12.1%となっている。
- ⑧男女とも結婚（法律婚）して一人前と認めるべきである
「反対である」が 42.8%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 32.8%、「やや反対である」が 13.7%となっている。
- ⑨男女とも子どもを持って一人前と認めるべきである
「反対である」が 50.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 28.5%、「やや反対である」が 13.6%となっている。
- ⑩結婚したら夫婦で同じ名字・姓を名乗るべきである
「どちらともいえない」が 47.9%と最も高く、次いで「反対である」が 16.1%、「やや賛成である」が 13.8%となっている。
- ⑪女性は仕事や家事で忙しくても外見や美容に気を遣うべきである
「どちらともいえない」が 40.3%と最も高く、次いで「やや賛成である」が 22.9%、「反対である」が 14.9%となっている。
- ⑫男性は仕事や家事で忙しくても外見や美容に気を遣うべきである
「どちらともいえない」が 42.8%と最も高く、次いで「やや賛成である」が 23.3%、「反対である」が 13.3%となっている。

⑬長男がお墓を守るべきである

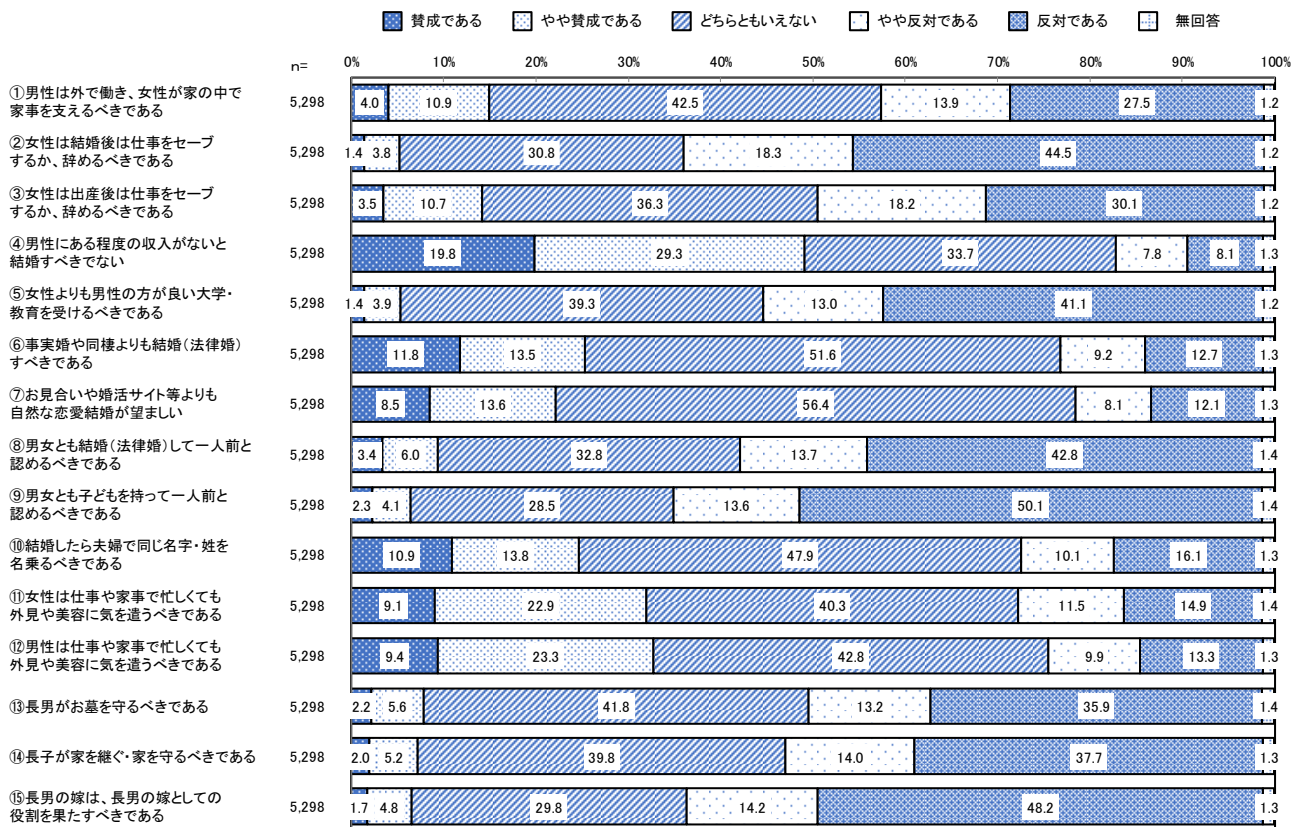
「どちらともいえない」が41.8%と最も高く、次いで「反対である」が35.9%、「やや反対である」が13.2%となっている。

⑭長子が家を継ぐ・家を守るべきである

「どちらともいえない」が39.8%と最も高く、次いで「反対である」が37.7%、「やや反対である」が14.0%となっている。

⑮長男の嫁は、長男の嫁としての役割を果たすべきである

「反対である」が48.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が29.8%、「やや反対である」が14.2%となっている。



問 56 あなたの身近な状況（既婚の方は結婚前までの状況）についておたずねします。以下の①から③について、それぞれ右の欄のあてはまる番号1つに○をつけてください。質問項目に該当する相手がない（いなかった）場合は1に○をつけてください。

①赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった

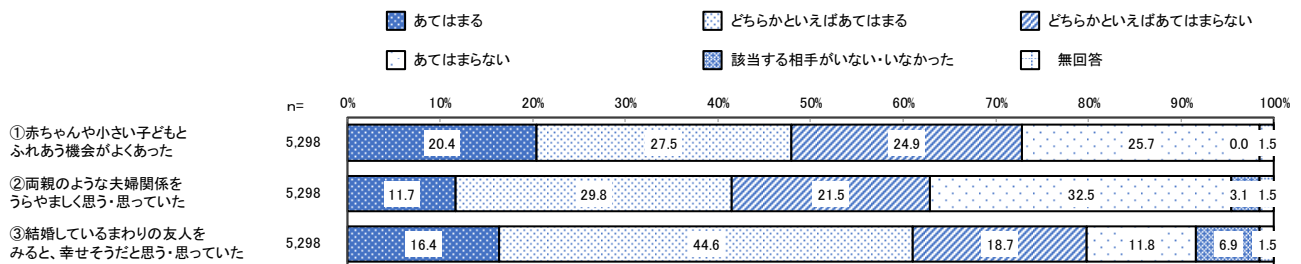
「どちらかといえばあてはまる」が27.5%と最も高く、次いで「あてはまらない」が25.7%、「どちらかといえばあてはまらない」が24.9%となっている。

②両親のような夫婦関係をうらやましく思う・思っていた

「あてはまらない」が32.5%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が29.8%、「どちらかといえばあてはまらない」が21.5%となっている。

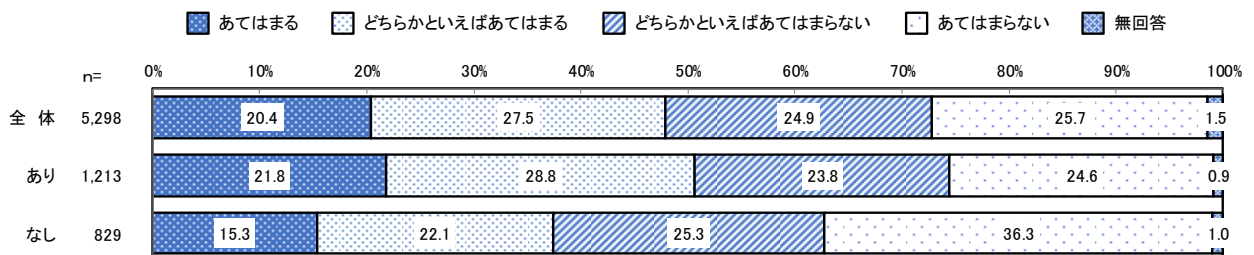
③結婚しているまわりの友人をみると、幸せそうだと思う・思っていた

「どちらかといえばあてはまる」が44.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」が18.7%、「あてはまる」が16.4%となっている。



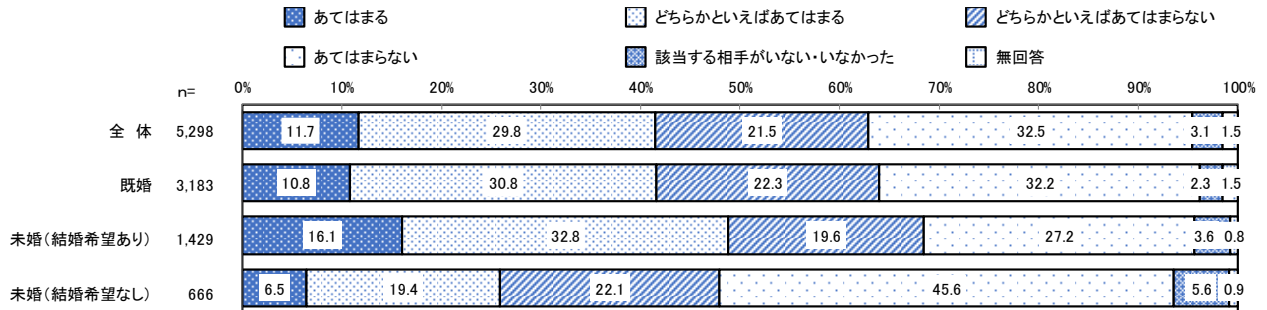
①赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった

子どもの希望の有無別にみると、『あてはまる』（「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計、以下同じ）は《子どもの希望あり》では5割強、《子どもの希望なし》では4割近くとなり、10ポイント以上の差がみられた。《子どもの希望なし》では、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の合計、以下同じ）が過半数となり、うち「あてはまらない」が3割半ばを占めた。



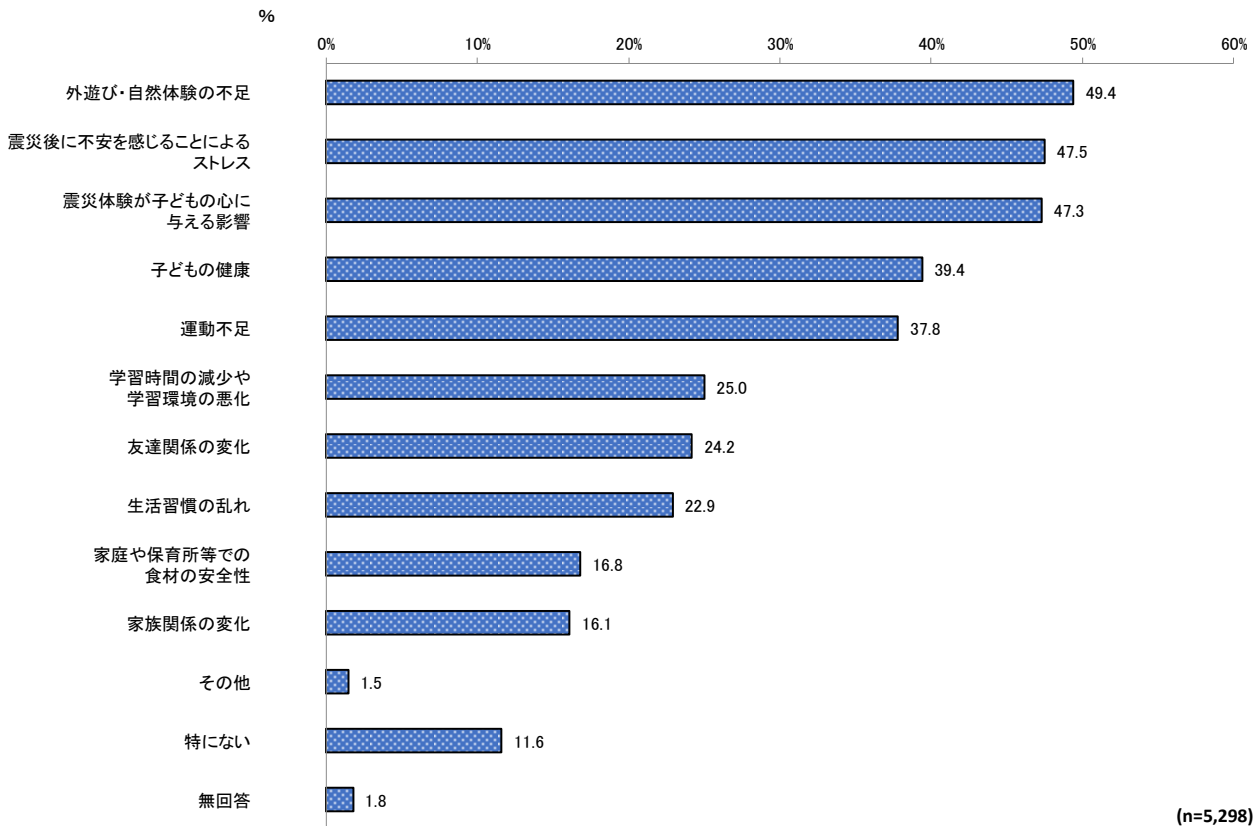
②両親のような夫婦関係をうらやましく思う・思っていた

既婚／未婚（結婚希望あり／なし）の別にみると、『あてはまらない』は《既婚》で5割半ば、《未婚（結婚希望あり）》で4割半ばであったのに対し、《未婚（結婚希望なし）》では7割近くと10ポイント以上の差がみられ、うち「あてはまらない」が4割半ばを占めた。《未婚（結婚希望あり）》では『あてはまる』が5割弱と比較的高くなっている。



問 57 震災による子どもへの影響として、心配なことがありますか。次の中からあてはまる番号にいくつかでも○をつけてください。

震災により心配される子どもへの影響について、「外遊び・自然体験の不足」が49.4%で最も高く、次いで「震災後に不安を感じることによるストレス」が47.5%、「震災体験が子どもの心に与える影響」が47.3%となった。



問 58 下の①から⑫に、生活環境や地域の人間関係、ライフスタイルなどに関する項目を示しました。それぞれについて、あなたご自身やあなたがお暮らしの地域はどの程度あてはまりますか。それぞれの右の欄であなたの感覚と最も近い番号1つに○をつけてください。

①私の暮らしている地域では、医療機関が充実している

「どちらかといえばあてはまる」が24.6%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が19.4%、「どちらかといえばあてはまらない」が15.9%となっている。

②私の暮らしている地域では、日常の買い物にまったく不便がない

「あてはまる」が24.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が23.1%、「どちらかといえばあてはまらない」が12.7%となっている。

③私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している

「どちらかといえばあてはまる」が22.9%と最も高く、次いで「あてはまる」が17.3%、「どちらとも言えない」が16.2%となっている。

④私の自宅には、心地のいい居場所がある

「あてはまる」が32.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が22.1%、「非常にあてはまる」が20.8%となっている。

⑤私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる

「どちらとも言えない」が33.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が23.8%、「あてはまる」が12.5%となっている。

⑥私の暮らしている地域では、公共交通機関で、望む時に望むところへ移動ができる

「あてはまらない」が20.6%と最も高く、次いで「全くあてはまらない」が20.2%、「どちらかといえばあてはまらない」が17.8%となっている。

⑦私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある

「あてはまらない」が21.4%と最も高く、次いで「全くあてはまらない」が20.4%、「どちらかといえばあてはまらない」が19.9%となっている。

⑧私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い

「どちらとも言えない」が42.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が16.3%、「どちらかといえばあてはまらない」が13.4%となっている。

⑨私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる

「どちらとも言えない」が38.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が28.8%、「あてはまる」が10.6%となっている。

⑩私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている

「どちらかといえばあてはまる」が29.1%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が24.7%、「あてはまる」が17.6%となっている。

⑪私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある

「どちらかといえばあてはまる」が26.8%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が21.9%、「あてはまる」が19.5%となっている。

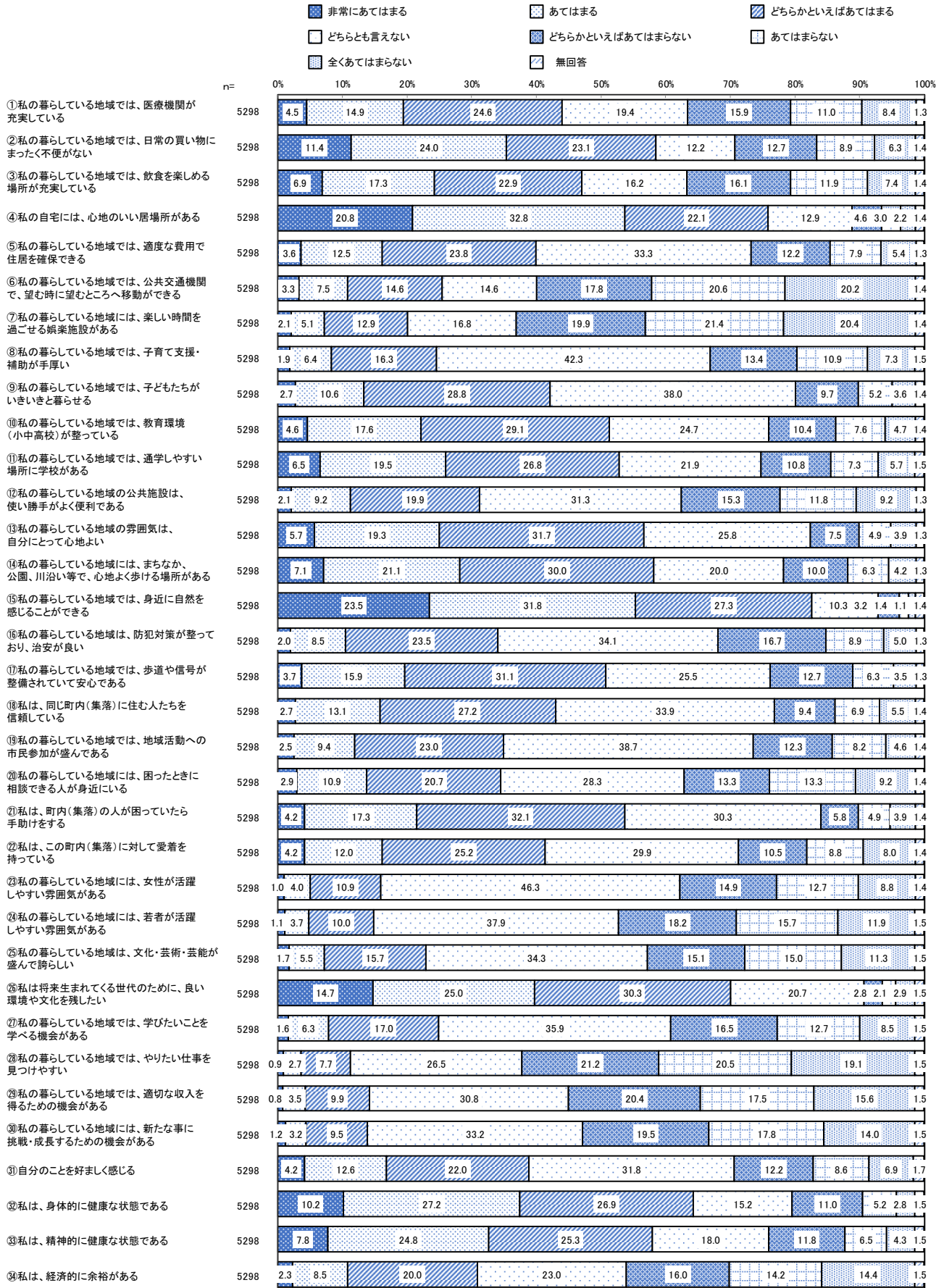
⑫私の暮らしている地域の公共施設は、使い勝手がよく便利である

「どちらとも言えない」が31.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が19.9%、「どちらかといえばあてはまらない」が15.3%となっている。

- ⑬私の暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい
「どちらかといえばあてはまる」が31.7%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が25.8%、「あてはまる」が19.3%となっている。
- ⑭私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある
「どちらかといえばあてはまる」が30.0%と最も高く、次いで「あてはまる」が21.1%、「どちらとも言えない」が20.0%となっている。
- ⑮私の暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる
「あてはまる」が31.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が27.3%、「非常にあてはまる」が23.5%となっている。
- ⑯私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安が良い
「どちらとも言えない」が34.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が23.5%、「どちらかといえばあてはまらない」が16.7%となっている。
- ⑰私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である
「どちらかといえばあてはまる」が31.1%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が25.5%、「あてはまる」が15.9%となっている。
- ⑱私は、同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している
「どちらとも言えない」が33.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が27.2%、「あてはまる」が13.1%となっている。
- ⑲私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである
「どちらとも言えない」が38.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が23.0%、「どちらかといえばあてはまらない」が12.3%となっている。
- ⑳私の暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる
「どちらとも言えない」が28.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が20.7%、「どちらかといえばあてはまらない」及び「あてはまらない」が13.3%となっている。
- ㉑私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする
「どちらかといえばあてはまる」が32.1%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が30.3%、「あてはまる」が17.3%となっている。
- ㉒私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている
「どちらとも言えない」が29.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が25.2%、「あてはまる」が12.0%となっている。
- ㉓私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある
「どちらとも言えない」が46.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」が14.9%、「あてはまらない」が12.7%となっている。
- ㉔私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある
「どちらとも言えない」が37.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」が18.2%、「あてはまらない」が15.7%となっている。
- ㉕私の暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい
「どちらとも言えない」が34.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が15.7%、「どちらかといえばあてはまらない」が15.1%となっている。

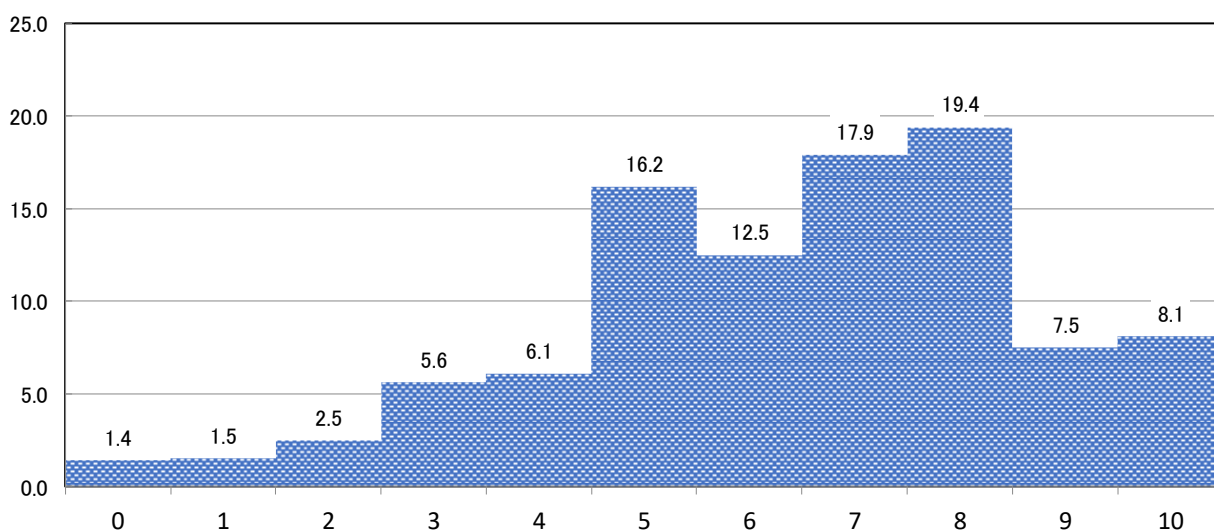
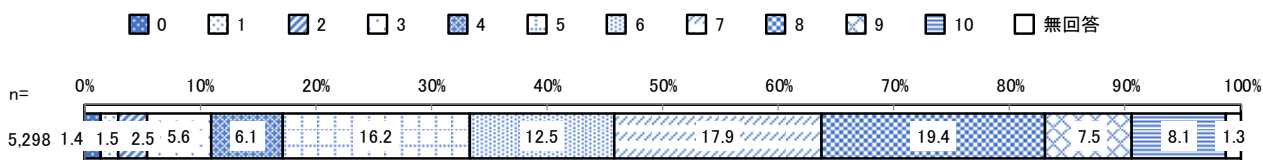
- ②⑥私は将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい
「どちらかといえばあてはまる」が30.3%と最も高く、次いで「あてはまる」が25.0%、「どちらとも言えない」が20.7%となっている。
- ②⑦私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある
「どちらとも言えない」が35.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が17.0%、「どちらかといえばあてはまらない」が16.5%となっている。
- ②⑧私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい
「どちらとも言えない」が26.5%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」が21.2%、「あてはまらない」が20.5%となっている。
- ②⑨私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある
「どちらとも言えない」が30.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」が20.4%、「あてはまらない」が17.5%となっている。
- ③⑩私の暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある
「どちらとも言えない」が33.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」が19.5%、「あてはまらない」が17.8%となっている。
- ③⑪自分のことを好ましく感じる
「どちらとも言えない」が31.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が22.0%、「あてはまる」が12.6%となっている。
- ③⑫私は、身体的に健康な状態である
「あてはまる」が27.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が26.9%、「どちらとも言えない」が15.2%となっている。
- ③⑬私は、精神的に健康な状態である
「どちらかといえばあてはまる」が25.3%と最も高く、次いで「あてはまる」が24.8%、「どちらとも言えない」が18.0%となっている。
- ③⑭私は、経済的に余裕がある
「どちらとも言えない」が23.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が20.0%、「どちらかといえばあてはまらない」が16.0%となっている。

既婚・未婚共通②



問 59 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。次の中からいずれかの数字 1 つに○をつけてください。

現在、あなたはどの程度幸せかについて、「8」が 19.4%で最も高く、次いで「7」が 17.9%、「5」が 16.2%となった。



平均値・中央値 (0~10 点)

現在、あなたはどの程度幸せかについて、平均値は 6.4 点、中央値は 7 点となった。

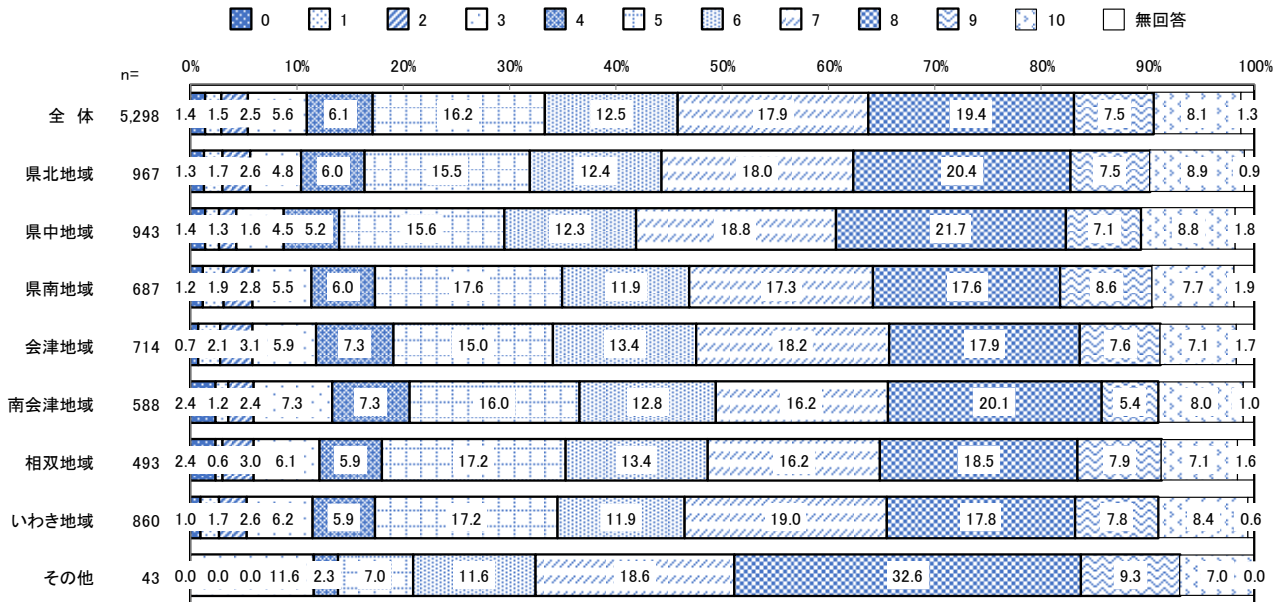
平均値	6.4 点
中央値	7 点

※点数処理のため、11 (わからない) は無回答に分類している。

既婚・未婚共通②

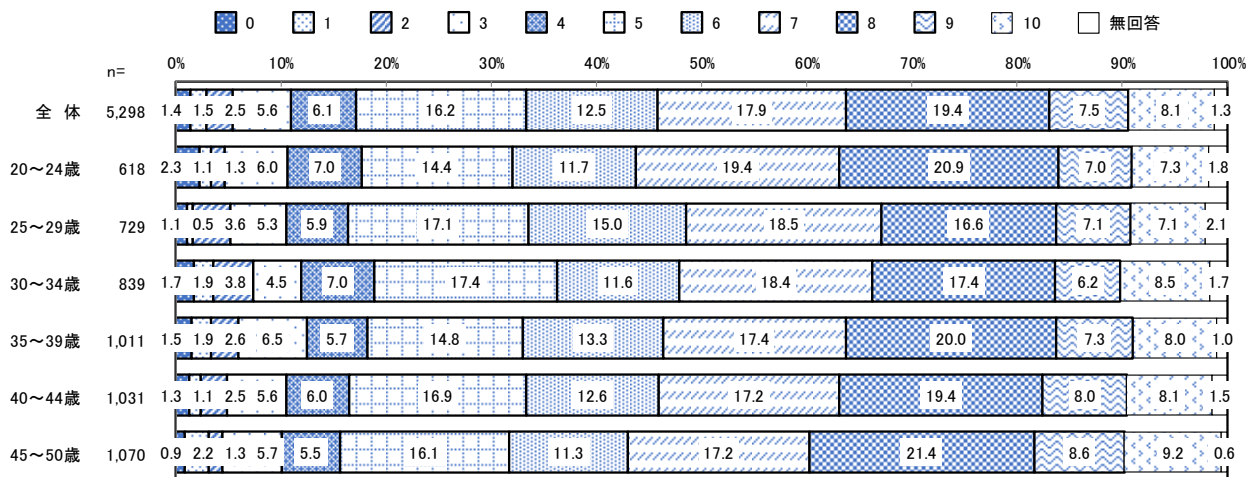
地域別でみると、《会津地域》《いわき地域》以外の地域では「8点」が2割近くから2割強で最も高く、《県南地域》では「5点」も同率（17.6%）となっている。《会津地域》《いわき地域》では「7点」が2割弱で最も高くなっている。

7点以上の回答割合は、《県中地域》が56.4%、《南会津地域》《相双地域》でともに49.7%となっている。



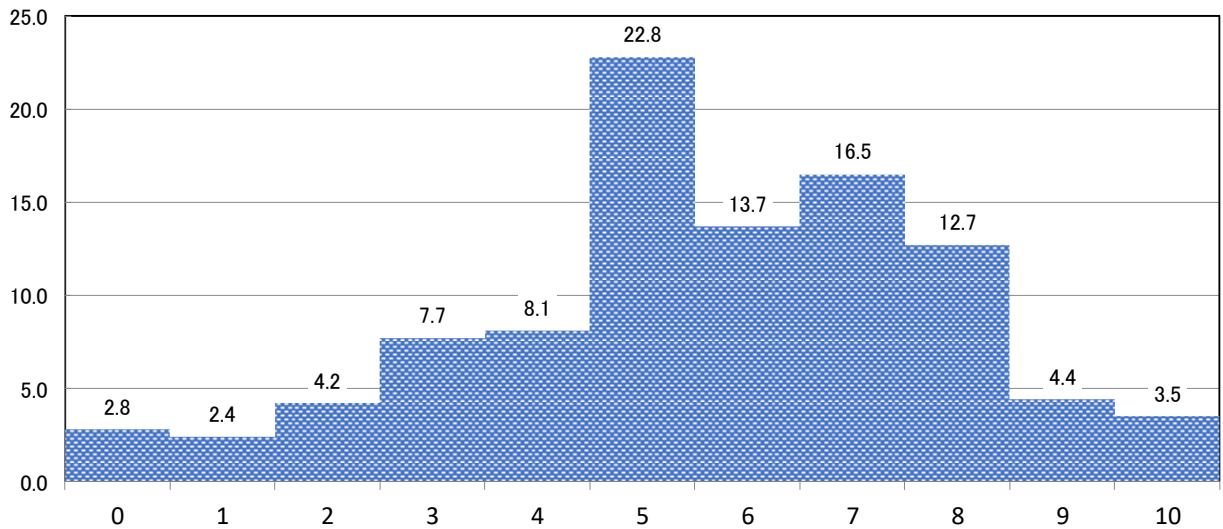
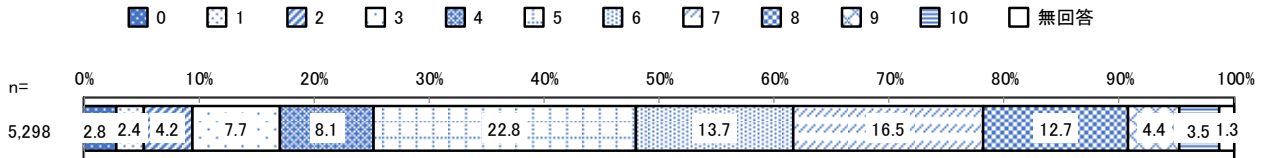
年齢別でみると、《25～29歳》《30～34歳》では「7点」がともに2割弱で最も高くなっている。それ以外の区分では「8点」が2割前後で最も高くなっている。

7点以上の回答割合は、《45～50歳》で56.4%、《25～29歳》で49.3%となっている。



問 60 現在、あなたは、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を 10 点、「とても不満足」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。次の中からいずれかの数字 1 つに○をつけてください。

現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足しているかについて、「5」が 22.8%で最も高く、次いで「7」が 16.5%、「6」が 13.7%となった。



平均値・中央値 (0~10 点)

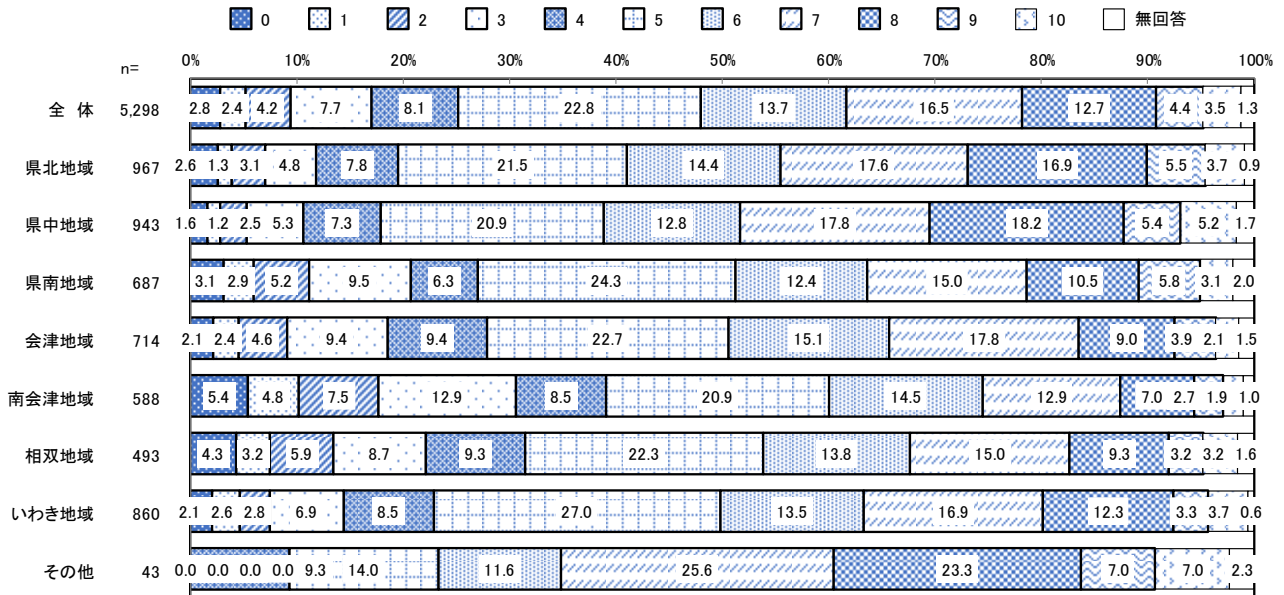
現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足しているかについて、平均値は 5.6 点、中央値は 6 点となった。

平均値	5.6 点
中央値	6 点

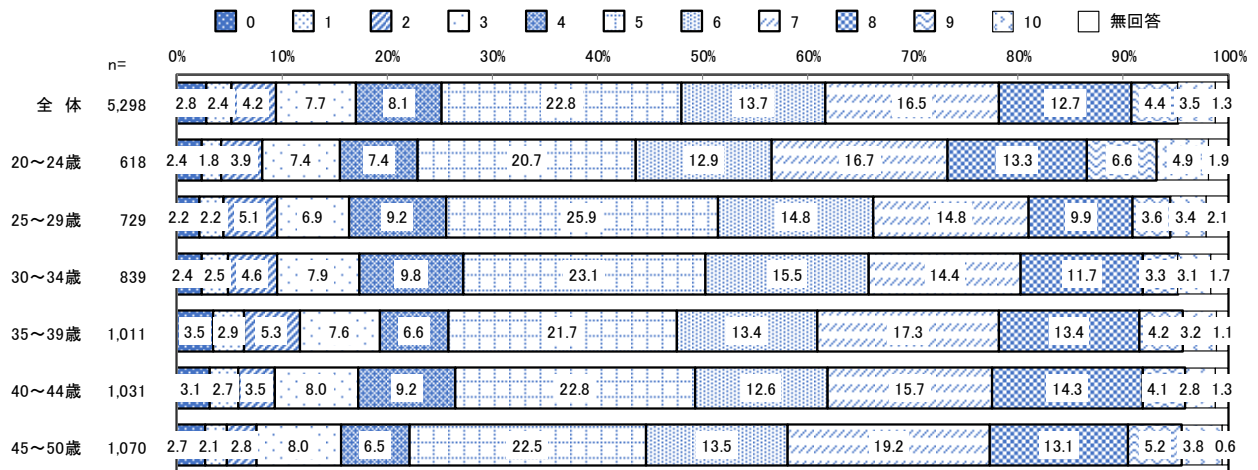
※点数処理のため、11 (わからない) は無回答に分類している。

既婚・未婚共通②

地域別でみると、《その他》以外の地域では「5点」が2割台で最も高くなっている。
6点以上の回答割合は、《県中地域》が59.4%、《南会津地域》で39.0%となっている。

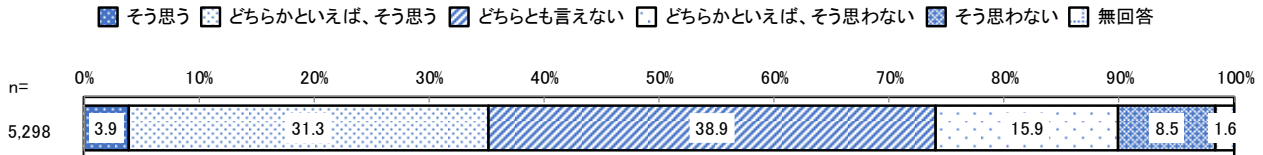


年齢別でみると、すべての年代で「5点」が2割台で最も高くなっている。
6点以上の回答割合は、《45～50歳》で54.8%、《25～29歳》で46.5%となっている。

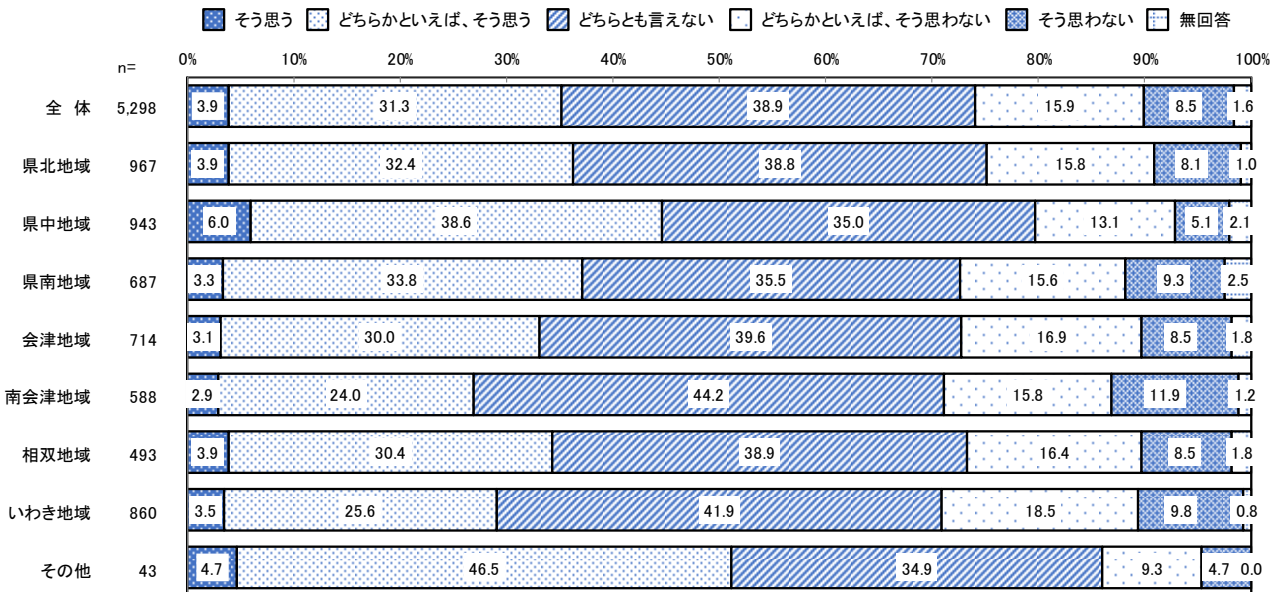


問 61 福島県は子どもを生み・育てやすい県だと思いますか。あなたの考えにもっとも近い番号1つに○をつけてください（お子さんのいない方は、親の立場に立ったと仮定してお答えください）。

福島県は子どもを生み・育てやすい県だと思うかについて、「どちらとも言えない」が38.9%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」が31.3%、「どちらかといえば、そう思わない」が15.9%となった。

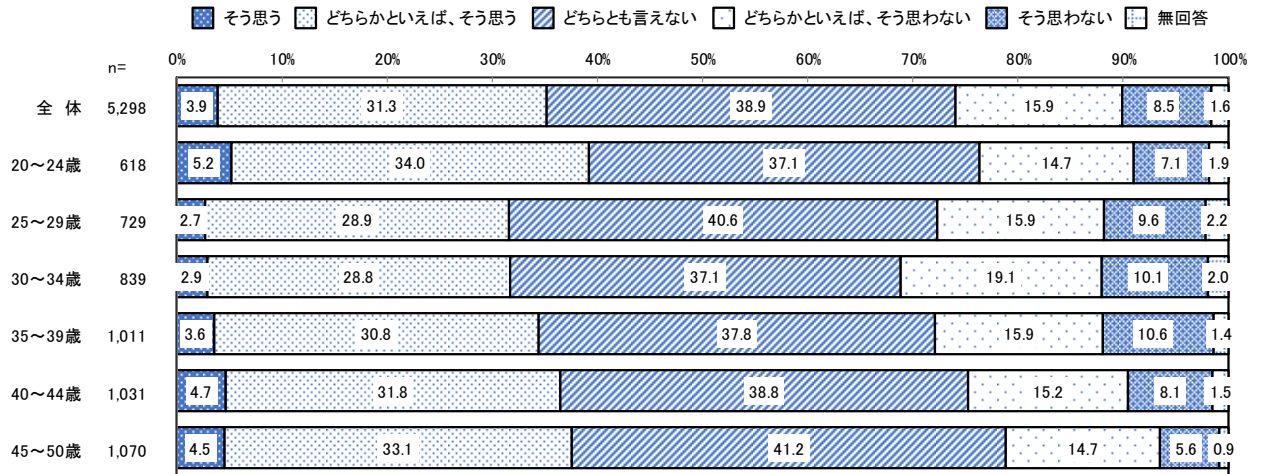


地域別でみると、《県中地域》では『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計、以下同じ）は4割半ばで、『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計、以下同じ）を20ポイント以上上回っている。《南会津地域》では「どちらとも言えない」が4割半ばで最も高く、『そう思う』は2割半ばにとどまっている。



既婚・未婚共通②

年齢別で見ると、《20～24歳》では『そう思う』が4割弱で比較的高く、『そう思わない』を10ポイント以上上回っている。25歳以上の年代では、年齢が高いほど『そう思う』の割合が高くなっている。《30～34歳》では『そう思わない』が3割弱で、比較的高くなっている。



結婚、妊娠・出産、子育てについて、みなさまが導入してほしい、あるいは充実してほしいと感じる取組はありますか。

- ・教育にかかる費用の負担軽減。
- ・妊娠、妊活への助成をお願いします。子どもの子育てがうまく行くように、公園の整備や手当の底上げをお願いします。そもそも最低賃金が低すぎる、経済的に余裕がなければ子供を渋ったら子供を育てることができません。よろしくお願いします。
- ・近くに子どもが無料で遊べる室内遊び場が欲しい。
- ・地域に子どもと行きやすい飲食店を充実させてほしい。
- ・子育てをしていく上で、お金がかかることが多いので、もう少し使える制度や補助金などがあると嬉しいです。
- ・室内で体を動かせる場所をもっと増やしてほしい。各市町村に…遊べる場所が少なく子育てしにくいと思う。体育館の無料開放など…。
- ・定員オーバーで三年生までしか児童クラブに入れなかった。子どもが少ないと言っておきながら、子どもが入れる環境が整っていないのはなぜですか。仕事が安心してできません。賃金安すぎます。子どもがもう1人欲しくても生み控えてしまいます。
- ・育児休暇中の手当が不定期なため、一定のリズム（2か月に1回等）で振込み作業をやっていただきたいです。
- ・子どもの人数が多い家庭には国からの補助が必要だと思います。少子化が進んでいる中で子どもを育て仕事もし、日々頑張っているのに税金でお金を取られ生活は厳しいです。給付金は住民税非課税世帯とひとり親だけ。このままでは離婚をした方がお金に余裕を持てるのでは？とさえ思っています。大変なのは子どもを持つ子育て世帯です。子どもの体調不良のたびに会社に頭を下げ嫌味を言われながら早退。もう少し働きやすい、子育てしやすい県になってほしいです。
- ・郡山市の公共施設は子どもまたは子どもと親で個人的に利用しにくい。また利用料や駐車場の料金も公共施設にしては利用料が高いため、行く気がしない。県立の美術館や博物館も各地域に散在しているため家族で行きにくい。道路や町の綺麗さが各自治体で大きな差が有るため、整備の行き届いていない地域に行くとき非常に目立ち、危険を感じる場所もある。
- ・出産祝い金 100 万くらい出して欲しい。
- ・私の住んでいる自治体は福祉が弱すぎるので、箱物や建物を充実させるより、今住んでいる若者がより生活しやすい（収入等）ように、補助なり導入を進めてほしい。本当に体が弱い方や、精神的な病気の方へのサポートが薄すぎる。これらが充実すれば、より活発的に外での交流ができるようになり、結婚、出産などに積極的になるのではないのでしょうか。
- ・高校授業料の補助、大学授業料の補助を推し進めて欲しい。子育てで一番お金がかかる部分への補助が薄く、子どもを増やして行きたいとは全く思えないため。
- ・今の総理大臣のせいで不景気なので、もっとお金の面を助けてもらいたい。少子化少子化言うのであれば、尚更。地域の子育てサロンのような、親子で集まって交流がもてる場所もたくさんあったら嬉しい。
- ・育休期間の延長。全年齢の保育料の無償化。無料屋内遊び場を増やして欲しい。
- ・出会いの場がないので、趣味の盛り上げを県にはお願いしたい。
- ・男性の育休取得を推進してほしい。

III 調査票

令和6年度
結婚・子育てに対する
県民の希望と幸福度調査

問1 あなたの性別について、次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない
-------	-------	-----------

問2 あなたがお住まいの市町村について、下の表からあてはまる市町村の番号1つに○をつけてください。

県北地域	1. 福島市 2. 二本松市 3. 伊達市 4. 本宮市 5. 桑折町 6. 国見町 7. 川俣町 8. 大玉村
県中地域	9. 郡山市 10. 須賀川市 11. 田村市 12. 鏡石町 13. 天栄村 14. 石川町 15. 玉川村 16. 平田村 17. 浅川町 18. 古殿町 19. 三春町 20. 小野町
県南地域	21. 白河市 22. 西郷村 23. 泉崎村 24. 中島村 25. 矢吹町 26. 棚倉町 27. 矢祭町 28. 塙町 29. 鮫川村
会津地域	30. 会津若松市 31. 喜多方市 32. 北塩原村 33. 西会津町 34. 磐梯町 35. 猪苗代町 36. 会津坂下町 37. 湯川村 38. 柳津町 39. 三島町 40. 金山町 41. 昭和村 42. 会津美里町
南会津地域	43. 下郷町 44. 檜枝岐村 45. 只見町 46. 南会津町
相双地域	47. 相馬市 48. 南相馬市 49. 広野町 50. 檜葉町 51. 富岡町 52. 川内村 53. 大熊町 54. 双葉町 55. 浪江町 56. 葛尾村 57. 新地町 58. 飯館村
いわき地域	59. いわき市
その他	60. その他県外(県名_____)

問 3 あなたは、親(配偶者・パートナーの親も含む)と同居していますか。次の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

親 と の 同 居	1. 親と同居している(配偶者・パートナーの親も含む) 2. 親と別居している(親は同じ市町村に住んでいる) 3. 親と別居している(親は他の市町村(国外・県外も含む)に住んでいる) 4. 現在、親はいない(死別等)
-----------------------	---

問 4 あなたは、現在、結婚(事実婚・内縁含む)していますか。次の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 既婚(事実婚・内縁・離別・死別を含む)	2. 未婚
------------------------	-------

問 5 (1)あなたの年齢(2024年4月1日現在)について、下線の欄に数字を記入してください。

年齢	_____歳
----	--------

問 5 (2)既婚の方は、配偶者、パートナーの年齢(2024年4月1日現在)をお答えください。

※なお、離別・死別されている方は配偶者・パートナーの現況については回答不要です。

年齢	_____歳
----	--------

問 6 (1)あなたの①在学・卒業の別と、②その学校について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	①在学・卒業の別	②在学中の方→現在在学中の学校 卒業の方→最後に卒業した学校
あなた	1. 現在、在学中(休学等を含む) 2. すでに卒業	1. 中学校 2. 男女共学の高校 3. 男女別学の高校 4. 専修・専門学校 5. 短大・高専 6. 女子大学 7. 共学の大学 8. 大学院 9. その他()

問 6 (2)既婚の方は、配偶者・パートナーの①在学・卒業の別と、②その学校について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

なお、離別・死別されている方は配偶者・パートナーの現況については回答不要です。

	①在学・卒業の別	②在学中の方→現在在学中の学校 卒業の方→最後に卒業した学校
配偶者・ パートナー	1. 現在、在学中(休学等を含む) 2. すでに卒業	1. 中学校 2. 男女共学の高校 3. 男女別学の高校 4. 専修・専門学校 5. 短大・高専 6. 女子大学 7. 共学の大学 8. 大学院 9. その他()

問 7 (1)あなたのおつとめの状況についておたずねします。あなたの現在の①おつとめの状況、おつとめの場合(1 から 4 に○をつけた方)は②職種、③おつとめ先の従業員数について、回答欄のあてはまる番号 1 つに○をつけてください(お仕事が複数の場合、主たる仕事が対象)。

①おつとめの状況						②職種											③おつとめ先の従業員数						
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7
正規の職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業主・家族従業者・内職	無職・家事	学生	管理的職業	専門的・技術的職業	事務職	販売職	サービス職	保安職	農林漁業従事者	生産工程従事者	輸送・機械運転従事者	建設・採掘従事者	運搬・清掃・包装等従事者	1～9人	10～29人	30～99人	100～299人	300～999人	1000人以上	官公庁
★①で1～4に○をつけた方のみ、あてはまる番号に○をつけてください。																							
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7

問 7 (2)配偶者・パートナーのおつとめの状況についておたずねします。配偶者・パートナーの現在の①おつとめの状況、おつとめの場合(1 から 4 に○をつけた方)は②職種、③おつとめ先の従業員数について、回答欄のあてはまる番号 1 つに○をつけてください(お仕事が複数の場合、主たる仕事が対象)。

※なお、離別・死別されている方は配偶者・パートナーの現況については回答不要です。

①おつとめの状況						②職種											③おつとめ先の従業員数						
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7
正規の職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業主・家族従業者・内職	無職・家事	学生	管理的職業	専門的・技術的職業	事務職	販売職	サービス職	保安職	農林漁業従事者	生産工程従事者	輸送・機械運転従事者	建設・採掘従事者	運搬・清掃・包装等従事者	1～9人	10～29人	30～99人	100～299人	300～999人	1000人以上	官公庁
★①で1～4に○をつけた方のみ、あてはまる番号に○をつけてください。																							
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7

問 8 あなた方ご夫婦・カップルの結婚当時のおつとめの状況についておたずねします。あなたと配偶者・パートナーの結婚当時の①おつとめの状況、おつとめの場合(1 から 4 に○をつけた方)は②職種、③おつとめ先の従業員数について、回答欄のあてはまる番号 1 つに○をつけてください(お仕事が複数の場合、主たる仕事を対象)。

	①おつとめの状況						②職種											③おつとめ先の従業員数						
	1 正規の職員	2 パート・アルバイト	3 派遣・嘱託・契約社員	4 自営業主・家族従業者・内職	5 無職・家事	6 学生	1 管理的職業	2 専門的・技術的職業	3 事務職	4 販売職	5 サービス職	6 保安職	7 農林漁業従事者	8 生産工程従事者	9 輸送・機械運転従事者	10 建設・採掘従事者	11 運搬・清掃・包装等従事者	1 1～9人	2 10～29人	3 30～99人	4 100～299人	5 300～999人	6 1000人以上	7 官公庁
	★①で1～4に○をつけた方のみ、あてはまる番号に○をつけてください。																							
あなた	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7
配偶者・パートナー	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7

問 9 (1)あなたのお仕事(収入を伴うもの。複数ある場合、主たる仕事を対象)についておたずねします。次の①から④には該当する数字を記入し、⑤については、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

【あなた】	あなたのお仕事について (収入を伴う仕事に就いている場合ご記入ください)
① 勤務する日1日の平均的な労働時間	1日あたり平均_____時間_____分 ※残業時間を含めてください。
② 帰宅時間 (自営業は終業時間)	1. 規則 } _____時頃 ※規則・不規則のいずれかに○をつけてください。 2. 不規則 } ※1を選んだ方は平均的な帰宅時間 (0~24時までで表記)を記入してください。
③ 1週間の平均的な労働日数	週あたり平均_____日
④ 現在の仕事の勤続または継続年数	およそ_____年 ※1年未満の場合は1年としてください。
⑤ 昨年(2023年)の年収 ※あてはまる番号1つに○をつけてください。	1. 1~99万円 2. 100万円台 3. 200万円台 4. 300万円台 5. 400万円台 6. 500万円台 7. 600万円台 8. 700万円台 9. 800万円台 10. 900万円台 11. 1,000万円以上 12. なし

問 9(2)配偶者・パートナーのお仕事(収入を伴うもの。複数ある場合、主たる仕事を対象)についておたずねします。次の①から④には該当する数字を記入し、⑤については、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

※なお、離別・死別されている方は配偶者・パートナーの現況については回答不要です。

【配偶者・ パートナー】	あなたのお仕事について (収入を伴う仕事に就いている場合ご記入ください)
① 勤務する日1日の平均的な労働時間	1日あたり平均_____時間_____分 ※残業時間を含めてください。
② 帰宅時間 (自営業は終業時間)	1. 規則 } _____時頃 ※規則・不規則のいずれかに○をつけてください。 2. 不規則 } ※1を選んだ方は平均的な帰宅時間 (0~24時までで表記)を記入してください。
③ 1週間の平均的な労働日数	週あたり平均_____日
④ 現在の仕事の勤続または継続年数	およそ_____年 ※1年未満の場合は1年としてください。
⑤ 昨年(2023年)の年収 ※あてはまる番号1つに○をつけてください。	1. 1~99万円 2. 100万円台 3. 200万円台 4. 300万円台 5. 400万円台 6. 500万円台 7. 600万円台 8. 700万円台 9. 800万円台 10. 900万円台 11. 1,000万円以上 12. なし

- ◆ 以降は既婚の方(問 4 で 1 とお答えの方)へのご質問となります。なお、離別・死別されている方は配偶者・パートナーの現況については回答不要です。
- ◆ 立ち入った内容も含まれますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。
- ◆ 問 10 から問 11 まではあなた方ご夫婦・カップルの基本的な事項についてうかがいます。

問 10 あなた方ご夫婦・カップルの①結婚を届け出た年月(届出をしていない事実婚・内縁の方は結婚生活を始めた年月)、②初婚・再婚の別について、下線の欄に数字を記入してください。また、②についてはあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	①結婚を届け出た年月	②初婚・再婚の別
あなた	西暦_____年 _____月	1. 初婚
配偶者・パートナー		2. 再婚
		1. 初婚
		2. 再婚

問 11 あなた方ご夫婦・カップルのお子さんについておたずねします。お子さんの人数について記入(お子さんがおられない方は 0 としてください)のうえ、長子と末子の年代のあてはまる番号 1 つに○をつけてください(お子さんが 1 人の方は長子の欄にのみ記入してください)。※ 2024年 4 月 1 日現在(令和 6 年度入・進学時点)

全員で 人

	お子さんの年代								
	0 ～ 3 歳未満	3 歳 ～ 小学校入学前	小学生 (1 ～ 3 年生)	小学生 (4 ～ 6 年生)	中学生	高校生・高専生	専修・専門学校生	短大・大学・大学院生	就職している
長子	1	2	3	4	5	6	7	8	9
末子	1	2	3	4	5	6	7	8	9

※お子さんが 1 人の場合は長子の欄のみ記入してください。

◆ 問 12 から問 14 まではあなた方ご夫婦・カップルの出会い・結婚のきっかけなどについてうかがいます。

問 12 あなた方ご夫婦・カップルはどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。次の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

出会いのきっかけ	1. 職場や仕事の関係、アルバイト先	7. 民営の結婚相談所、インターネット上の婚活サイト
	2. 幼なじみ、隣人関係	8. マッチングアプリ・SNS
	3. 学校	9. 自治体が主催する婚活イベントや結婚支援サービス(マッチングシステムなど)
	4. 学校以外のサークル、習い事	10. パーティや合コン
	5. 見合い(親戚、上司の紹介も含む)	11. その他(_____)
	6. 友人や兄弟姉妹の紹介	

問 13 あなたが結婚を決めた理由は何ですか。次の中から、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

※最も重要な理由には◎ 結婚のきっかけ	1. 好きな人と一緒に生活をしたかったから	10. 両親や知人など周囲にした方がよいと言われたから
	2. 子どもが欲しかったから	11. 好きな人と同じ名字・姓にしたかったから
	3. 子どもができた(妊娠していることがわかった)から	12. 家を守る必要があったから
	4. 家族を持ちたかったから	13. 家から出たかったから
	5. 精神的な安らぎの場を持ちたかったから	14. 仕事や家事の負担を減らしたかったから
	6. 一人でいるのは寂しかったから	15. 老後が心配だったから
	7. 社会的に認められたかったから	16. 結婚に失敗した経験があり、次こそは幸せになりたいと思ったから
	8. 経済的な安定を得たかったから	17. その他(_____)
	9. 両親や親類を安心させたかったから	

問 14 あなた方ご夫婦・カップルの仲について、次の中から最もあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

夫婦・カップルの仲	1. たいへん仲が良い
	2. 仲は良い方だと思う
	3. 仲はふつうだと思う
	4. あまり仲は良くないと思う
	5. かなり仲は良くないと思う
	6. 現在、離婚もしくは別れることを考えている

◆ 問 15 から問 19 までは、あなたの子どもを持つことへの希望についてうかがいます。

問 15 あなたにとって、理想的な子どもは何人ですか。その具体的な人数を記入してください(お子さんはいない方は 0 としてください)。

理想的な子どもの数

_____人

問 16 問 15 で 1 人以上とお答えの方におたずねします。理想的な子どもの数を 1 人以上とお考えになる理由は何ですか。次の中から、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中でも最も重要な理由には◎をつけてください。

※最も重要な理由には◎
子どもを持ちたい理由

1. 結婚して子どもを持つことは自然なことだから
2. 子どもを持つことで周囲から認められるから
3. 子どもがいると生活が楽しく心豊かになるから
4. 子どもは老後の支えになるから
5. 子どもは将来の社会の支えになるから
6. 子どもは夫婦・カップルの関係を安定させるから
7. 好きな人の子どもを持ちたいから
8. 夫・妻や親など周囲が望むから
9. その他(_____)

問 17 問 15 で 1 人以上とお答えの方におたずねします。実際には何人の子ども(現在の子どもを含めて)を持つ予定ですか。その具体的な人数を記入してください(お子さんを持たない方は 0 としてください)。

予定している子どもの数

_____人

問 18 問 15 で 0 人とお答えの方と、予定している子どもの数(問 17)が理想的な子どもの数(問 15)より少ない方におたずねします。子どもを持ちたくない理由は何ですか。または、持つ予定の子ども数が理想的な子どもの数よりも少ないのはどうしてですか。次の中から、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

理想的な子ども数を持ちたくない、または
 ※最も重要な理由には◎

1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2. 保育サービスが整っていないから
3. 雇用が安定しないから
4. 働きながら子育てができる職場環境がないから
5. 家が狭いから
6. 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから
7. 子どもがのびのび育つ環境ではないから
8. 自分や夫婦・カップルの生活を大切にしたいから
9. 高年齢で生むのはいやだから
10. これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
11. 健康上の理由から
12. ほしいけれども妊娠しないから
13. 配偶者・パートナーの家事・育児への協力が得られないから
14. 配偶者・パートナーが望まないから
15. 末子が自分(配偶者・パートナー)の定年までに成人してほしいから
16. その他(_____)

問 19 問 18 で「1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから」に○をつけた方におたずねします。あなたにとって、子育てや教育にかかる経済的な負担として大きなものは何ですか。次の中から、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も負担に感じるものには◎をつけてください。

子育てや教育の経済的な負担 ※最も重要な理由には◎	1. 保育にかかる費用(保育所・幼稚園・学童保育等) 2. 学校教育費(入学金、授業料、教材費など) 3. 学習塾など学校以外の教育費 4. 学校塾以外の習い事の費用 5. 通信費(携帯電話の費用など) 6. 食費 7. 衣類・服飾雑貨・生活用品費 8. 住宅費 9. 医療費 10. 子どものための預貯金・保険 11. レジャー・レクリエーション費 12. 妊娠中の出産準備・出産関連費 13. その他()
------------------------------	---

◆ 問 20 から問 33 まではお子さんをお持ちの方(問 11 で 1 人以上とお答えの方)へのご質問となります。

◆ 問 20 から問 22 までは、あなたの感じる子育ての喜びと負担についてうかがいます。

問 20 あなたは、子育てに楽しさを感じるときが多いですか、それともつらさを感じるときが多いですか。次の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

子育ての楽しさ	1. 楽しさを感じるときの方がかなり多い 2. 楽しさを感じるときの方がやや多い 3. つらさを感じるときの方がやや多い 4. つらさを感じるときの方がかなり多い
---------	--

問 21 あなたが、子育てをされていて良かったと思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てをされていて良かったこと ※○はいくつでも	
1. 家庭が明るくなる	6. 子育てを通じて自分も精神的に成長する
2. 身近な人が子どもと接して喜ぶ	7. 夫婦・カップルの愛情がより深まる
3. 生活にはりあいができる	8. その他(_____)
4. 子育てを通じて友人ができる	9. 良いと思うことは特にない
5. 子育てを通じて自分の視野が広がる	

問 22 あなたが、子育てをされていて負担に思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てをされていて負担に思うこと ※○はいくつでも	
1. 子育てによる身体の疲れが大きい	6. 仕事が十分にできない
2. 子育てによる精神的な疲れが大きい	7. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない
3. 子育てに出費がかさむ	8. 子どもが病気のとき
4. 自分の自由な時間が持てない	9. その他(_____)
5. 夫婦・カップルで楽しむ時間がない	10. 負担に思うことは特にない

◆ 問 23 から問 26 までは小学校入学前の子どもの育児についてうかがいます。末子が小学生以上の方は、子どもが小学校に入学する前の時期の状況をお答えください。

問 23 小学校入学前の子どもの育児における夫・妻の役割について、あなたの考えに近い番号に1つだけ○をつけてください。

育 児 の 役 割	1. もっぱら妻が行う
	2. 主に妻が行うが、夫も行う
	3. 妻も夫も同じように行う
	4. 主に夫が行うが、妻も行う
	5. もっぱら夫が行う

問 24 あなたとあなたの配偶者・パートナーは、平日・休日それぞれ何時間何分くらい家事・育児をしています・していましたか。次の()内に数字を記入してください(家事は炊事、洗濯、掃除など日常的なもののみお答えください)。

あなた		配偶者・パートナー	
平日	休日	平日	休日
() 時間	() 時間	() 時間	() 時間
() 分くらい	() 分くらい	() 分くらい	() 分くらい

問 25 男性の家事・育児への参加についておたずねします。

【男性の方へ】あなたご自身が、配偶者・パートナーと同程度、またはあなたご自身が主として行っている・いたことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【女性の方へ】あなたの配偶者・パートナーが、あなたご自身と同程度、あるいは配偶者・パートナーが主として行ってほしい・ほしかったことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

家事 ※○はいくつでも	育児 ※○はいくつでも
1. 洗濯(物干し・取り入れを含む)	1. 食事の世話をする
2. 料理・炊事	2. おむつを取り替える
3. 食後の片付け	3. 入浴させる
4. ゴミ出し	4. 寝かしつける
5. 日常の買い物	5. 家の中で、話や遊び相手をする
6. 部屋の掃除	6. 散歩など、屋外へ遊びに連れて行く
7. 風呂洗い	7. 日常生活上のしつけ
8. その他()	8. 保育所・幼稚園(日中預けている場所)への送り迎え
9. 行っていた・ほしいことはない	9. 一時預かり保育やベビーシッター等の手配・交渉
10. 配偶者・パートナーはいない・いなかった	10. その他()
	11. 行っていた・ほしいことはない
	12. 配偶者・パートナーはいない・いなかった

問 26 問 25 で「配偶者・パートナーはいない・いなかった」に○をつけなかった方におたずねします。あなたは①配偶者・パートナーの育児・家事にどの程度期待しています・していましたか。また②どの程度満足しています・していましたか。次の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

①配偶者・パートナーの家事・育児への期待	②配偶者・パートナーの家事・育児への満足
1. 非常に期待している・していた	1. 非常に満足
2. まあまあ期待している・していた	2. まあまあ満足
3. あまり期待していない・していなかった	3. やや不満
4. ほとんど期待していない・していなかった	4. 非常に不満
5. もともと期待していない・していなかった	

◆ 問 27 から問 33 までは、お子さんが生まれたときのお仕事の継続状況や仕事と家庭生活のバランスについてうかがいます。

問 27 長子と、複数お子さんがおられる方は末子が生まれた時の①あなたの年齢をご記入いただき、次に②あなたのおつとめの継続状況について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	①年齢	②おつとめの継続状況
長子が 生まれた時	_____歳	1. 育児休業制度を利用して仕事を継続した 2. 育児休業制度を利用せずに仕事を継続した 3. 出産・育児を機に離職した 4. (ご自身、または配偶者・パートナーの)妊娠がわかったときから無職だった
末子が 生まれた時	_____歳	1. 育児休業制度を利用して仕事を継続した 2. 育児休業制度を利用せずに仕事を継続した 3. 出産・育児を機に離職した 4. (ご自身、または配偶者・パートナーの)妊娠がわかったときから無職だった

問 28 問 27 の②で 1 から 3 のいずれかに○をつけた方におたずねします。長子と末子を妊娠してから生まれるまでのあなたの①おつとめの状況、②職種、③おつとめ先の従業員数について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

※ 出産・育児を機に離職した方(問 27 の②で3に○を付けた方)は離職する前のおつとめの状況についてお答えください。

※ 男性は、配偶者・パートナーが妊娠してからお子さんが生まれるまでの状況をお答えください。

おたずねの時期 ←	①おつとめの状況						②職種											③おつとめ先の従業員数						
	1 正規の職員	2 パート・アルバイト	3 派遣・嘱託・契約社員	4 自営業主・家族従業者・内職	5 無職・家事	6 学生	1 管理的職業	2 専門的・技術的職業	3 事務職	4 販売職	5 サービス職	6 保安職	7 農林漁業従事者	8 生産工程従事者	9 輸送・機械運転従事者	10 建設・採掘従事者	11 運搬・清掃・包装等従事者	1 1～9人	2 10～29人	3 30～99人	4 100～299人	5 300～999人	6 1000人以上	7 官公庁
	★①で1～4に○をつけた方のみ、あてはまる番号に○をつけてください。																							
長子を妊娠してから生まれるまで	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7
末子を妊娠してから生まれるまで	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7

問 29 問 27 の②で「3. 出産・育児を機に離職した」に○をつけた方におたずねします。離職した理由は何ですか。長子・末子のそれぞれについて、次の中から、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

出産・育児を機に離職した理由 ※最も重要な理由には◎		
長子が 生まれたとき	1. 会社に出産・育児に関する休暇制度がなかったから 2. 会社に出産・育児に関する休暇制度は存在したが、対象外だったから 3. 家事・育児に専念するため、自発的にやめた 4. 勤務時間が長い(残業など)・不規則など、時間的に両立が難しかったから 5. 配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかったから 6. 職場の両立に対する理解や、両立支援制度が不十分だったから 7. 自分や子どもの体調不良など、体力的に両立が難しかったから	8. 配偶者・パートナーや家族がやめることを希望したから 9. 解雇された、もしくは退職勧奨されたから 10. 保育園など子どもの預け先がなかったから 11. 仕事にやりがいなかった(なくなりそうだった)から 12. 仕事を続けていても、将来的にキャリアの進展が見込めなそうだったから 13. 家族の協力が得られなかったから 14. その他()
末子が 生まれたとき	1. 会社に出産・育児に関する休暇制度がなかったから 2. 会社に出産・育児に関する休暇制度は存在したが、対象外だったから 3. 家事・育児に専念するため、自発的にやめた 4. 勤務時間が長い(残業など)・不規則など、時間的に両立が難しかったから 5. 配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかったから 6. 職場の両立に対する理解や、両立支援制度が不十分だったから 7. 自分や子どもの体調不良など、体力的に両立が難しかったから	8. 配偶者・パートナーや家族がやめることを希望したから 9. 解雇された、もしくは退職勧奨されたから 10. 保育園など子どもの預け先がなかったから 11. 仕事にやりがいなかった(なくなりそうだった)から 12. 仕事を続けていても、将来的にキャリアの進展が見込めなそうだったから 13. 家族の協力が得られなかったから 14. その他()

問 30 男性が育児休業制度など、出産・育児に関する休暇をどうすれば取りやすくなると思いますか。あなたの考えにあてはまる番号すべてに○をつけてください。

男性が育児休業制度等を
取りやすくなるためには
※○はいつでも

1. 業務が繁忙でなければ
2. 上司・同僚の理解が得られれば
3. 昇給や昇格など、今後のキャリア形成に影響がなければ
4. 休むことによる減収等の心配がなければ
5. 配偶者・パートナーからの要望があれば
6. 男性が家事・育児に参加する意義がわかれば
7. 法的強制力のある仕組みや制度があれば
8. その他(_____)

問 31 現在、お仕事をされている方におたずねします。この 1 年間で振り返って、あなたはご自分の仕事と家庭生活のバランスについてどう感じていますか。次の①から③の項目のそれぞれについて、あなたのお気持ちにあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
① 仕事で疲れ切ってしまって、しなければならない家事や育児ができなくなっていると感じる	5	4	3	2	1
② 仕事に充てる時間が長すぎるために、家事や育児を果たすことが難しくなっていると感じる	5	4	3	2	1
③ 家事や育児の負担があるために、仕事に集中することが難しくなっていると感じる	5	4	3	2	1

問 32 あなた(親)から見た、あなたのお子さんやお子さんをとりまく環境について、次の①から⑫の項目はあなたにとって、それぞれの程度あてはまるか 1 つに○をつけてください。

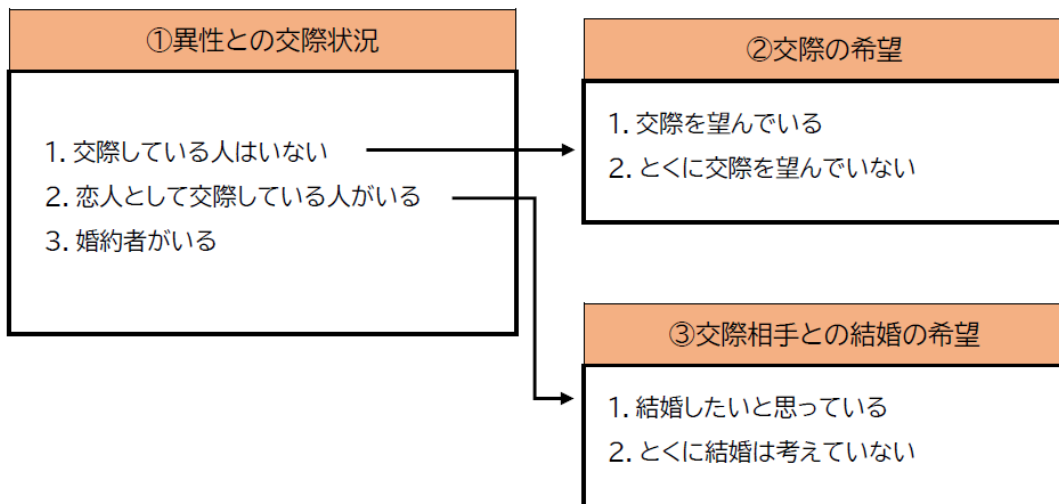
	非常にあてはまる	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	全くあてはまらない
① 私の子どもは、暮らしている地域で、新たな発見や刺激が得られる	7	6	5	4	3	2	1
② 私の子どもは、暮らしている地域で、身近に自然を感じることができる	7	6	5	4	3	2	1
③ 私の子どもにとって自宅には、心地のいい居場所がある	7	6	5	4	3	2	1
④ 私の子どもは、近所の方に感謝することが多い	7	6	5	4	3	2	1
⑤ 私の子どもは、身体的に健康な状態である	7	6	5	4	3	2	1
⑥ 私の子どもは、日々の生活において、笑うことが多い	7	6	5	4	3	2	1
⑦ 地域の保育所、幼稚園などで、子どもは安心して過ごすことができる	7	6	5	4	3	2	1
⑧ 地域の児童館、子育て広場、公園などで、子どもを安心して遊ばせることができる	7	6	5	4	3	2	1
⑨ 子どもの個性を理解して、関わってくれる人がたくさんいる	7	6	5	4	3	2	1
⑩ 地域には、子どもの個性にあわせて、多様な学びや経験を支援してくれる場がある	7	6	5	4	3	2	1
⑪ 地域には、子どもにあった多様な進学の選択肢がひらかれている	7	6	5	4	3	2	1
⑫ 将来、子どもが幸せな暮らしを送ることに期待できる	7	6	5	4	3	2	1

問 33 あなたのお子さんはどれくらい幸せだと思いますか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると何点くらいになると思いますか。次の中からあてはまる数字 1 つに○をつけてください。

あなたから見た、あなたのお子さんの幸福度											
とても 幸せ	～				ふ つ う	～				とても 不幸	わ か ら な い
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	11

- ◆ 以降、問 34 から問 47 までは未婚の方(問4で2とお答えの方)へのご質問となります。
- ◆ 立ち入った内容も含まれますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。
- ◆ 問 34 から問 37 までは、あなたの交際経験等についてうかがいます。

問 34 あなたは①交際している方(恋人として交際)がいますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。また、その回答の後の矢印にしたがって、②交際の希望、③交際相手との結婚希望について回答してください。



問 35 あなたのこれまでの交際経験(恋人として交際)についておたずねします。次の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

①恋人として 交際した経験	※あるとお答えの方 ②交際相手の性別
1. ある 2. ない	1. 男性 3. 答えたくない 2. 女性

問 36 問 34 の①で2または3に○をつけた方におたずねします。交際相手とはどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。次の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

おたずねのきっかけ	1. 職場や仕事の関係、アルバイト先 2. 幼なじみ、隣人関係 3. 学校 4. 学校以外のサークル、習い事 5. 見合い(親戚、上司の紹介も含む) 6. 友人や兄弟姉妹の紹介 7. 民営の結婚相談所、インターネット上の婚活サイト 8. マッチングアプリ・SNS 9. 自治体が主催する婚活イベントや結婚支援サービス(マッチングシステムなど) 10. パーティや合コン 11. その他()
-----------	---

問 37 問 34 の①で 1 に○をつけ、さらに②で「1. 交際を望んでいる」に○をつけた方におたずねします。交際相手との出会いを求めるとしたら、どのような機会があると良いですか。次の中からあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

交際相手との出会いの機会 ※○はいくつでも	
1. 友人・知人に紹介を頼む(紹介を受ける)	7. 結婚関係ボランティアの仲介人(県・市町村の世話やき人など)に紹介してもらう
2. 職場の同僚や先輩・後輩に紹介を頼む(紹介を受ける)	8. 自治体が主催する婚活イベントや結婚支援サービス(マッチングシステムなど)を利用する
3. 親族等に紹介を頼む(紹介を受ける)	9. パーティや合コンに行く
4. 趣味のサークルや習い事で知り合う	10. その他()
5. 交際相手を紹介してくれる民営の結婚相談所やインターネット上の婚活サイトを利用する	11. 特にない
6. マッチングアプリ・SNS を利用する	

◆ 問 38 から問 39 までは、あなたの子どもを持つことへの希望についてうかがいます。

問 38 あなたは、①子どもは何人くらいほしいですか。その具体的な人数を記入してください（お子さんはいない方は 0 としてください）。また 1 人以上のお子さんをもちたい方は、②最初の(次の)お子さんをもちたい年齢を下線の欄に記入してください。

①希望する子どもの数	_____人	②最初の(次の)お子さんを もちたい年齢
		あなたが (_____) 歳くらいのとき

問 39 希望する子どもの数が 1 人以上の方(問 38 の①で 1 人以上とお答えの方)におたずねします。子どもを 1 人以上ほしいとお考えになる理由は何ですか。次の中から、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

※最も重要な理由には◎	1. 結婚して子どもを持つことは自然なことだから 2. 子どもを持つことで周囲から認められるから 3. 子どもがいると生活が楽しく心豊かになるから 4. 子どもは老後の支えになるから 5. 子どもは将来の社会の支えになるから 6. 子どもは夫婦・カップルの関係を安定させるから 7. 好きな人の子どもをもちたいから 8. 交際相手や親など周囲が望むから 9. その他(_____)
-------------	--

◆ 問 40 から問 46 までは、あなたの結婚に関する意識についてうかがいます。

問 40 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは次のうちどちらですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

結婚に対する考え①
1. いずれ結婚するつもり →問41～問45 2. 一生結婚するつもりはない →問46

問 41 問 40 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方におたずねします。同じく自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

結婚に対する考え②

1. ある程度の年齢までには結婚するつもり
2. 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない

問 42 問 40 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方におたずねします。あなたは何歳くらいのときに結婚したいと思えますか。希望する年齢を下線の欄に記入してください。

結婚したい年齢

あなたが()歳くらいのとき

問 43 問 40 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方におたずねします。あなたが今後結婚したいと思う理由は何ですか。次の中から、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

結婚したい理由 ※最も重要な理由には◎

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 好きな人と一緒に生活をしたいから | 10. 好きな人と同じ名字・姓にしたいから |
| 2. 子どもが欲しいから | 11. 家を守る必要があるから |
| 3. 家族を持ちたいから | 12. 家から出たいから |
| 4. 精神的な安らぎの場を持ちたいから | 13. 仕事や家事の負担を減らしたいから |
| 5. 一人でいるのは寂しいから | 14. 老後が心配だから |
| 6. 社会的に認められたいから | 15. その他() |
| 7. 経済的な安定を得たいから | |
| 8. 両親や親類を安心させたいから | |
| 9. 両親や知人など周囲にした方がよいと言われるから | |

問 44 問 40 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方におたずねします。あなたは結婚相手を決めるとき、次の①から⑨の項目についてどの程度重視しますか。それぞれあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

① 相手の学歴	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
② 相手の職業	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
③ 相手の収入など経済力	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
④ 相手の人柄	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑤ 相手の容姿	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑥ 相手の年齢	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑦ 共通の趣味の有無	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑧ 自分の仕事に対する理解と協力	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑨ 家事・育児に対する能力や姿勢	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない

問 45 問 40 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方におたずねします。あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。ご自分に最もあてはまると思われる理由をあてはまる順に3つまで選んで、右の回答欄に番号を記入してください(すでに結婚が決まっている方は「最大の理由」欄に「13」と記入してください)。

右の番号欄に番号を記入	1. 結婚するにはまだ若すぎるから
	2. 結婚する必要性をまだ感じないから
	3. 今は、仕事(または学業)にうちこみたいから
	4. 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから
	5. 独身の自由さや気楽さを失いたくないから
	6. 適当な相手にまだめぐり会わないから
	7. 異性と出会う機会そのものがないから
	8. 異性とうまくつき合えないから
	9. 結婚資金が足りないから
	10. 結婚生活のための住居のめどがたたないから
	11. 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から
	12. その他(_____)
	13. すでに結婚が決まっている

回答欄 ※番号を記入		
最大の理由	第二の理由	第三の理由

問 46 問 40 で「2. 一生結婚するつもりはない」に○をつけた方におたずねします。今後、積極的に結婚したいと思わない理由について、次の①から⑩の項目はそれぞれの程度あてはまるか1つに○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	ややあてはまらない	あてはまらない
① 結婚相手として条件をクリアできる人に巡り合えそうにないから	5	4	3	2	1
② 結婚するほど好きな人に巡り合っていないから	5	4	3	2	1
③ 名字・姓が変わるのが嫌・面倒だから	5	4	3	2	1
④ 結婚という形式にこだわる必要性を感じないから	5	4	3	2	1
⑤ 結婚に縛られたくない、自由でいたいから	5	4	3	2	1
⑥ 今のままの生活を続けた方が安心だから	5	4	3	2	1
⑦ 結婚生活を送る経済力がない・仕事が不安定だから	5	4	3	2	1
⑧ 仕事・家事・育児・介護を背負うことになるから	5	4	3	2	1
⑨ 仕事を優先したい・キャリアを中断したくないから	5	4	3	2	1
⑩ 誰かと一緒に生きていきたいと思わないから	5	4	3	2	1

◆ 問47 は、自治体が運営するマッチングシステムについてうかがいます。

問 47 結婚相手・パートナーを見つけるために、①自治体がマッチングシステムを活用した支援を行うことについてどのように感じますか。また、抵抗感がある方(3から4に○をつけた方)は②その理由は何ですか。①はあてはまる番号1つに、②はあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

<p>①自治体が運用する マッチングシステムへの抵抗感</p> <p>1. 抵抗感がまったくない 2. 抵抗感があまりない 3. 抵抗感が少しある 4. 抵抗感が大いにある</p>	<p>②自治体が運用するマッチングシステムに 抵抗感がある理由 ※○はいくつでも</p> <p>1. 個人情報の漏えいに不安があるから 2. 第三者にプライベートな情報を公開することに不安があるから 3. 希望する相手に出会えないと思うから 4. 費用や支援内容がよくわからないから 5. マッチングで結婚相手・パートナーを見つけることに抵抗があるから 6. その他()</p>
--	--

- ◆ 問 48 以降は共通項目となりますので、既婚・未婚の区別に関係なくお答えください。
- ◆ 問 48 から問 49 までは、あなたの思う結婚することのメリット・独身生活のメリットについてうかがいます。

問 48 あなたにとって、結婚することには何か利点があると思いますか。左下のあてはまる番号 1 つに○をつけてください。「1. 利点があると思う」に○をつけた方は、右側の枠の中から具体的な利点をあてはまる順に2つまで選んで右の回答欄に番号を記入してください。

結婚することに利点は・・・	具体的な利点 ※右の回答欄に番号を記入	回答欄 ※番号を記入
1. 利点があると思う 2. 利点はないと思う	1. 経済的に余裕がもてる 2. 社会的信用を得たり、周囲と対等になれる 3. 精神的な安らぎの場が得られる 4. 現在愛情を感じている人と暮らせる 5. 自分の子どもや家族をもてる 6. 性的な充足が得られる 7. 生活上便利になる 8. 親から独立できる 9. 親を安心させたり周囲の期待にこたえられる 10. その他 (_____)	最大の利点 第二の利点

問 49 それでは逆に、あなたにとって独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか。左下のあてはまる番号 1 つに○をつけてください。「1. 利点があると思う」に○をつけた方は、右側の枠の中から具体的な利点をあてはまる順に2つまで選んで右の回答欄に番号を記入してください。

独身生活に利点は・・・	具体的な利点 ※右の回答欄に番号を記入	回答欄 ※番号を記入
1. 利点があると思う 2. 利点はないと思う	1. 行動や生き方が自由 2. 異性との交際が自由 3. 金銭的に裕福 4. 住宅や環境の選択の幅が広い 5. 家族を養う責任がなく、気楽 6. 友人などとの広い人間関係が保ちやすい 7. 職業をもち、社会とのつながりが保てる 8. 現在の家族とのつながりが保てる 9. その他 (_____)	最大の利点 第二の利点

◆ 問 50 では、あなたの理想とする女性のライフスタイルについてうかがいます。

問 50 下の枠の中に女性の生き方のタイプがいくつか示してあります。それぞれ、最も近いと思われるタイプの番号を下の枠から 1 つ選び、回答欄に記入してください。

※ 結婚されている方と男性は 1 を選択しないでください。

【女性の方へ】

- ①あなたの理想とする人生はどのタイプですか
- ②理想は理想として、実際になりそうな(現在なっている)あなたの人生はどのタイプですか。

女性回答欄	①理想とする人生	②実際になりそうな(なっている)人生

【男性の方へ】

妻、または妻となる女性にはどのようなタイプの人生を送ってほしいと思いますか。

男性回答欄	妻または妻となる女性に望む人生

上の回答欄に番号を記入	1. 結婚せず、仕事を続ける 2. 結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける 3. 結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける 4. 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産を機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ 5. 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産を機会に退職し、その後は仕事を持たない 6. その他 (_____)
-------------	---

◆ 問 51 では、子どもが生まれる年齢や不妊治療の希望についてうかがいます。

問 51 あなたは、①女性は何歳まで子どもが生まれると思いますか。また、②自然に妊娠できなかった場合、不妊治療を行いたいと思いますか。①は下線の欄に数字を記入し、②はあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

※ 自然に妊娠して出産された方は、自然に妊娠できていなかった場合を想定してお答えください。

①女性が子どもを生まる年齢	②不妊治療の希望
(_____)歳まで	1. 治療を望む 2. 治療したいが、経済的・時間的余裕がない 3. 治療したいとは思わない

◆ 問 52 から問 54 では、結婚・妊娠・子育て支援で何が重要とお考えかがいます。

問 52 結婚を希望する人を支援する施策として何が重要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをいくつか選んで○をつけてください。

結婚を希望する人への支援 ※○はいくつでも	
1. 雇用対策をもって、安定した雇用機会を提供すること	5. 結婚すると活用できるような税制を行うこと
2. 賃金を上げて、安定した家計を営めるよう支援すること	6. 企業のワーク・ライフ・バランスを促進する政策を充実させること
3. 結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと	7. その他()
4. 行政が婚活イベントを開催する、結婚相手のマッチングを支援するなど出会いの場を提供すること	8. 特にない

問 53 妊娠・出産時の身体的・精神的・経済的負担を軽減する施策として何が重要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをいくつか選んで○をつけてください。

妊娠・出産時の負担を軽減する施策 ※○はいくつでも	
1. 出産費用を助成することにより、自己負担を減らす・なくすこと	6. 妊産婦や乳幼児の健康相談・保健指導など母子保健サービスを充実させること
2. 産科の医療体制を充実させること	7. 家事援助などを行うヘルパーの訪問サービスを充実させること
3. 不妊治療に対して助成すること	8. 妊娠から出産、子育てまでの医療、相談、支援などを一か所の窓口で総合的に受けられる公的サービスを充実させること
4. 妊娠中の健康診断を無料で受けられるようにすること	9. その他()
5. 産前・産後の休業期間を拡大すること	10. 特にない

問 54 育児を支援する施策として何が重要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをいくつでも選んで○をつけてください。

育児を支援する施策 ※○はいくつでも

1. 保育所や放課後児童クラブなど、各自のニーズに合わせた保育サービスの充実
2. 子育て家庭等の育児不安に対する相談・援助や、子育てサークルなどの親子が気軽に集うことのできる場の提供
3. 教育費の支援、軽減
4. 小児医療の充実
5. 公園など、子どもを安心して育てられる環境の整備
6. 雇用の安定
7. 企業のワーク・ライフ・バランスを促進する政策を充実させること
8. 男性の育児休業の取得促進
9. 育児休業中の所得保障の充実
10. 育児休業や短時間勤務などの制度利用がキャリアのハンデとならないための取組
11. 出産・育児による退職後の職場復帰の保障の充実
12. 子育ての経済的負担を軽減するための手当の充実や税制上の措置
13. ひとり親家庭への支援の充実
14. 3人以上の子どもがいる世帯への支援の充実
15. 子どものいる世帯への住宅費の支援
16. 子どもを生み・育てることの喜び、楽しさの啓発
17. 子どもに対する犯罪の防止など、地域における治安の確保
18. その他(_____)
19. 特にない

問 55 下の①から⑮に結婚、男女関係、家庭についてのいろいろな考え方の例を示しました。それぞれについて、あなたご自身はどのようにお考えでしょうか。それぞれの右の欄であなたのご意見に最も近い番号1つに○をつけてください。

	賛成である	やや賛成である	どちらともいえない	やや反対である	反対である
① 男性は外で働き、女性が家の中で家事を支えるべきである	5	4	3	2	1
② 女性は結婚後は仕事をセーブするか、辞めるべきである	5	4	3	2	1
③ 女性は出産後は仕事をセーブするか、辞めるべきである	5	4	3	2	1
④ 男性にある程度の収入がないと結婚すべきでない	5	4	3	2	1
⑤ 女性よりも男性の方が良い大学・教育を受けるべきである	5	4	3	2	1
⑥ 事実婚や同棲よりも結婚（法律婚）すべきである	5	4	3	2	1
⑦ お見合いや婚活サイト等よりも自然な恋愛結婚が望ましい	5	4	3	2	1
⑧ 男女とも結婚（法律婚）して一人前と認めるべきである	5	4	3	2	1
⑨ 男女とも子どもを持って一人前と認めるべきである	5	4	3	2	1
⑩ 結婚したら夫婦で同じ名字・姓を名乗るべきである	5	4	3	2	1
⑪ 女性は仕事や家事で忙しくても外見や美容に気を遣うべきである	5	4	3	2	1
⑫ 男性は仕事や家事で忙しくても外見や美容に気を遣うべきである	5	4	3	2	1
⑬ 長男がお墓を守るべきである	5	4	3	2	1
⑭ 長子が家を継ぐ・家を守るべきである	5	4	3	2	1
⑮ 長男の嫁は、長男の嫁としての役割を果たすべきである	5	4	3	2	1

問 56 あなたの身近な状況(既婚の方は結婚前までの状況)についておたずねします。以下の①から③について、それぞれ右の欄のあてはまる番号1つに○をつけてください。質問項目に該当する相手がいない(いなかった)場合は1に○をつけてください。

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえはあてはまらない	あてはまらない	該当する相手がいない・いなかった
① 赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった	5	4	3	2	—
② 両親のような夫婦関係をうらやましく思う・思っていた	5	4	3	2	1
③ 結婚しているまわりの友人をみると、幸せそうだと思う・思っていた	5	4	3	2	1

問 57 震災による子どもへの影響として、心配なことがありますか。次の中からあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

震災により心配される子どもへの影響 ※○はいくつでも	
1. 運動不足	8. 家庭や保育所等での食材の安全性
2. 外遊び・自然体験の不足	9. 震災後に不安を感じることによるストレス
3. 学習時間の減少や学習環境の悪化	10. 生活習慣の乱れ
4. 震災体験が子どもの心に与える影響	11. その他()
5. 友達関係の変化	12. 特にない
6. 家族関係の変化	
7. 子どもの健康	

問 58 下の①から⑩に、生活環境や地域の人間関係、ライフスタイルなどに関する項目を示しました。それぞれについて、あなたご自身やあなたがお暮らしの地域はどの程度あてはまりますか。それぞれの右の欄でああなたの感覚と最も近い番号1つに○をつけてください。

	非常にあてはまる	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	全くあてはまらない	
① 私の暮らしている地域では、医療機関が充実している	7	6	5	4	3	2	1
② 私の暮らしている地域では、日常の買い物にまったく不便がない	7	6	5	4	3	2	1
③ 私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している	7	6	5	4	3	2	1
④ 私の自宅には、心地のいい居場所がある	7	6	5	4	3	2	1
⑤ 私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる	7	6	5	4	3	2	1
⑥ 私の暮らしている地域では、公共交通機関で、望む時に望むところへ移動ができる	7	6	5	4	3	2	1
⑦ 私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	7	6	5	4	3	2	1
⑧ 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	7	6	5	4	3	2	1
⑨ 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	7	6	5	4	3	2	1
⑩ 私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている	7	6	5	4	3	2	1

★次ページに続きます。

★前ページからの続きです。

	非常に あてはまる	あてはまる	どちらか あてはまる	どちらか あてはまる 言えない	あてはまる あてはまる あてはまる	あてはまる あてはまる	全く あてはまる ない
⑪ 私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある	7	6	5	4	3	2	1
⑫ 私の暮らしている地域の公共施設は、使い勝手がよく便利である	7	6	5	4	3	2	1
⑬ 私の暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	7	6	5	4	3	2	1
⑭ 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	7	6	5	4	3	2	1
⑮ 私の暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	7	6	5	4	3	2	1
⑯ 私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安が良い	7	6	5	4	3	2	1
⑰ 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	7	6	5	4	3	2	1
⑱ 私は、同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	7	6	5	4	3	2	1
⑲ 私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである	7	6	5	4	3	2	1
⑳ 私の暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	7	6	5	4	3	2	1
㉑ 私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	7	6	5	4	3	2	1
㉒ 私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている	7	6	5	4	3	2	1
㉓ 私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	7	6	5	4	3	2	1
㉔ 私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	7	6	5	4	3	2	1
㉕ 私の暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	7	6	5	4	3	2	1
㉖ 私は将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	7	6	5	4	3	2	1
㉗ 私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	7	6	5	4	3	2	1
㉘ 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	7	6	5	4	3	2	1
㉙ 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	7	6	5	4	3	2	1
㉚ 私の暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある	7	6	5	4	3	2	1
㉛ 自分のことを好ましく感じる	7	6	5	4	3	2	1
㉜ 私は、身体的に健康な状態である	7	6	5	4	3	2	1
㉝ 私は、精神的に健康な状態である	7	6	5	4	3	2	1
㉞ 私は、経済的に余裕がある	7	6	5	4	3	2	1

問 59 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。次の中からいずれかの数字 1 つに○をつけてください。

あなたの幸福度										
とても 幸せ	～				ふ つ う	～				とても 不幸
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

問 60 現在、あなたは、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を 10 点、「とても不満足」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。次の中からいずれかの数字 1 つに○をつけてください。

住んでいる地域の暮らしの満足度										
とても 満足	～				ふ つ う	～				とても 不満足
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

問 61 福島県は子どもを生み・育てやすい県だと思いますか。あなたの考えにもっとも近い番号 1 つに○をつけてください(お子さんのいない方は、親の立場に立ったと仮定してお答えください)。

福島県は子どもを生み・育てやすい県である
5. そう思う
4. どちらかといえば、そう思う
3. どちらとも言えない
2. どちらかといえば、そう思わない
1. そう思わない

◆ 結婚、妊娠・出産、子育てについて、みなさまが導入してほしい、あるいは充実してほしいと感じる取組はありますか。下の欄に自由にご記入ください。

☆☆☆ご協力ありがとうございました☆☆☆

【参考】 職種の概要と職業の例

◆管理的職業 従事者	概要	経営体の全般または課（課相当を含む）以上の内部組織の経営・管理の仕事に従事するもの。
	例	管理的公務員（課長相当職以上）、法人・団体役員、法人・団体における課長相当職以上など。
◆専門的・技術的 職業従事者	概要	高度の専門的水準において、科学的知識を応用した技術的な仕事に従事するもの、および医療・教育・法律・宗教・芸術・その他の専門的性質の仕事に従事するもの。
	例	研究者、技術者、保健医療従事者、社会福祉専門職業従事者、法務従事者、経営・金融・保険専門職業従事者、教員、宗教家、著述家・記者・編集者、美術家・デザイナー・写真家・映像撮影者、音楽家・舞台芸術家など。
◆事務従事者	概要	課長（課長相当職を含む）以上の職務にあるものの監督を受けて、庶務・文書・人事・調査・企画・会計などの仕事に従事するもの、および事務用機器の操作の仕事に従事するもの。
	例	一般、会計、生産、営業・販売、外勤、運輸・郵便その他の事務従事者、事務用機器操作員など。
◆販売従事者	概要	商品・不動産・有価証券などの売買の仕事、売買の仲立・取次・代理などの販売類似の仕事、営業の仕事に従事するもの。
	例	商品販売従事者、販売類似職業従事者、営業職業従事者など。
◆サービス職業 従事者	概要	家事サービス、介護・身の回り用務・調理・接客・娯楽など個人に対するサービス、および他に分類されないサービスの仕事に従事するもの。
	例	家庭生活支援・介護・保健医療・生活衛生等サービス職業従事者、飲食物調理従事者、接客・給仕職業従事者、居住施設・ビル等管理人、その他のサービス職業従事者など。
◆保安職業従事者	概要	国家の防衛、社会・個人・財産の保護、法と秩序の維持などの仕事に従事するもの。
	例	保安職業従事者（自衛官、警察官、消防員）など。
◆農林漁業従事者	概要	農作物の栽培等、家畜・家きん・その他の動物の飼育、林木の育成等、水産動植物の捕獲等をする仕事、およびこれらに関連する仕事に従事するもの。
	例	農業従事者、林業従事者、漁業従事者など。

★次ページもあります。

★前ページからの続きです。

◆生産工程従事者	概要	生産設備の制御・監視の仕事、機械・器具・手道具などを用いて原料・材料を加工する仕事、各種の機械器具を組立・調整・修理・検査する仕事、製版・印刷・製本の作業、生産工程で行われる仕事に関連する仕事に従事するもの。
	例	製品製造・加工処理従事者、機械組立従事者、機械整備・修理従事者、製品検査従事者、機械検査従事者、生産関連・生産類似作業従事者など。
◆輸送・機械運転従事者	概要	機関車・電車・自動車・船舶・航空機などの運転・操縦の仕事、およびその他の関連する仕事、ならびに定置機関・機械および建設機械を操作する仕事に従事するもの。
	例	鉄道運転従事者、自動車運転従事者、船舶・航空機運転従事者、その他の輸送従事者、定置・建設機械運転従事者など。
◆建設・採掘従事者	概要	建設の仕事、電気工事に係る作業を行う仕事、ダム・トンネルの掘削などの仕事、鉱物の探査・試掘・採掘・採取・選鉱の仕事に従事するもの。
	例	建設・土木作業従事者、電気工事従事者、採掘従事者など。
◆運搬・清掃・包装等従事者	概要	主に身体を使って行う定型的な作業のうち、運搬・配達・梱包・清掃・包装等の仕事に従事するもの。
	例	運搬従事者、清掃従事者、包装従事者、その他の運搬・清掃・包装等従事者など。

